

蓮田市  
市民意識調査  
小中学生アンケート  
報告書

令和7年12月  
蓮田市

# 目次

<b>第1部 蓮田市 市民意識調査結果</b> .....	<b>1</b>
I 調査概要.....	3
II 調査結果.....	4
1. あなた自身やご家族、お住まいについて.....	4
2. 住みごこちについて.....	8
3. 暮らしをとりまく身近な環境について.....	11
4. 蓮田市のイメージやまちの魅力について.....	23
5. これからのまちづくりについて.....	27
6. 市政への市民参加や関わり方について.....	34
7. 防災対策について.....	55
8. 市の広報（シティセールス）について.....	70
自由意見.....	76
<b>第2部 蓮田市 小中学生アンケート結果</b> .....	<b>81</b>
I 調査概要.....	83
II 調査結果.....	84
1. あなたのことについて.....	84
2. 蓮田市について.....	87

# 第1部

## 蓮田市 市民意識調査結果



# I 調査概要

## 1. 目的

この調査は、令和9年度から10年間のまちづくりの指針となる「蓮田市第6次総合振興計画」の策定に当たり、市民の皆様からのまちづくりへのお考えやご意見を伺い、計画策定の基礎資料とすることを目的に実施しました。

## 2. 調査方法

- |          |   |
|----------|---|
| (1) 調査期間 | 令和7年6月20日～令和7年7月23日   |
| (2) 調査対象 | 令和7年5月1日時点で蓮田市にお住いの16歳以上の市民                                 |
| (3) 対象者数 | 4,000人  |
| (4) 抽出方法 | 年齢構成が反映されるよう調整のうえ、住民基本台帳より無作為抽出                             |
| (5) 調査方法 | - 郵送による調査票の配布<br>- 回収は、郵送またはWebフォームへの記入の選択制<br>- 調査票は無記名で回答 |

## 3. 回収結果

- |         |                        |
|---------|------------------------|
| (1) 配布数 | 4,000票                 |
| (2) 回収数 | 1,213票（用紙802票、Web411票） |
| (3) 回収率 | 30.3%                  |

## 4. 報告書の見方

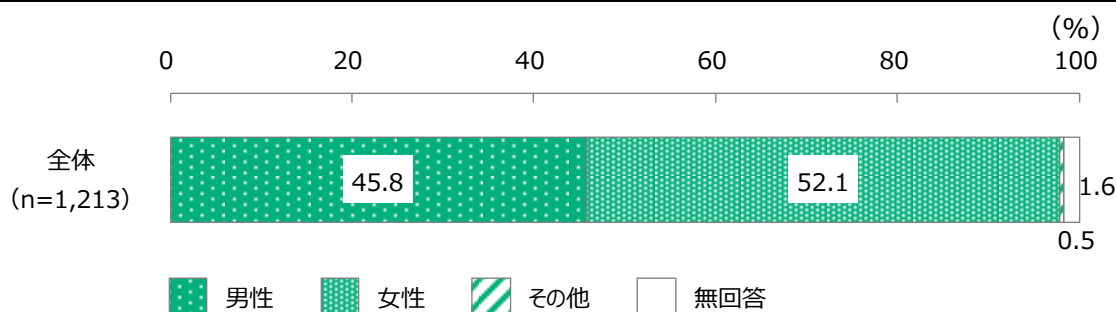
- ・ 図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表しています。
- ・ 図表中の（n=\*）の数値は、集計母数を表しています。
- ・ 回答の比率（%）は、その設問の回答者数を母数として算出しています。そのため、複数回答の場合、選択肢ごとの割合を合計すると100%を超えることがあります。
- ・ 回答の比率（%）は、小数点以下第2位を四捨五入しています。そのため、属性ごとの回答比率の合計が100%にならないことがあります。
- ・ 図表中の「0.0」は四捨五入の結果、又は回答者が皆無であることを表しています。
- ・ 一部の設問で、経年変化をみるために、前回調査（令和4年）の数値を掲載しています。
- ・ 居住地区別では、30の地区を6つの地区に分けて集計しています。（詳細は、7ページを参照してください。）

## II 調査結果

### 1. あなた自身やご家族、お住まいについて

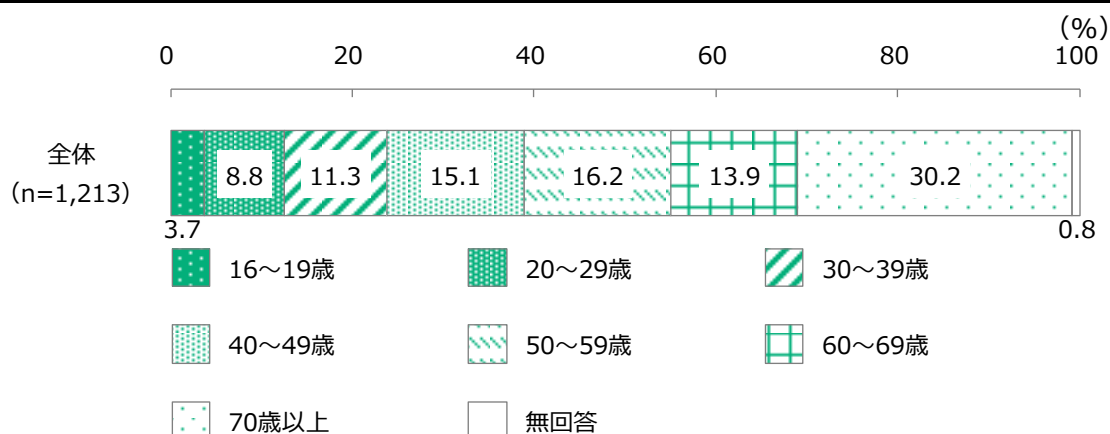
問1 あなたの性別はどちらですか。(1つに○)

「女性」が52.1%で「男性」(45.8%)よりも6.3%多くなっています。



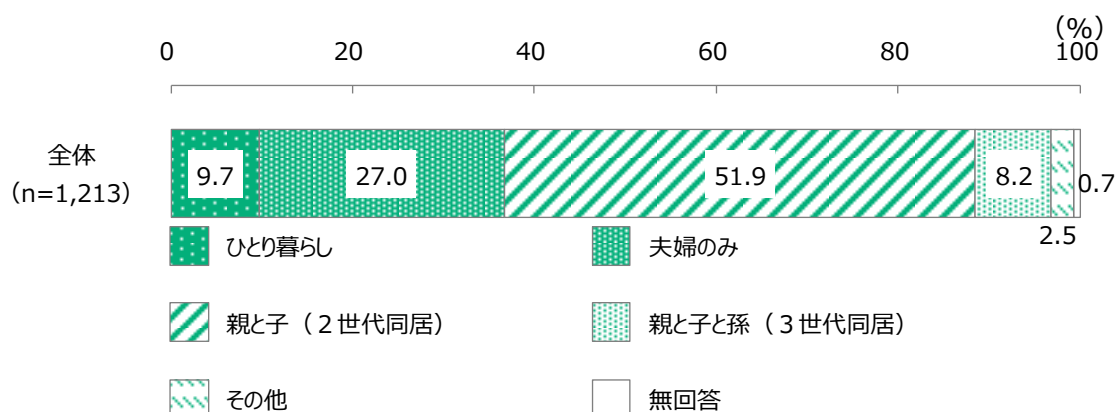
問2 あなたの年齢はおいくつですか。(1つに○)

「70歳以上」が30.2%で最も多く、次いで「50～59歳」(16.2%)、「40～49歳」(15.1%)となっています。



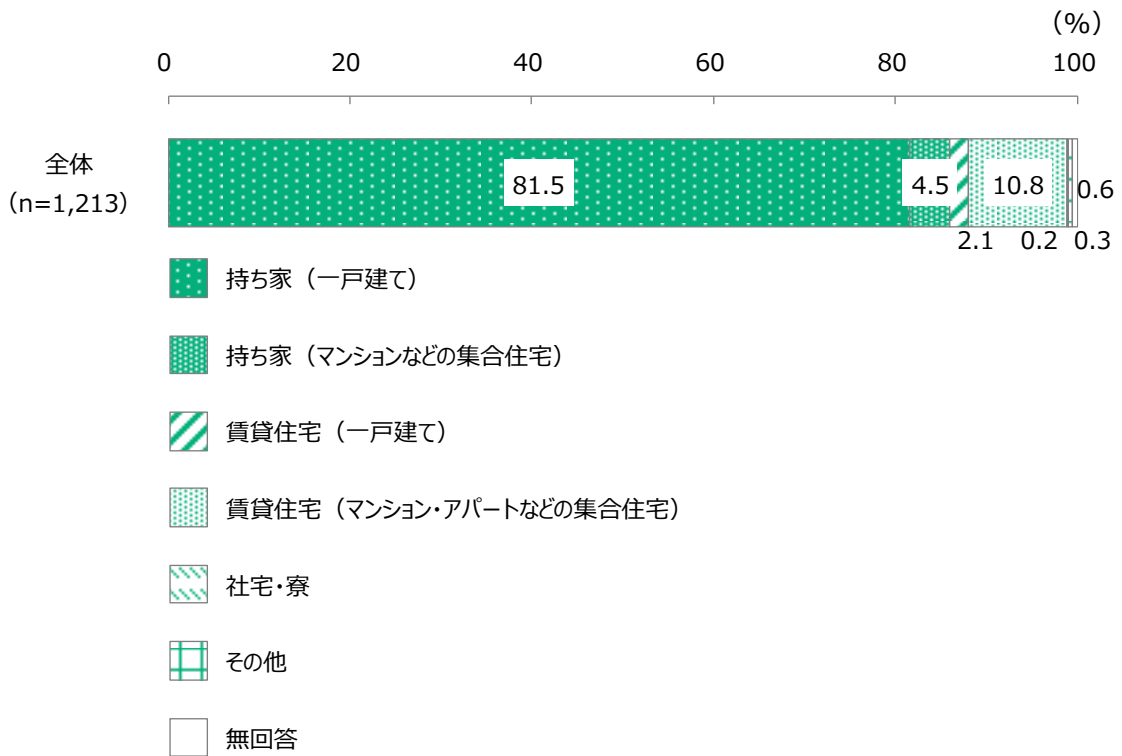
問3 現在一緒に住んでいる家族の構成はどちらですか。(1つに○)

「親と子(2世代同居)」が51.9%で最も多く、次いで「夫婦のみ」(27.0%)、「ひとり暮らし」(9.7%)となっています。



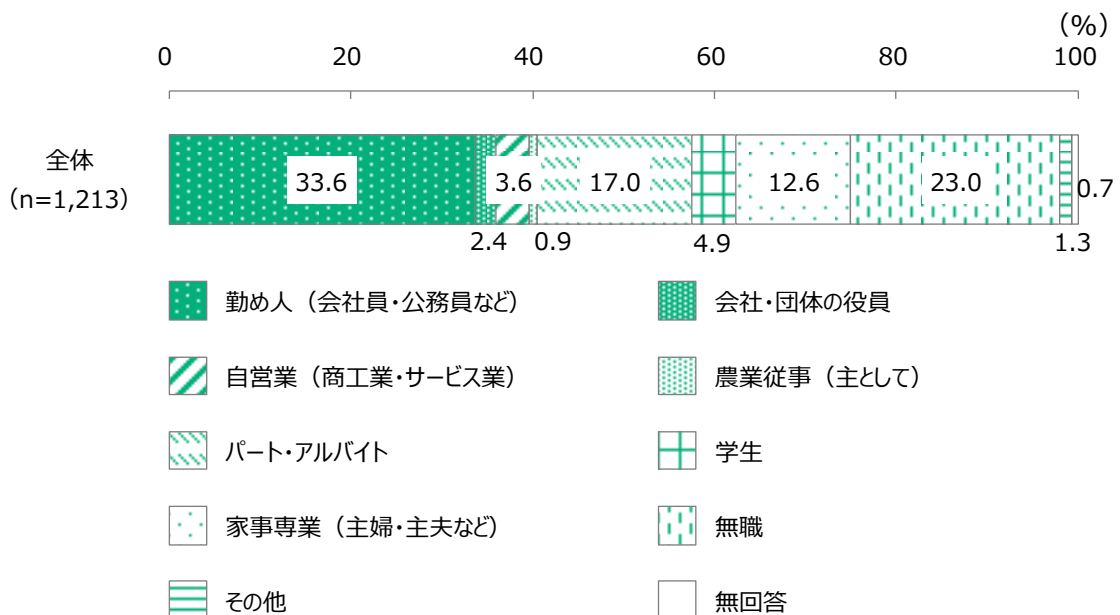
問4 あなたが現在お住まいの住宅の種類はどちらですか。(1つに○)

「持ち家（一戸建て）」が81.5%で最も多く、次いで「賃貸住宅（マンション・アパートなどの集合住宅）」(10.8%)、「持ち家（マンションなどの集合住宅）」(4.5%)となっています。



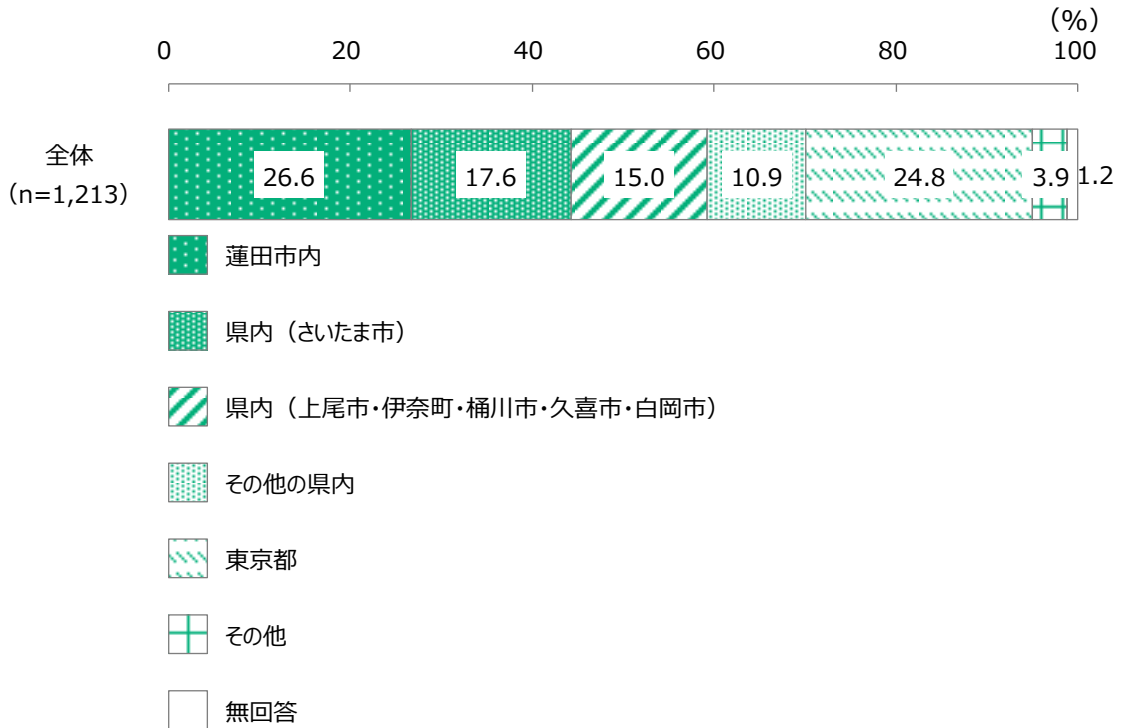
問5 あなたの主な職業・就業形態はどれですか。(主たるもの1つに○)

「勤め人（会社員・公務員など）」が33.6%で最も多く、次いで「無職」(23.0%)、「パート・アルバイト」(17.0%)となっています。



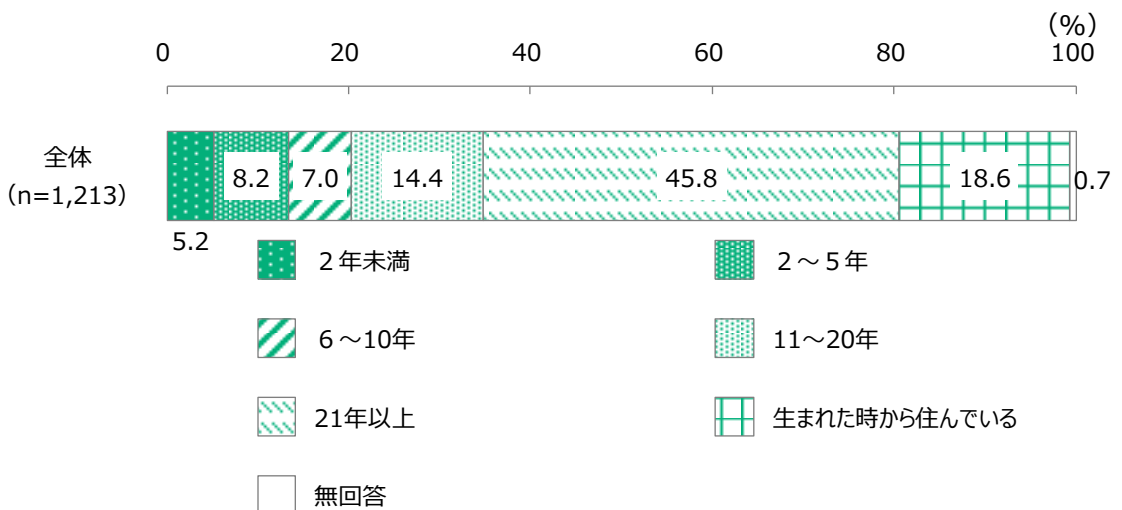
問6 あなたの勤務先・通学先はどちらですか。(1つに○)

「蓮田市内」が26.6%で最も多く、次いで「東京都」(24.8%)、「県内(さいたま市)」(17.6%)、となっています。



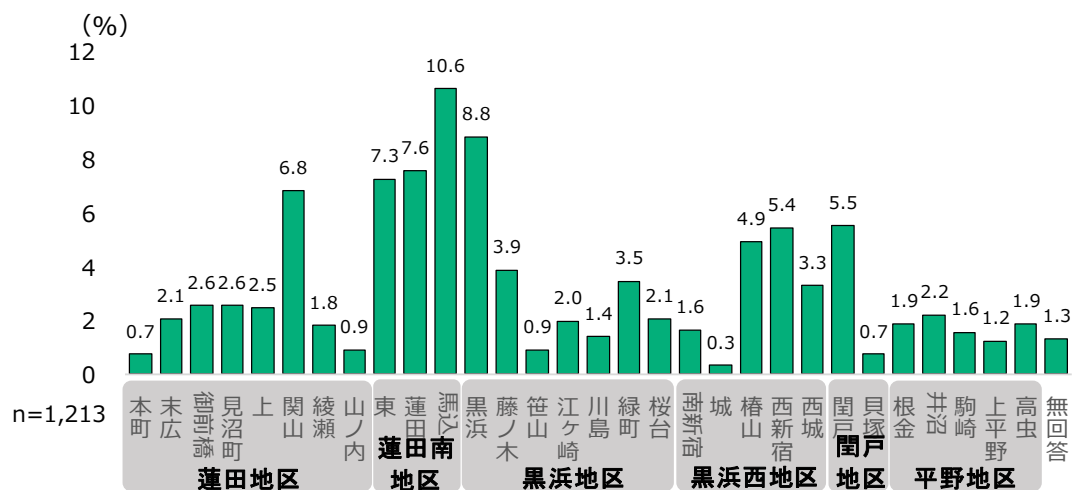
問7 あなたは蓮田市に住んでどのくらいになりますか。(1つに○)

「21年以上」が45.8%で最も多く、次いで「生まれた時から住んでいる」(18.6%)、「11~20年」(14.4%)となっています。



問8 あなたのお住まいの地区はどちらですか。(1つに○)

「蓮田南地区」が25.5%で最も多く、次いで「黒浜地区」(22.5%)、「蓮田地区」(20.0%)となっています。



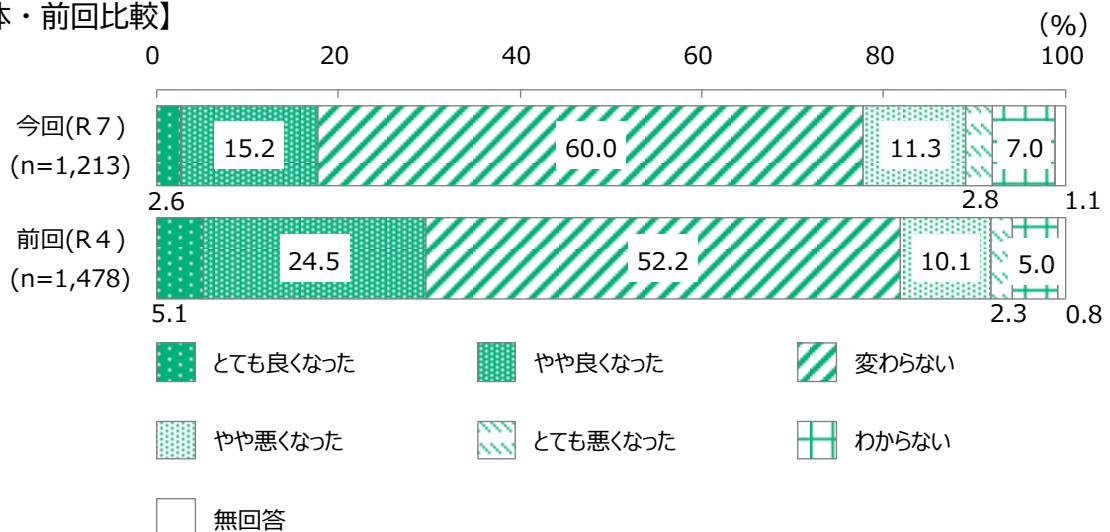
## 2. 住みごちについて

問9 蓮田市の生活環境は、2～5年前と比較して、どのようになったと感じますか。  
(1つに○)

「変わらない」が60.0%で最も多く、次いで「やや良くなった」(15.2%)、「やや悪くなった」(11.3%)となっています。

前回調査と比較すると、「変わらない」が7.8ポイント増加している一方で、「やや良くなった」が9.3ポイント減少しています。

【全体・前回比較】



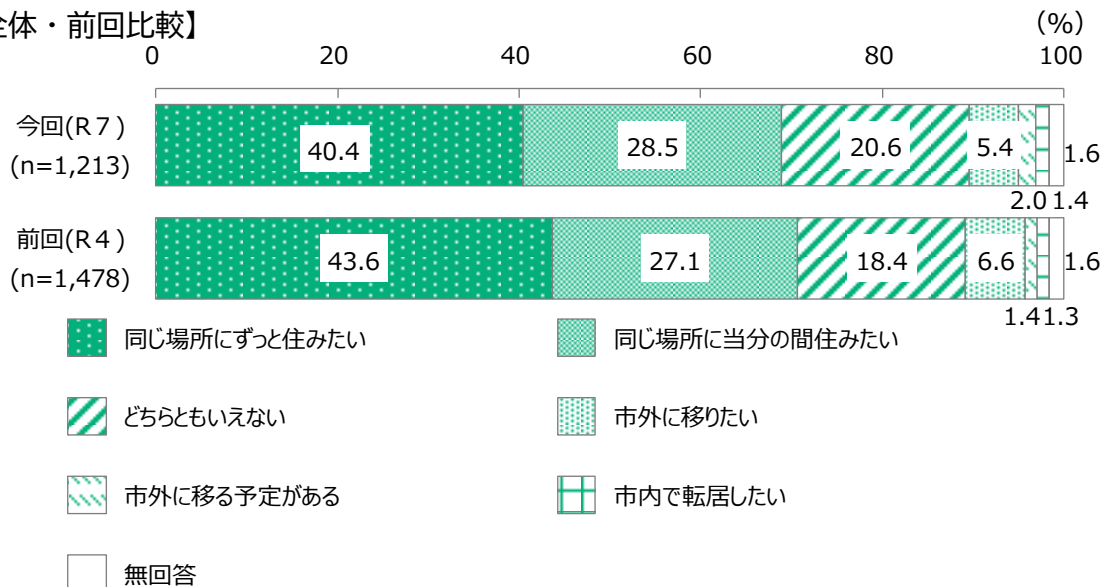
注1: 前回調査の設問は、「蓮田市の生活環境は、数年前と比較して、どのようになったと感じますか。」であり、一部異なる。

問10 あなたは、これからも蓮田市に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

「同じ場所にずっと住みたい」が40.4%で最も多く、次いで「同じ場所に当分の間住みたい」(28.5%)、「どちらともいえない」(20.6%)となっています。

前回調査と比較すると、5ポイント以上差が認められる項目はなく、前回と概ね同様の傾向が見られます。

【全体・前回比較】

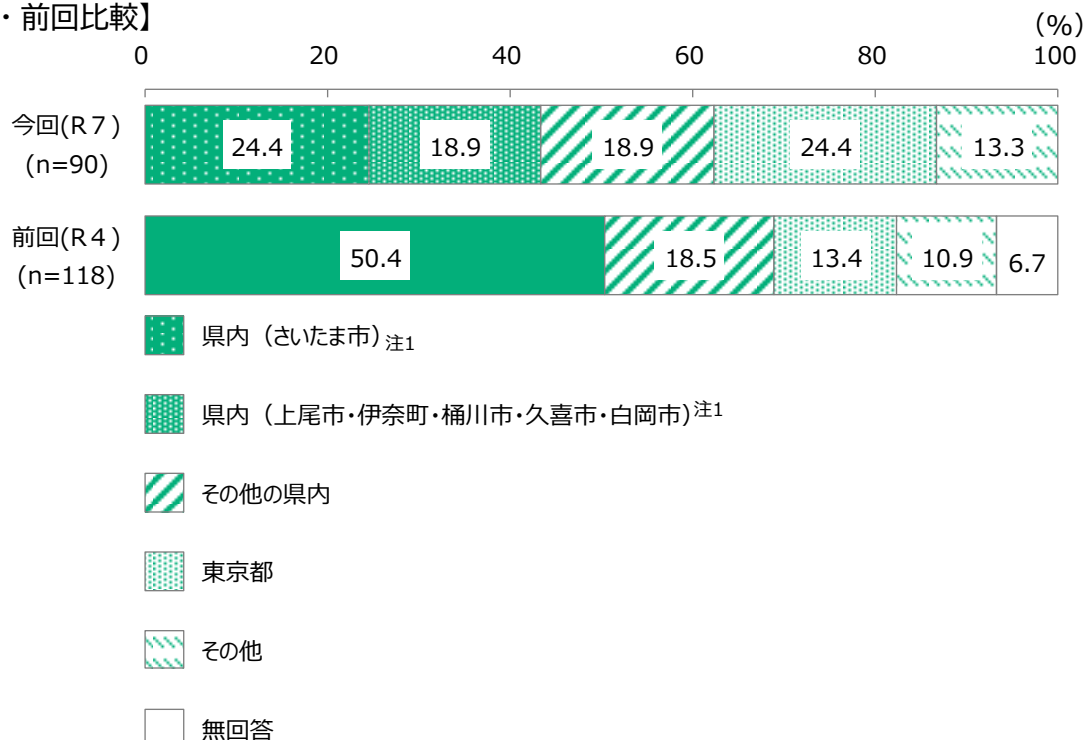


問10-1 問10で『4. 市外に移りたい』『5. 市外に移る予定がある』とお答えの方に  
うかがいます。市外へ移りたいと思う場所はどこを地域をお考えですか。(1つに○)

「県内(さいたま市)」と「東京都」が24.4%で最も多く、次いで「県内(上尾市・伊奈町・桶川市・久喜市・白岡市)」と「その他の県内」が共に18.9%となっています。

前回調査と比較すると、「東京都」が11.0ポイント増加している一方で、県内(さいたま市)と県内(上尾市・伊奈町・桶川市・久喜市・白岡市)」の合計が7.1ポイント減少しています。

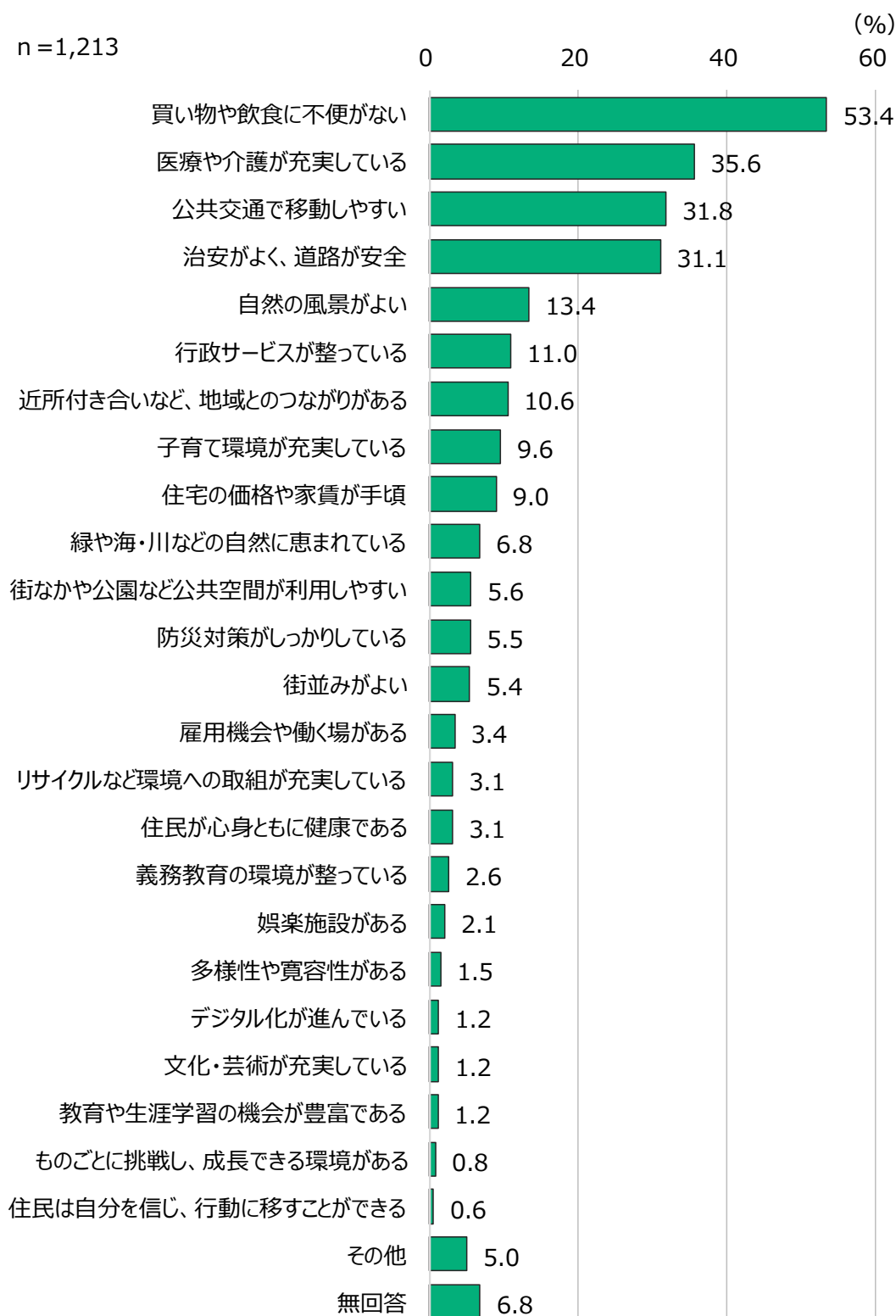
【全体・前回比較】



注1: 前回調査の選択肢は、さいたま市も含めた6市で「県内[蓮田市周辺]」という選択肢を採用。

問11 あなたにとって、住みたいまちの要件は何ですか。(あてはまるもの3つまでに○)

「買い物や飲食に不便がない」が53.4%で最も多く、次いで「医療や介護が充実している」(35.6%)、「公共交通で移動しやすい」(31.8%)となっています。



### 3.暮らしをとりまく身近な環境について

問 12 蓮田市の次の状況について、現在どの程度満足していますか。また、それぞれの項目について、今後 10 年間にどの程度優先して取り組むべきだと思いますか。

#### 《評価点の算出方法とグラフ（散布図 P20～P22）の見方》

現在の満足度と今後 10 年の優先度の結果を分かりやすく示すために、加重平均による分析で評価点を算出しました。満足度は、「満足である・まあ満足・わからない・やや不満である・不満である」の回答数に、それぞれ「2・1・0・-1・-2」点を与え、その合計数を全回答数（「無回答」を除く）で除して評価点としました（優先度についても同様に算出）。したがって、評価点（加重平均値）が高いほど、その項目に対する評価が高いとみることができます。

※回答者が全員「満足である」「（優先度が）高い」であれば、2.0 ポイントとなり、全員が「まあ満足」「やや（優先度が）高い」であれば、1.0 ポイントとなります。

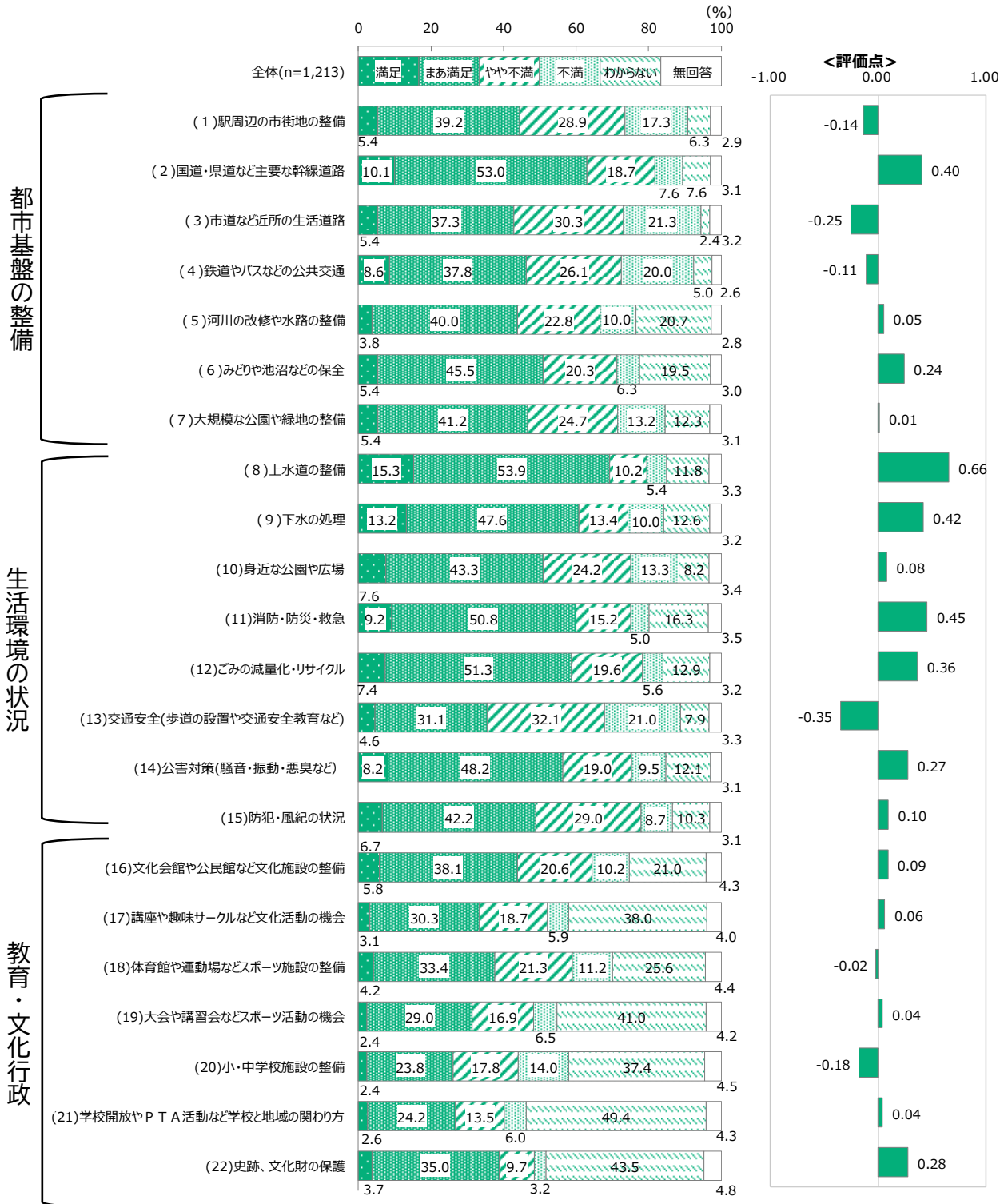
#### 《各分野の分類について》

満足度と優先度は、6つの分野に分類した 46 項目に沿って伺っています。6つの分類は以下のとおりです。

- ・都市基盤の整備
- ・生活環境の状況
- ・教育・文化行政
- ・保健・福祉・医療サービス
- ・産業振興
- ・コミュニティづくりや広報・広聴活動

満足度を評価点で見ると、「上水道の整備」が0.66で最も高く、次いで「健康診断・健康相談などの保健サービス」(0.46)、「消防・防災・救急」(0.45)となっています。一方で、「ショッピングセンターなどの商業施設」が-0.76で最も低く、次いで「地元商店街の整備」(-0.67)、「観光地や観光施設の整備」(-0.49)となっており、産業振興に関する満足度が低い傾向がみられます。

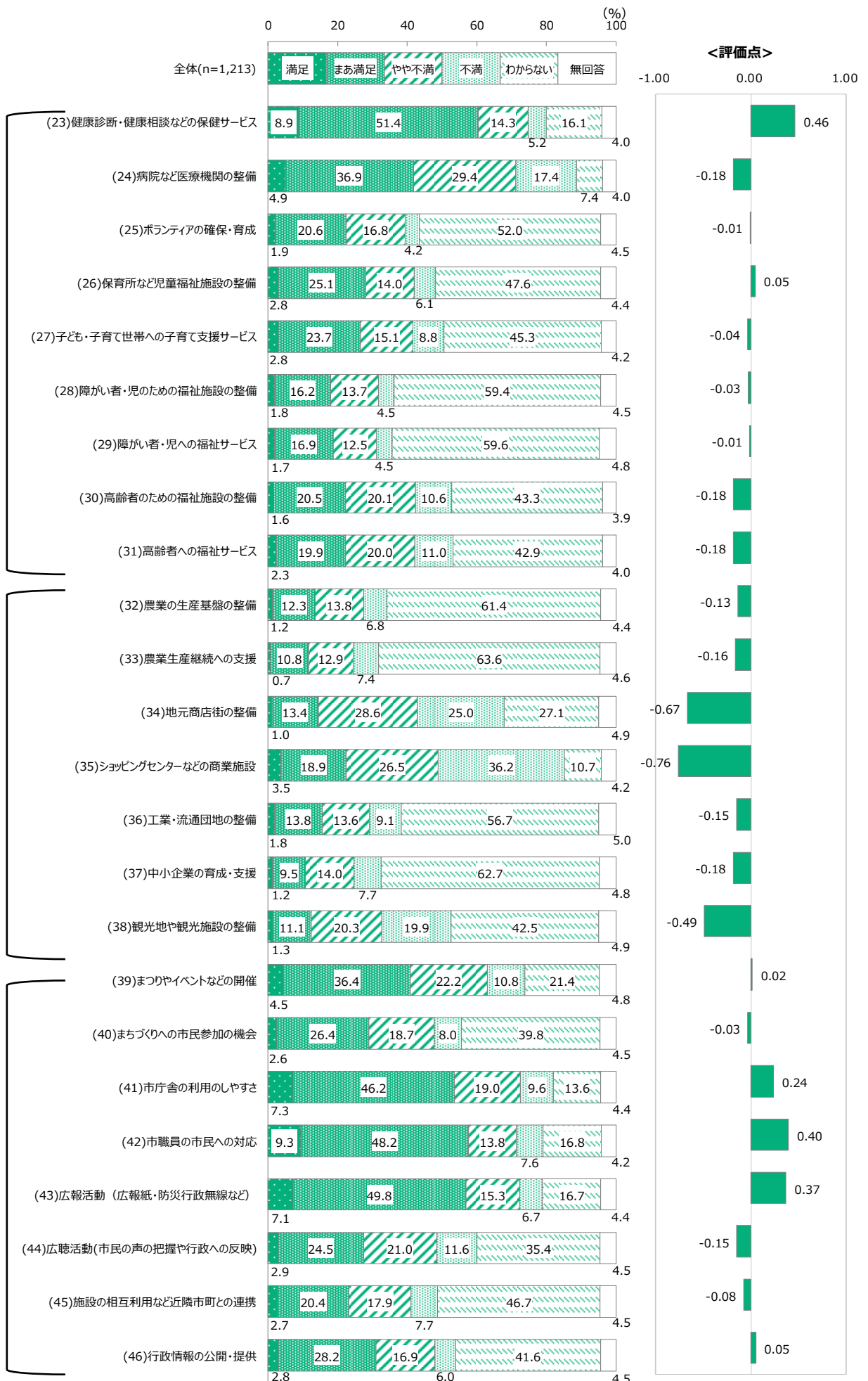
【A. 満足度】



保健・福祉・医療サービス

産業振興

コミュニティづくりや広報・広聴活動



【A. 満足度】 <年齢別> ※濃い網掛けは上位5位、薄い網掛けは下位5位を表す

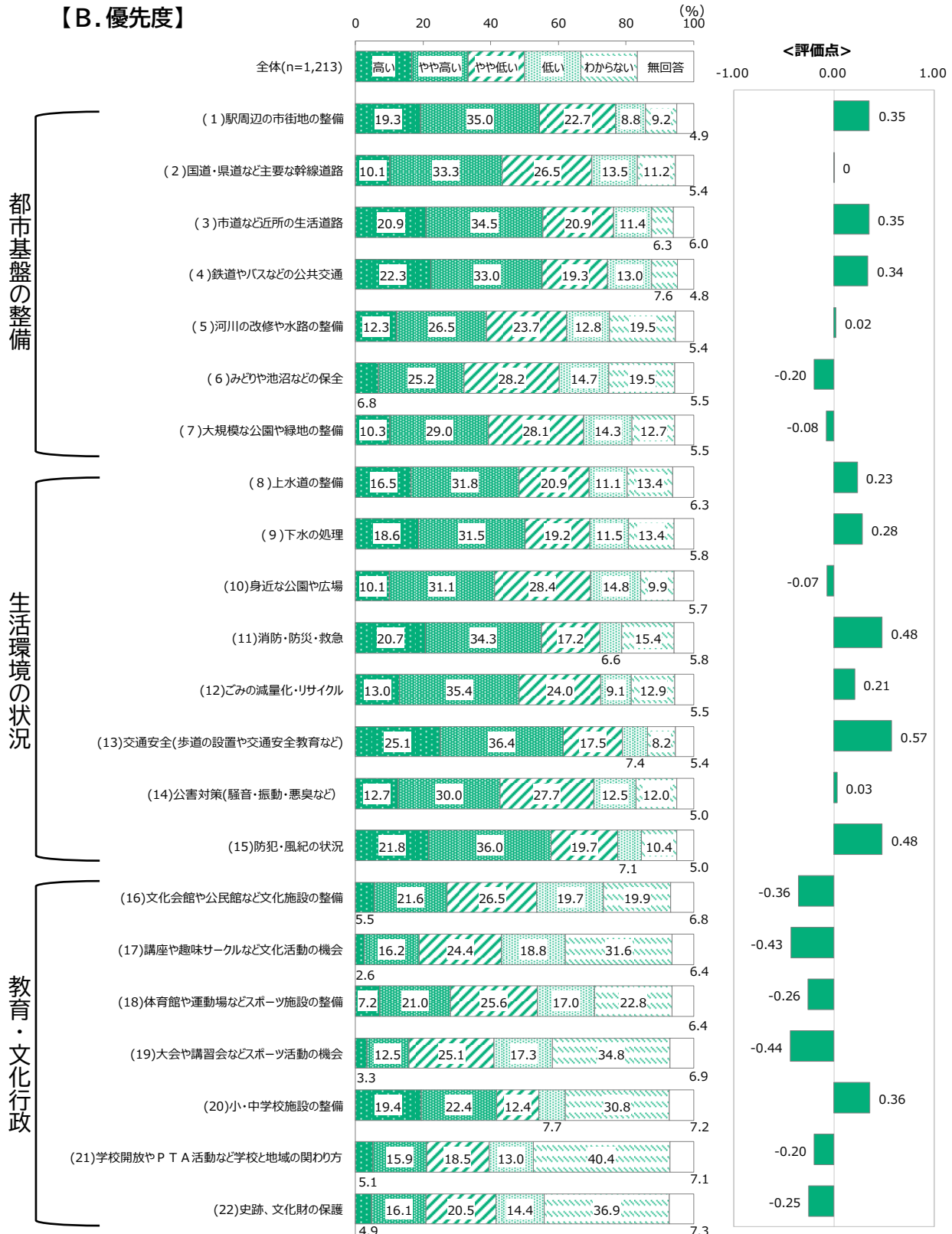
		全体	年齢						
			16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
都市 基盤 の 整備	(1) 駅周辺の市街地の整備	-0.14	0.16	0.21	-0.01	-0.12	-0.11	-0.37	-0.23
	(2) 国道・県道など主要な幹線道路	<b>0.40</b>	<b>0.59</b>	<b>0.81</b>	<b>0.86</b>	<b>0.52</b>	0.39	0.14	0.17
	(3) 市道など近所の生活道路	-0.25	0.28	0.24	-0.23	-0.17	-0.10	-0.60	-0.43
	(4) 鉄道やバスなどの公共交通	-0.11	0.14	0.20	0.22	0.07	-0.16	-0.38	-0.29
	(5) 河川の改修や水路の整備	0.05	0.20	0.26	0.24	0.26	0.20	-0.10	-0.21
	(6) みどりや池沼などの保全	0.24	<b>0.50</b>	0.46	<b>0.52</b>	<b>0.46</b>	<b>0.46</b>	-0.07	-0.03
	(7) 大規模な公園や緑地の整備	0.01	0.39	0.35	-0.02	0.09	0.33	-0.37	-0.16
生活 環境 の 状況	(8) 上水道の整備	<b>0.66</b>	0.36	<b>0.89</b>	<b>0.73</b>	<b>0.55</b>	<b>0.67</b>	<b>0.59</b>	<b>0.68</b>
	(9) 下水の処理	<b>0.42</b>	0.49	<b>0.72</b>	<b>0.56</b>	0.34	0.42	0.23	<b>0.40</b>
	(10) 身近な公園や広場	0.08	0.48	0.10	-0.11	0.13	0.24	-0.17	0.11
	(11) 消防・防災・救急	<b>0.45</b>	<b>0.64</b>	<b>0.55</b>	0.48	0.41	0.37	<b>0.29</b>	<b>0.55</b>
	(12) ごみの減量化・リサイクル	0.36	0.14	0.50	0.35	0.17	0.41	0.21	<b>0.51</b>
	(13) 交通安全(歩道の設置や交通安全教育など)	-0.35	0.26	0.06	-0.26	-0.39	-0.35	-0.71	-0.38
	(14) 公害対策(騒音・振動・悪臭など)	0.27	<b>0.81</b>	0.40	0.45	0.34	0.29	0.05	0.17
(15) 防犯・風紀の状況	0.10	0.12	0.40	0.30	0.13	-0.04	-0.12	0.10	
教育・ 文化 行政	(16) 文化会館や公民館など文化施設の整備	0.09	0.19	0.29	0.24	0.14	0.24	-0.10	-0.06
	(17) 講座や趣味サークルなど文化活動の機会	0.06	0.24	0.25	0.16	0.11	0.15	-0.09	-0.05
	(18) 体育館や運動場などスポーツ施設の整備	-0.02	-0.24	0.16	0.05	0.02	0.12	-0.24	-0.07
	(19) 大会や講習会などスポーツ活動の機会	0.04	0.10	0.32	0.15	0.05	0.10	-0.05	-0.08
	(20) 小・中学校施設の整備	-0.18	-0.52	-0.02	-0.49	-0.42	0.02	-0.26	-0.02
	(21) 学校開放やPTA活動など学校と地域の関わり方	0.04	-0.07	0.31	-0.04	0.00	0.10	0.00	0.01
	(22) 史跡・文化財の保護	0.28	0.44	0.48	0.27	0.36	0.38	0.15	0.16
医療 サ ー フ ィ ー ズ ・ 福 祉 サ ー ビ ス	(23) 健康診断・健康相談などの保健サービス	<b>0.46</b>	0.32	0.42	0.37	<b>0.47</b>	<b>0.46</b>	<b>0.33</b>	<b>0.60</b>
	(24) 病院など医療機関の整備	-0.18	0.07	0.09	-0.13	-0.21	-0.15	-0.42	-0.20
	(25) ボランティアの確保・育成	-0.01	0.07	0.30	0.18	0.08	0.06	-0.16	-0.19
	(26) 保育所など児童福祉施設の整備	0.05	0.17	0.16	-0.17	0.21	0.10	-0.05	0.02
	(27) 子ども・子育て世帯への子育て支援サービス	-0.04	0.07	-0.19	-0.30	0.07	0.06	-0.08	0.01
	(28) 障がい者・児のための福祉施設の整備	-0.03	-0.05	0.09	0.01	0.02	0.03	-0.12	-0.09
	(29) 障がい者・児への福祉サービス	-0.01	-0.02	0.11	0.03	0.08	0.03	-0.11	-0.08
	(30) 高齢者のための福祉施設の整備	-0.18	-0.02	0.12	0.10	0.05	-0.11	-0.30	-0.48
	(31) 高齢者への福祉サービス	-0.18	-0.02	0.18	0.10	0.07	-0.20	-0.24	-0.49
産 業 振 興	(32) 農業の生産基盤の整備	-0.13	0.05	0.15	0.03	-0.07	-0.14	-0.27	-0.27
	(33) 農業生産継続への支援	-0.16	0.02	0.04	-0.05	-0.11	-0.14	-0.26	-0.28
	(34) 地元商店街の整備	-0.67	-0.34	-0.24	-0.45	-0.67	-0.60	-0.96	-0.81
	(35) ショッピングセンターなどの商業施設	-0.76	-0.63	-0.56	-0.85	-0.84	-0.74	-0.84	-0.73
	(36) 工業・流通団地の整備	-0.15	0.07	0.22	0.06	-0.04	-0.10	-0.33	-0.37
	(37) 中小企業の育成・支援	-0.18	0.12	0.04	-0.02	-0.18	-0.11	-0.32	-0.33
	(38) 観光地や観光施設の整備	-0.49	-0.54	-0.19	-0.47	-0.57	-0.44	-0.63	-0.48
コ ミ ニ テ ィ ー ズ の 活 動	(39) まつりやイベントなどの開催	0.02	0.28	0.15	0.13	0.12	-0.22	-0.14	-0.50
	(40) まちづくりへの市民参加の機会	-0.03	0.27	0.22	0.06	0.08	0.12	-0.28	-0.20
	(41) 市庁舎の利用のしやすさ	0.24	0.24	0.32	0.37	0.33	0.28	0.11	0.15
	(42) 市職員の市民への対応	<b>0.40</b>	0.32	0.48	<b>0.59</b>	0.39	<b>0.44</b>	<b>0.26</b>	0.36
	(43) 広報活動(広報紙・防災行政無線など)	0.37	<b>0.68</b>	<b>0.52</b>	0.50	<b>0.44</b>	<b>0.45</b>	<b>0.25</b>	0.23
	(44) 広聴活動(市民の声の把握や行政への反映)	-0.15	-0.12	0.00	-0.18	-0.07	-0.03	-0.22	-0.25
	(45) 施設の相互利用など近隣市町との連携	-0.08	0.12	0.20	0.03	-0.02	-0.09	-0.13	-0.22
(46) 行政情報の公開・提供	0.05	0.24	0.24	0.18	0.12	0.08	-0.03	-0.09	
満足度平均値		0.01	0.15	0.24	0.10	0.06	0.07	-0.15	-0.08

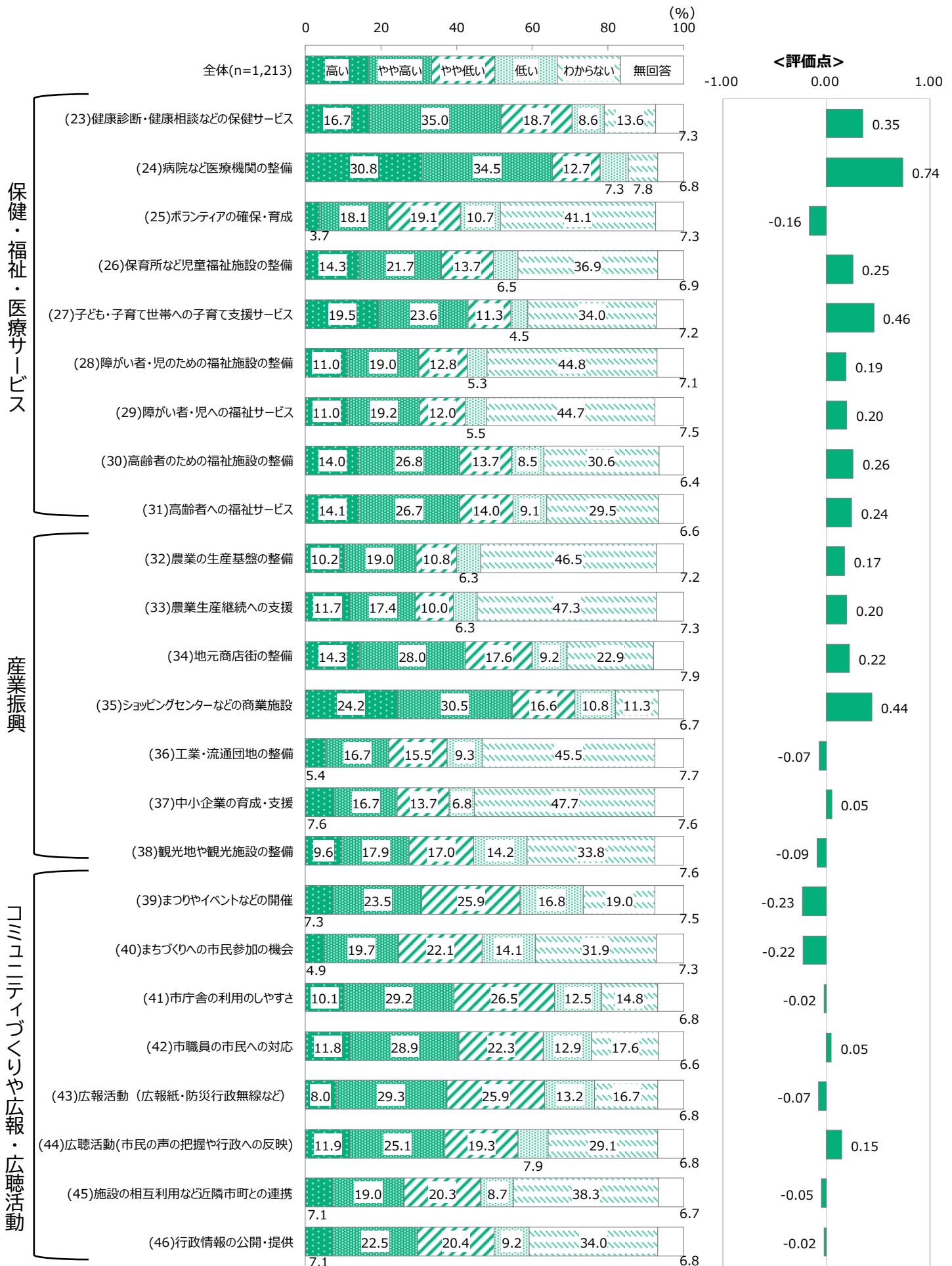
【A. 満足度】＜居住地区別＞※濃い網掛けは上位5位、薄い網掛けは下位5位を表す

		全体	居住地区					
			蓮田地区	蓮田南地区	黒浜地区	黒浜西地区	関戸地区	平野地区
都市 基盤 の 整備	(1)駅周辺の市街地の整備	-0.14	-0.08	-0.13	-0.07	-0.34	-0.12	-0.08
	(2)国道・県道など主要な幹線道路	<b>0.40</b>	0.40	<b>0.62</b>	0.34	<b>0.44</b>	<b>0.49</b>	-0.11
	(3)市道など近所の生活道路	-0.25	-0.44	0.14	-0.33	-0.05	-0.64	-0.83
	(4)鉄道やバスなどの公共交通	-0.11	0.17	-0.07	0.08	-0.40	-0.30	-0.70
	(5)河川の改修や水路の整備	0.05	0.16	0.21	-0.03	-0.17	0.01	-0.03
	(6)みどりや池沼などの保全	0.24	0.28	<b>0.42</b>	0.17	0.16	0.25	0.01
	(7)大規模な公園や緑地の整備	0.01	0.06	0.25	-0.11	0.15	-0.34	-0.45
生活 環境 の 状況	(8)上水道の整備	<b>0.66</b>	<b>0.91</b>	<b>0.76</b>	<b>0.59</b>	<b>0.65</b>	0.10	<b>0.39</b>
	(9)下水の処理	<b>0.42</b>	<b>0.68</b>	<b>0.68</b>	<b>0.38</b>	<b>0.48</b>	-0.82	0.00
	(10)身近な公園や広場	0.08	0.20	0.33	-0.05	0.34	-0.47	-0.62
	(11)消防・防災・救急	<b>0.45</b>	<b>0.52</b>	<b>0.56</b>	<b>0.38</b>	<b>0.47</b>	<b>0.49</b>	0.17
	(12)ごみの減量化・リサイクル	0.36	0.31	0.41	0.35	0.42	0.26	<b>0.34</b>
	(13)交通安全(歩道の設置や交通安全教育など)	-0.35	-0.47	-0.13	-0.47	-0.10	-0.42	-0.80
	(14)公害対策(騒音・振動・悪臭など)	0.27	0.43	0.40	0.20	0.33	-0.15	-0.06
(15)防犯・風紀の状況	0.10	0.17	0.21	0.04	0.18	-0.20	-0.17	
教育・ 文化 行政	(16)文化会館や公民館など文化施設の整備	0.09	0.15	0.01	0.04	0.18	0.15	0.09
	(17)講座や趣味サークルなど文化活動の機会	0.06	0.13	0.09	0.01	0.13	-0.08	-0.04
	(18)体育館や運動場などスポーツ施設の整備	-0.02	0.00	-0.14	-0.06	0.12	-0.04	0.15
	(19)大会や講習会などスポーツ活動の機会	0.04	0.07	0.01	-0.06	0.11	0.13	0.15
	(20)小・中学校施設の整備	-0.18	-0.05	-0.20	-0.30	-0.15	-0.06	-0.29
	(21)学校開放やPTA活動など学校と地域の関わり方	0.04	0.00	0.04	-0.02	0.15	0.10	0.01
(22)史跡、文化財の保護	0.28	0.30	0.33	0.20	0.33	<b>0.28</b>	0.19	
医療 サ ー 福 祉 サ ー ビ ス	(23)健康診断・健康相談などの保健サービス	<b>0.46</b>	<b>0.53</b>	0.40	<b>0.49</b>	<b>0.48</b>	<b>0.42</b>	<b>0.46</b>
	(24)病院など医療機関の整備	-0.18	-0.10	-0.16	-0.18	-0.23	-0.21	-0.30
	(25)ボランティアの確保・育成	-0.01	0.02	0.05	-0.06	0.02	-0.12	-0.08
	(26)保育所など児童福祉施設の整備	0.05	0.13	0.02	0.01	0.05	0.13	-0.02
	(27)子ども・子育て世帯への子育て支援サービス	-0.04	0.04	-0.08	-0.06	-0.01	0.05	-0.14
	(28)障がい者・児のための福祉施設の整備	-0.03	0.00	0.03	-0.10	-0.02	-0.03	-0.08
	(29)障がい者・児への福祉サービス	-0.01	0.02	0.02	-0.02	-0.01	-0.10	-0.04
	(30)高齢者のための福祉施設の整備	-0.18	-0.18	-0.10	-0.22	-0.19	-0.23	-0.22
	(31)高齢者への福祉サービス	-0.18	-0.12	-0.09	-0.25	-0.19	-0.23	-0.30
産業 振 興	(32)農業の生産基盤の整備	-0.13	-0.12	0.01	-0.20	-0.13	-0.14	-0.44
	(33)農業生産継続への支援	-0.16	-0.15	0.00	-0.19	-0.16	-0.35	-0.48
	(34)地元商店街の整備	-0.67	-0.64	-0.59	-0.69	-0.56	-0.87	-0.85
	(35)ショッピングセンターなどの商業施設	-0.76	-0.70	-0.69	-0.84	-0.62	-0.99	-0.94
	(36)工業・流通団地の整備	-0.15	-0.16	-0.03	-0.24	-0.15	-0.23	-0.15
	(37)中小企業の育成・支援	-0.18	-0.18	-0.08	-0.27	-0.23	-0.21	-0.17
	(38)観光地や観光施設の整備	-0.49	-0.31	-0.52	-0.57	-0.51	-0.55	-0.44
コ ミ ュ ニ テ ィ ブ ク リ ヤ	(39)まつりやイベントなどの開催	0.02	0.12	0.02	0.01	0.01	-0.11	-0.08
	(40)まちづくりへの市民参加の機会	-0.03	0.00	0.03	-0.11	0.01	-0.12	-0.08
	(41)市庁舎の利用のしやすさ	0.24	0.25	0.18	0.26	0.41	0.25	0.03
	(42)市職員の市民への対応	<b>0.40</b>	<b>0.49</b>	0.40	<b>0.37</b>	0.37	0.22	<b>0.47</b>
	(43)広報活動(広報紙・防災行政無線など)	0.37	0.36	<b>0.42</b>	0.28	0.42	<b>0.54</b>	<b>0.26</b>
	(44)広聴活動(市民の声の把握や行政への反映)	-0.15	-0.09	-0.16	-0.26	-0.06	0.01	-0.24
	(45)施設の相互利用など近隣市町との連携	-0.08	-0.07	-0.09	-0.11	0.05	-0.19	-0.10
	(46)行政情報の公開・提供	0.05	0.01	0.07	-0.01	0.19	0.03	0.01
満足度平均値		0.01	0.07	0.08	-0.04	0.05	-0.10	-0.14

優先度を評価点でみると、「病院など医療機関の整備」が0.74で最も高く、次いで「交通安全(歩道の設置や交通安全教育など)」(0.57)、「消防・防災・救急」と「防犯・風紀の状況」が0.48%となっています。一方で、「大会や講習会などスポーツ活動の機会」が-0.44で最も優先度が低く、次いで「講座や趣味サークルなど文化活動の機会」(-0.43)、「文化会館や公民館など文化施設の整備」(-0.36)となっており、教育・文化行政に関する優先度が低い傾向がみられます。

【B. 優先度】





【B. 優先度】〈年齢別〉 ※濃い網掛けは上位5位、薄い網掛けは下位5位を表す

		全体	年齢						
			16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
都市 基盤 の 整備	(1) 駅周辺の市街地の整備	0.35	0.59	0.56	0.56	0.30	0.40	0.26	0.22
	(2) 国道・県道など主要な幹線道路	0.00	0.02	-0.17	-0.23	-0.03	0.25	-0.08	0.05
	(3) 市道など近所の生活道路	0.35	0.31	0.41	0.72	0.40	0.37	0.24	0.20
	(4) 鉄道やバスなどの公共交通	0.34	0.30	0.72	0.39	0.45	0.43	0.26	0.14
	(5) 河川の改修や水路の整備	0.02	0.18	-0.11	-0.05	-0.01	0.02	0.01	0.07
	(6) みどりや池沼などの保全	-0.20	0.02	-0.24	-0.19	-0.30	-0.33	-0.11	-0.13
	(7) 大規模な公園や緑地の整備	-0.08	0.23	-0.21	0.31	-0.06	-0.26	-0.06	-0.14
生活 環境 の 状況	(8) 上水道の整備	0.23	0.21	0.11	0.08	0.31	0.39	0.09	0.26
	(9) 下水の処理	0.28	0.37	0.25	0.20	0.33	0.48	0.17	0.22
	(10) 身近な公園や広場	-0.07	-0.19	-0.18	0.37	-0.10	-0.16	-0.21	-0.08
	(11) 消防・防災・救急	0.48	0.45	0.42	0.63	0.53	0.61	0.30	0.43
	(12) ごみの減量化・リサイクル	0.21	0.43	0.14	0.09	0.30	0.21	0.10	0.24
	(13) 交通安全(歩道の設置や交通安全教育など)	0.57	0.67	0.69	0.85	0.79	0.61	0.45	0.35
	(14) 公害対策(騒音・振動・悪臭など)	0.03	0.02	0.14	0.09	0.04	0.02	-0.05	0.00
(15) 防犯・風紀の状況	0.48	0.98	0.45	0.77	0.62	0.58	0.39	0.23	
教育・ 文化 行政	(16) 文化会館や公民館など文化施設の整備	-0.36	-0.40	-0.64	-0.35	-0.54	-0.41	-0.28	-0.17
	(17) 講座や趣味サークルなど文化活動の機会	-0.43	-0.62	-0.66	-0.58	-0.56	-0.51	-0.26	-0.26
	(18) 体育館や運動場などスポーツ施設の整備	-0.26	0.14	-0.21	-0.11	-0.34	-0.29	-0.26	-0.31
	(19) 大会や講習会などスポーツ活動の機会	-0.44	-0.24	-0.49	-0.54	-0.46	-0.43	-0.35	-0.43
	(20) 小・中学校施設の整備	0.36	0.62	0.59	0.94	0.49	0.22	0.21	0.12
	(21) 学校開放やPTA活動など学校と地域の関わり方	-0.20	-0.38	-0.25	-0.01	-0.26	-0.23	-0.29	-0.13
(22) 史跡、文化財の保護	-0.25	-0.17	-0.21	-0.36	-0.37	-0.20	-0.37	-0.14	
医療 サ ー 福 祉 サ ー ビ ス	(23) 健康診断・健康相談などの保健サービス	0.35	0.49	0.32	0.34	0.23	0.30	0.33	0.46
	(24) 病院など医療機関の整備	0.74	0.61	0.78	0.98	0.84	0.82	0.68	0.56
	(25) ボランティアの確保・育成	-0.16	-0.22	-0.27	-0.42	-0.32	-0.01	-0.07	-0.07
	(26) 保育所など児童福祉施設の整備	0.25	0.56	0.62	0.80	0.08	0.19	0.18	0.06
	(27) 子ども・子育て世帯への子育て支援サービス	0.46	0.71	0.92	1.28	0.49	0.29	0.17	0.18
	(28) 障がい者・児のための福祉施設の整備	0.19	0.17	0.18	0.19	0.25	0.17	0.24	0.14
	(29) 障がい者・児への福祉サービス	0.20	0.17	0.11	0.19	0.25	0.20	0.27	0.17
	(30) 高齢者のための福祉施設の整備	0.26	0.27	-0.06	-0.10	0.26	0.49	0.44	0.25
(31) 高齢者への福祉サービス	0.24	0.29	-0.13	-0.12	0.28	0.47	0.41	0.25	
産 業 振 興	(32) 農業の生産基盤の整備	0.17	0.22	0.32	0.22	0.20	0.30	0.25	-0.01
	(33) 農業生産継続への支援	0.20	0.44	0.44	0.23	0.16	0.24	0.26	0.05
	(34) 地元商店街の整備	0.22	0.22	0.22	0.22	0.34	0.28	0.30	0.09
	(35) ショッピングセンターなどの商業施設	0.44	0.63	0.71	0.87	0.68	0.50	0.32	0.05
	(36) 工業・流通団地の整備	-0.07	-0.13	-0.30	-0.23	-0.07	-0.01	-0.02	0.00
	(37) 中小企業の育成・支援	0.05	0.20	0.04	-0.05	0.06	0.20	0.10	-0.04
(38) 観光地や観光施設の整備	-0.09	0.20	-0.10	-0.14	-0.09	0.07	-0.01	-0.23	
コ ミ ュ ニ テ ィ ブ ク リ ヤ	(39) まつりやイベントなどの開催	-0.23	-0.15	-0.32	-0.13	-0.17	-0.23	-0.32	-0.24
	(40) まちづくりへの市民参加の機会	-0.22	-0.08	-0.32	-0.18	-0.29	-0.15	-0.16	-0.26
	(41) 市庁舎の利用のしやすさ	-0.02	-0.15	-0.06	0.19	-0.09	0.07	-0.12	-0.06
	(42) 市職員の市民への対応	0.05	0.05	-0.11	-0.02	0.05	-0.03	-0.05	0.20
	(43) 広報活動(広報紙・防災行政無線など)	-0.07	-0.07	-0.52	-0.25	-0.21	-0.04	-0.06	0.17
	(44) 広聴活動(市民の声の把握や行政への反映)	0.15	0.63	0.23	0.36	0.11	0.16	0.15	-0.01
	(45) 施設の相互利用など近隣市町との連携	-0.05	0.22	-0.16	0.09	-0.01	0.05	-0.16	-0.12
(46) 行政情報の公開・提供	-0.02	0.22	-0.05	0.02	-0.08	0.09	-0.09	-0.06	
優先度平均値		0.10	0.20	0.08	0.17	0.10	0.14	0.07	0.05

【B. 優先度】〈居住地区別〉 ※濃い網掛けは上位5位、薄い網掛けは下位5位を表す

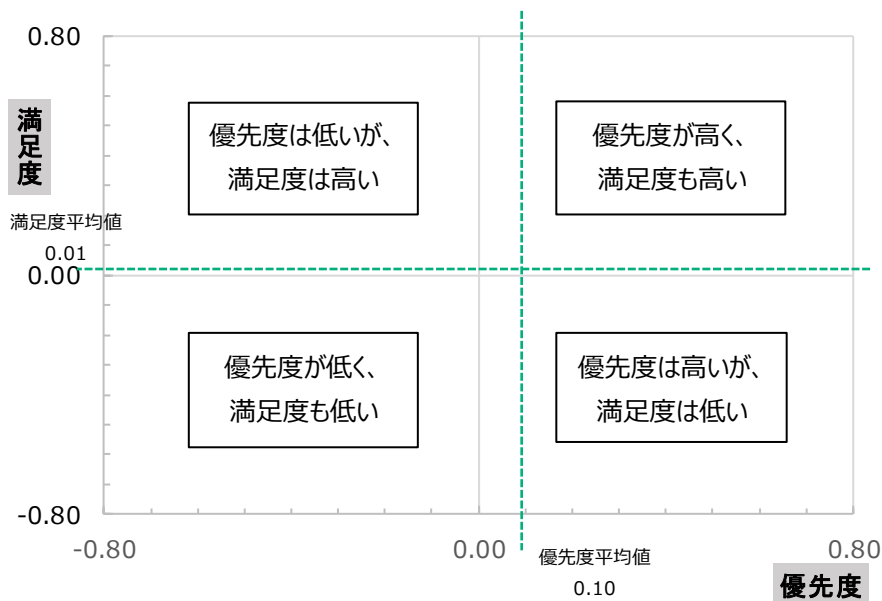
		全体	居住地区					
			蓮田地区	蓮田南地区	黒浜地区	黒浜西地区	関戸地区	平野地区
都市 基盤 の 整備	(1)駅周辺の市街地の整備	0.35	0.52	0.59	0.12	0.42	0.11	-0.14
	(2)国道・県道など主要な幹線道路	0.00	-0.11	0.04	0.02	0.09	0.07	-0.15
	(3)市道など近所の生活道路	0.35	0.44	0.27	0.46	0.36	0.25	0.14
	(4)鉄道やバスなどの公共交通	0.34	0.26	0.55	0.30	0.48	-0.13	0.08
	(5)河川の改修や水路の整備	0.02	0.00	-0.04	-0.04	0.38	0.13	-0.36
	(6)みどりや池沼などの保全	-0.20	-0.25	-0.17	-0.18	-0.01	-0.17	-0.49
	(7)大規模な公園や緑地の整備	-0.08	-0.14	0.09	-0.06	-0.02	-0.18	-0.43
生活 環境 の 状況	(8)上水道の整備	0.23	0.07	0.31	0.16	0.43	0.34	0.10
	(9)下水の処理	0.28	0.18	0.30	0.24	0.48	0.36	0.15
	(10)身近な公園や広場	-0.07	-0.07	0.04	-0.06	-0.03	-0.14	-0.48
	(11)消防・防災・救急	0.48	0.38	0.56	0.49	0.61	0.20	0.38
	(12)ごみの減量化・リサイクル	0.21	0.07	0.28	0.30	0.28	-0.01	0.15
	(13)交通安全(歩道の設置や交通安全教育など)	0.57	0.78	0.59	0.57	0.56	0.21	0.42
	(14)公害対策(騒音・振動・悪臭など)	0.03	-0.05	0.05	0.15	0.04	0.00	-0.17
(15)防犯・風紀の状況	0.48	0.49	0.62	0.47	0.54	0.17	0.16	
教育 ・ 文化 行政	(16)文化会館や公民館など文化施設の整備	-0.36	-0.45	-0.31	-0.45	-0.18	-0.24	-0.43
	(17)講座や趣味サークルなど文化活動の機会	-0.43	-0.46	-0.50	-0.44	-0.33	-0.32	-0.46
	(18)体育館や運動場などスポーツ施設の整備	-0.26	-0.23	-0.15	-0.36	-0.25	-0.04	-0.51
	(19)大会や講習会などスポーツ活動の機会	-0.44	-0.44	-0.42	-0.49	-0.46	-0.23	-0.45
	(20)小・中学校施設の整備	0.36	0.33	0.48	0.30	0.47	0.16	0.12
	(21)学校開放やPTA活動など学校と地域の関わり方	-0.20	-0.19	-0.16	-0.28	-0.13	-0.14	-0.24
(22)史跡、文化財の保護	-0.25	-0.25	-0.22	-0.25	-0.23	-0.19	-0.44	
医療 サ ー 福 祉 サ ー ビ ス	(23)健康診断・健康相談などの保健サービス	0.35	0.25	0.47	0.33	0.47	0.19	0.16
	(24)病院など医療機関の整備	0.74	0.77	0.84	0.72	0.83	0.32	0.51
	(25)ボランティアの確保・育成	-0.16	-0.06	-0.25	-0.21	-0.04	-0.26	-0.15
	(26)保育所など児童福祉施設の整備	0.25	0.39	0.41	0.15	0.19	-0.16	0.16
	(27)子ども・子育て世帯への子育て支援サービス	0.46	0.56	0.58	0.44	0.40	0.03	0.30
	(28)障がい者・児のための福祉施設の整備	0.19	0.18	0.27	0.16	0.24	0.00	0.11
	(29)障がい者・児への福祉サービス	0.20	0.19	0.28	0.15	0.24	0.01	0.11
	(30)高齢者のための福祉施設の整備	0.26	0.29	0.19	0.32	0.31	0.16	0.17
	(31)高齢者への福祉サービス	0.24	0.27	0.17	0.30	0.31	0.20	0.16
産 業 振 興	(32)農業の生産基盤の整備	0.17	0.19	0.25	0.16	0.14	0.13	0.08
	(33)農業生産継続への支援	0.20	0.21	0.24	0.18	0.21	0.21	0.09
	(34)地元商店街の整備	0.22	0.25	0.41	0.15	0.22	0.00	-0.09
	(35)ショッピングセンターなどの商業施設	0.44	0.52	0.58	0.43	0.38	0.15	0.09
	(36)工業・流通団地の整備	-0.07	0.02	-0.13	-0.14	0.02	-0.10	-0.12
	(37)中小企業の育成・支援	0.05	0.14	0.00	0.06	0.12	-0.12	-0.05
	(38)観光地や観光施設の整備	-0.09	-0.10	-0.05	-0.07	-0.04	-0.12	-0.31
コ ミ ュ ニ ティ ブ リ ン グ 活 動	(39)まつりやイベントなどの開催	-0.23	-0.38	-0.11	-0.20	-0.27	-0.10	-0.35
	(40)まちづくりへの市民参加の機会	-0.22	-0.21	-0.21	-0.20	-0.24	-0.31	-0.25
	(41)市庁舎の利用のしやすさ	-0.02	0.03	0.09	-0.13	-0.02	-0.10	-0.15
	(42)市職員の市民への対応	0.05	-0.05	0.12	0.09	0.16	0.03	-0.23
	(43)広報活動(広報紙・防災行政無線など)	-0.07	-0.16	-0.07	-0.07	0.11	-0.18	-0.12
	(44)広聴活動(市民の声の把握や行政への反映)	0.15	0.05	0.34	0.06	0.19	-0.03	0.15
	(45)施設の相互利用など近隣市町との連携	-0.05	-0.05	0.05	-0.06	-0.01	-0.31	-0.17
(46)行政情報の公開・提供	-0.02	0.05	-0.05	-0.04	0.07	-0.10	-0.11	
優先度平均値		0.10	0.09	0.16	0.08	0.16	-0.01	-0.07

## 散布図

続いて、満足度と優先度の相関関係を散布図で表します。

### ◆満足度×優先度の見方

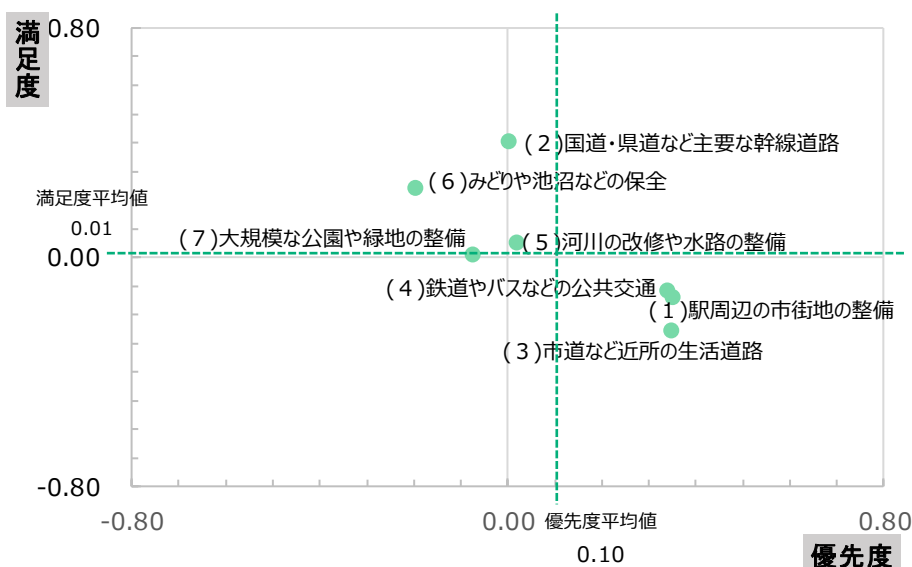
縦軸は「満足度」、横軸は「優先度」を表しており、それぞれ46項目の平均値を基準とし、各項目の満足度および優先度が、平均に対し、どのような位置づけになっているかを示しています。散布図は6つの分野ごとに作成しています。



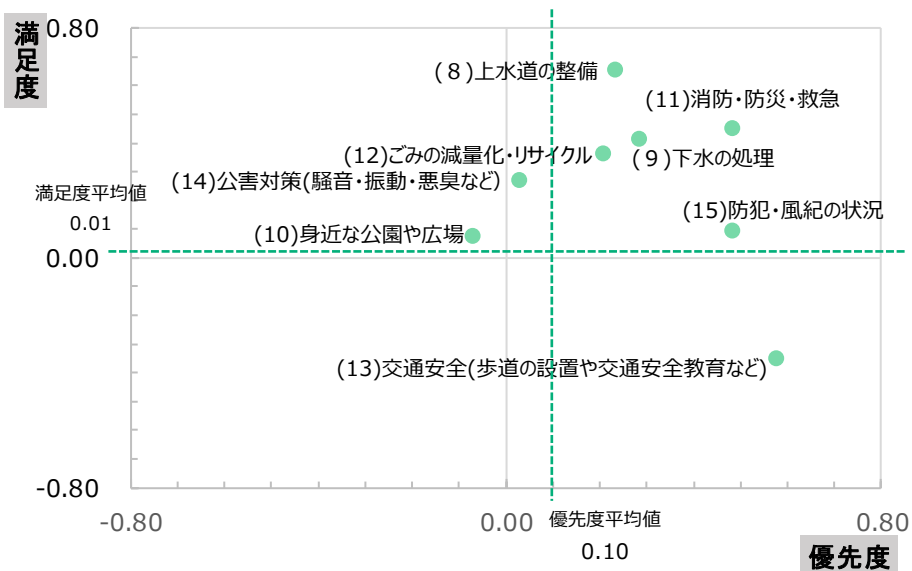
全体的な傾向を見ると、「優先度は高いが、満足度は低い」エリアに分類される項目は17項目ありますが、そのうち、優先度の評価点が0.3以上の比較的優先度が高い項目は、【都市基盤の整備】の「駅周辺の市街地の整備」、「市道など近所の生活道路」、「鉄道やバスなどの公共交通」、【生活環境の状況】の「交通安全（歩道の設置や交通安全教育など）」、【教育・文化行政】の「小・中学校施設の整備」、【保健・福祉・医療サービス】の「病院など医療機関の整備」、「子ども・子育て世帯への子育て支援サービス」、【産業振興】の「ショッピングセンターなどの商業施設」となっています。

一方で、「優先度が高く、満足度も高い」エリアに分類される項目は、【生活環境の状況】の「上水道の整備」、「消防・防災・救急」、「下水の処理」、「ゴミの減量化・リサイクル」、「公害対策（騒音・振動・悪臭など）」や、【保健・福祉・医療サービス】の「健康診断・健康相談などの保健サービス」、コミュニティづくりや広報・広聴活動】の「市職員の市民への対応」などとなっています。

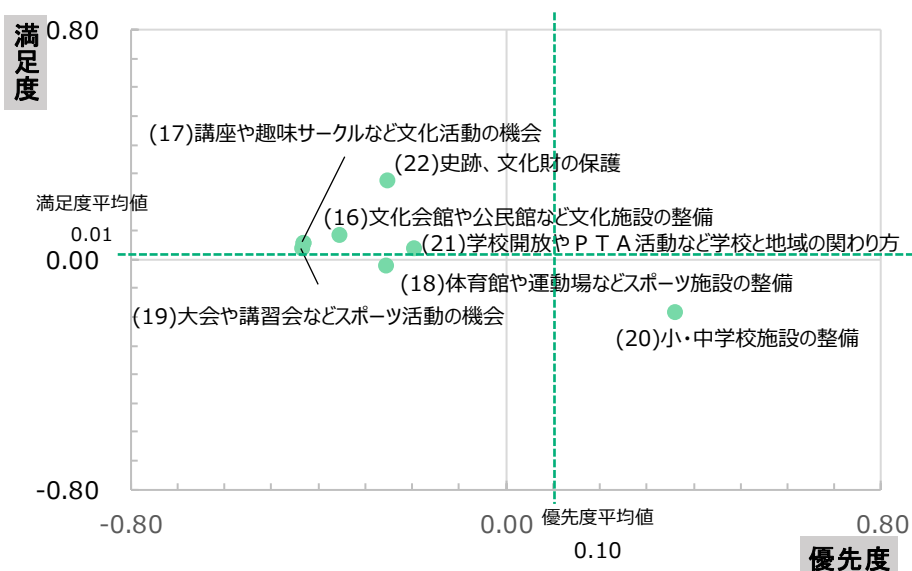
### 【都市基盤の整備】



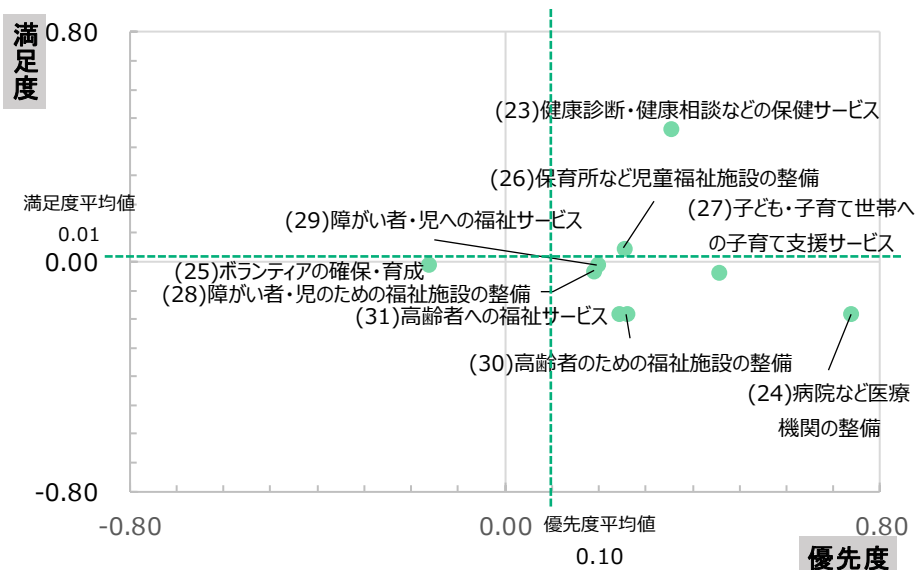
### 【生活環境の状況】



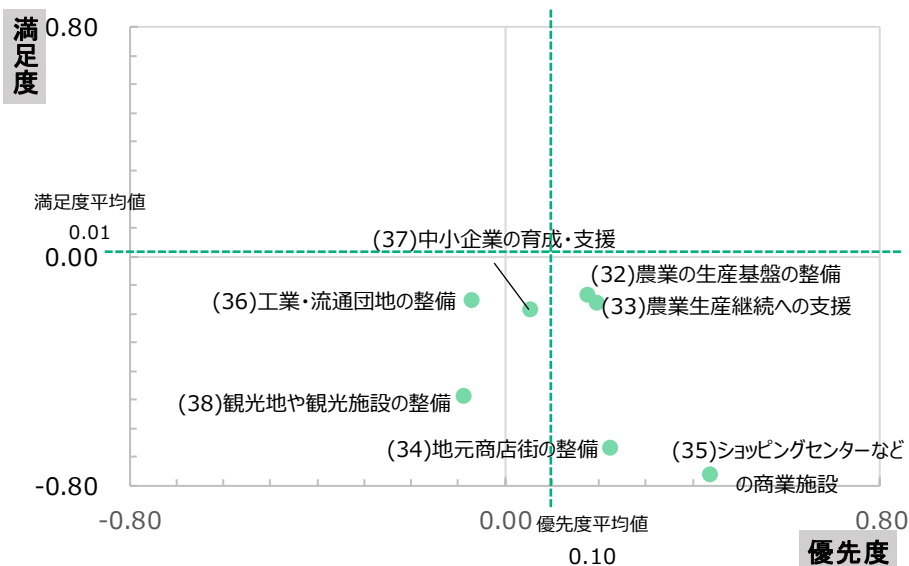
### 【教育・文化行政】



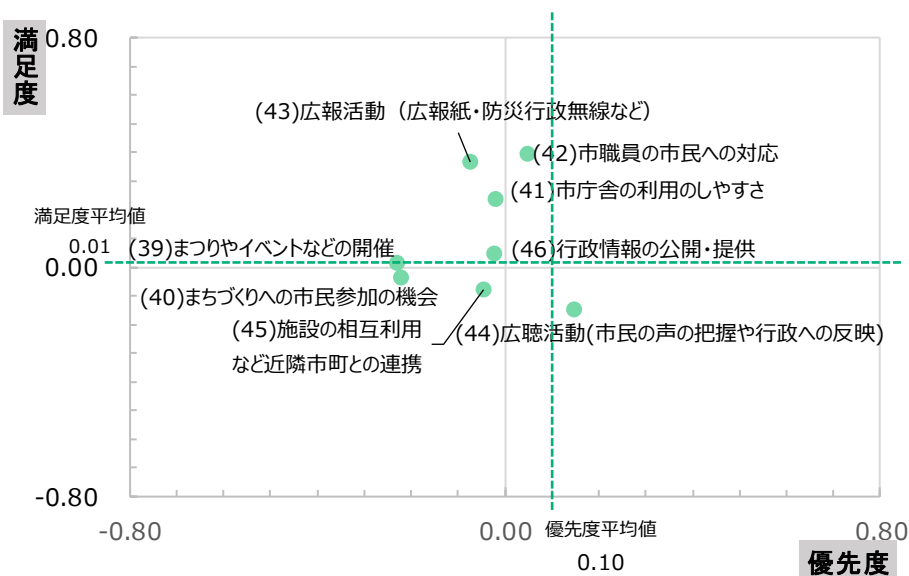
### 【保健・福祉・医療サービス】



### 【産業振興】



### 【コミュニティづくりや広報・広聴活動】

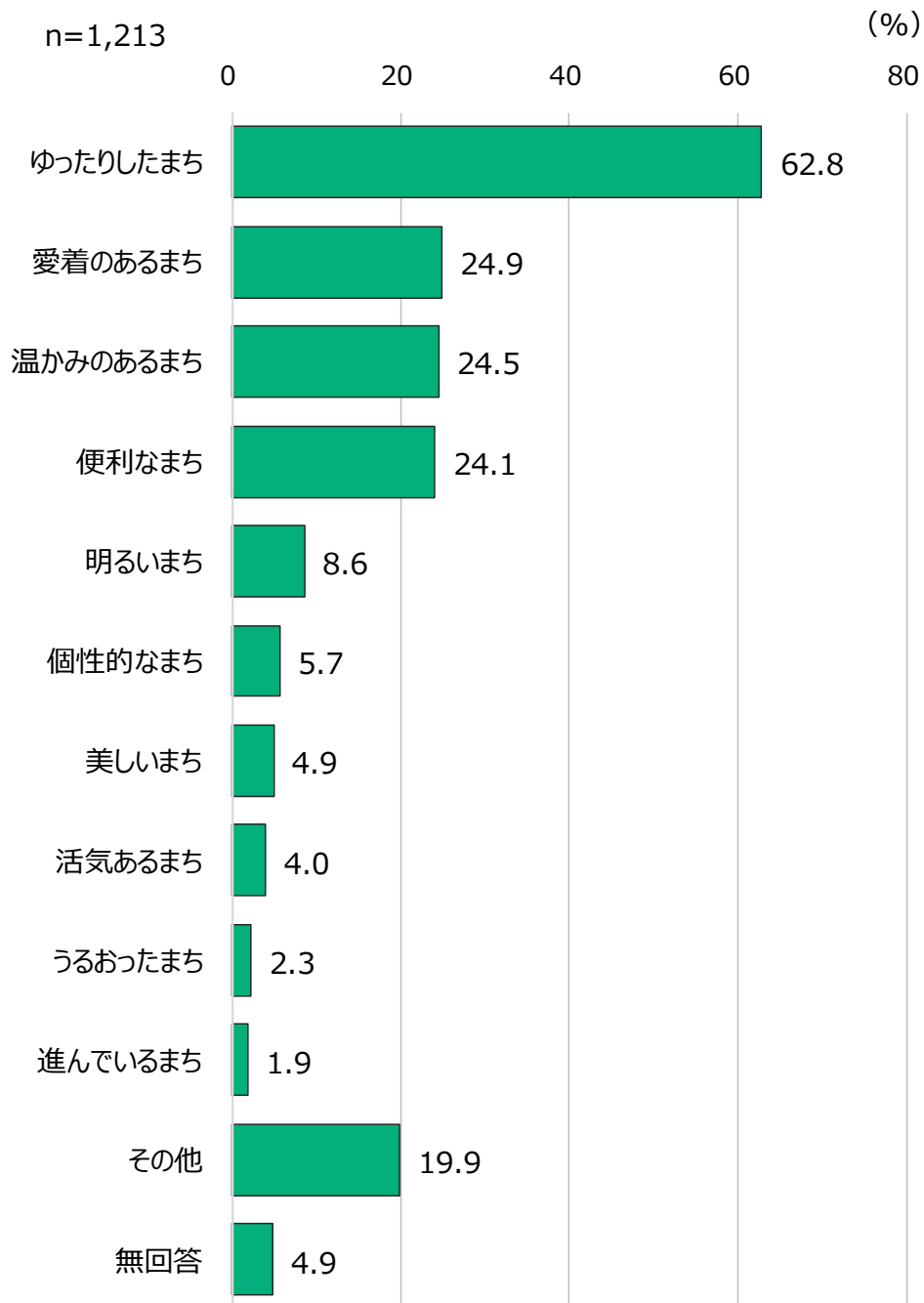


## 4. 蓮田市のイメージやまちの魅力について

問13 蓮田市に対してどのようなまちのイメージを思い浮かべますか。(イメージに近いもの3つまでに○)

「ゆったりしたまち」が62.8%で最も多く、次いで「愛着のあるまち」(24.9%)、「温かみのあるまち」(24.5%)となっています。

【全体】



蓮田市のまちのイメージを性別で見ると、男性では「便利なまち」、女性では「温かみのあるまち」がやや多くなっています。

年齢別で見ると、概ね傾向は同じですが、40歳代以上は、30歳代以下と比較して「愛着のあるまち」が多い傾向にあります。

居住地区別で見ると、概ね傾向は同じですが、蓮田地区、蓮田南地区、黒浜西地区は他の地区と比較して「便利なまち」が多くなっています。

【性別・年齢・居住地区別】 ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

(%)

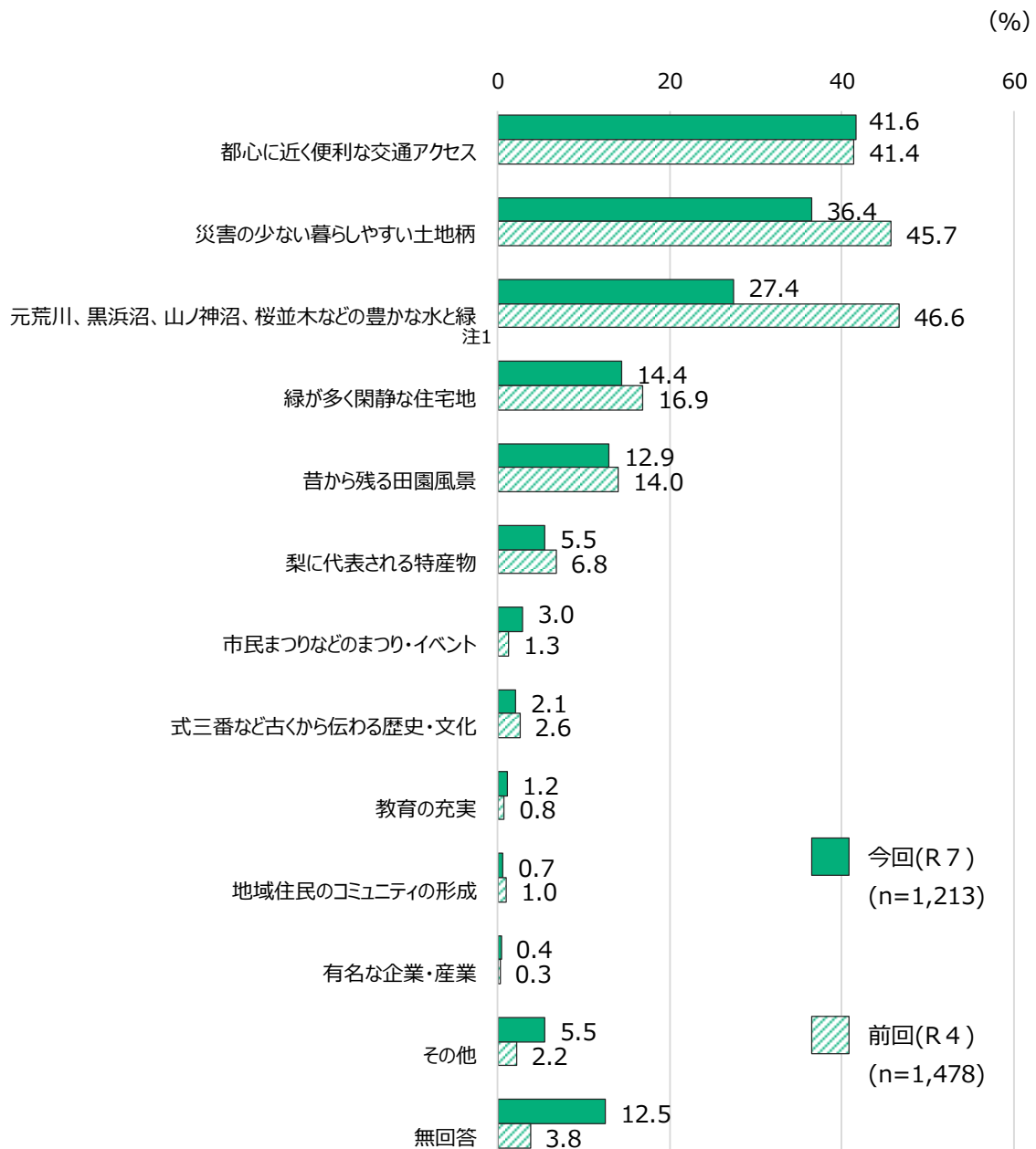
		ゆったりしたまち	愛着のあるまち	温かみのあるまち	便利なまち	明るいまち	個性的なまち	美しいまち	活気あるまち	うるおったまち	進んでいるまち	その他	無回答
全体 (n=1,213)		62.8	24.9	24.5	24.1	8.6	5.7	4.9	4.0	2.3	1.9	19.9	4.9
性別	男性 (n=555)	62.5	26.5	25.0	27.2	8.8	8.8	6.1	5.4	3.6	1.8	20.5	3.8
	女性 (n=632)	64.1	23.7	24.4	21.2	8.5	2.8	4.1	2.8	1.3	2.1	19.6	4.7
年齢	16～19歳 (n=45)	53.3	15.6	26.7	20.0	13.3	4.4	2.2	6.7	6.7	4.4	13.3	8.9
	20～29歳 (n=107)	60.7	16.8	17.8	30.8	6.5	2.8	1.9	0.9	0.0	0.0	17.8	8.4
	30～39歳 (n=137)	65.0	19.7	26.3	22.6	3.6	2.2	2.9	3.6	0.7	1.5	16.8	6.6
	40～49歳 (n=183)	64.5	30.6	21.9	21.9	4.4	4.4	3.8	3.8	1.6	1.1	26.2	2.7
	50～59歳 (n=196)	68.4	24.5	20.9	18.9	2.6	4.1	4.6	2.6	1.5	3.1	21.9	4.1
	60～69歳 (n=169)	64.5	28.4	23.1	16.6	7.7	3.6	7.7	1.2	2.4	0.6	23.1	3.0
	70歳以上 (n=366)	60.4	26.5	29.8	31.1	16.4	10.7	6.6	7.1	3.8	2.7	16.7	3.6
居住地区	蓮田地区 (n=242)	64.5	25.6	25.6	31.4	5.4	6.6	3.7	5.0	1.2	1.7	18.6	4.5
	蓮田南地区 (n=309)	65.4	24.6	22.0	26.9	10.7	3.6	5.2	4.2	1.6	2.9	18.1	5.2
	黒浜地区 (n=273)	63.7	23.8	30.0	19.4	8.1	6.2	3.3	1.8	2.2	0.4	24.2	4.0
	黒浜西地区 (n=190)	62.1	24.2	21.6	28.4	11.1	4.7	9.5	5.8	2.6	2.1	16.8	2.6
	閩戸地区 (n=76)	59.2	27.6	23.7	17.1	10.5	11.8	2.6	3.9	5.3	2.6	18.4	5.3
	平野地区 (n=107)	57.9	29.9	23.4	10.3	5.6	6.5	5.6	4.7	4.7	2.8	24.3	3.7

**問14 あなたは、蓮田市のまちの魅力は何と感じますか。(あてはまるもの2つまでに○)**

「都心に近く便利な交通アクセス」が41.6%で最も多く、次いで「災害の少ない暮らしやすい土地柄」(36.4%)、「元荒川、黒浜沼、山ノ神沼、桜並木などの豊かな水と緑」(27.4%)となっています。

前回調査と比較すると、「元荒川、黒浜沼、山ノ神沼、桜並木などの豊かな水と緑」が19.2ポイント、「災害の少ない暮らしやすい土地柄」が9.3ポイント減少しています。

**【全体・前回比較】**



注1: 前回調査の選択肢は、「元荒川、黒浜沼、桜並木などの豊かな水と緑」。

蓮田市の魅力を性別でみると、大きな違いはなく、年齢別でみると、60歳以上では「災害の少ない暮らしやすい土地柄」が最も多くなっています。

居住地区別でみると、閩戸地区と平野地区では「災害の少ない暮らしやすい土地柄」が最も多く、黒浜西地区では「元荒川、黒浜沼、山ノ神沼、桜並木などの豊かな水と緑」が最も多くなっています。

【性別・年齢別・居住地区別】※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

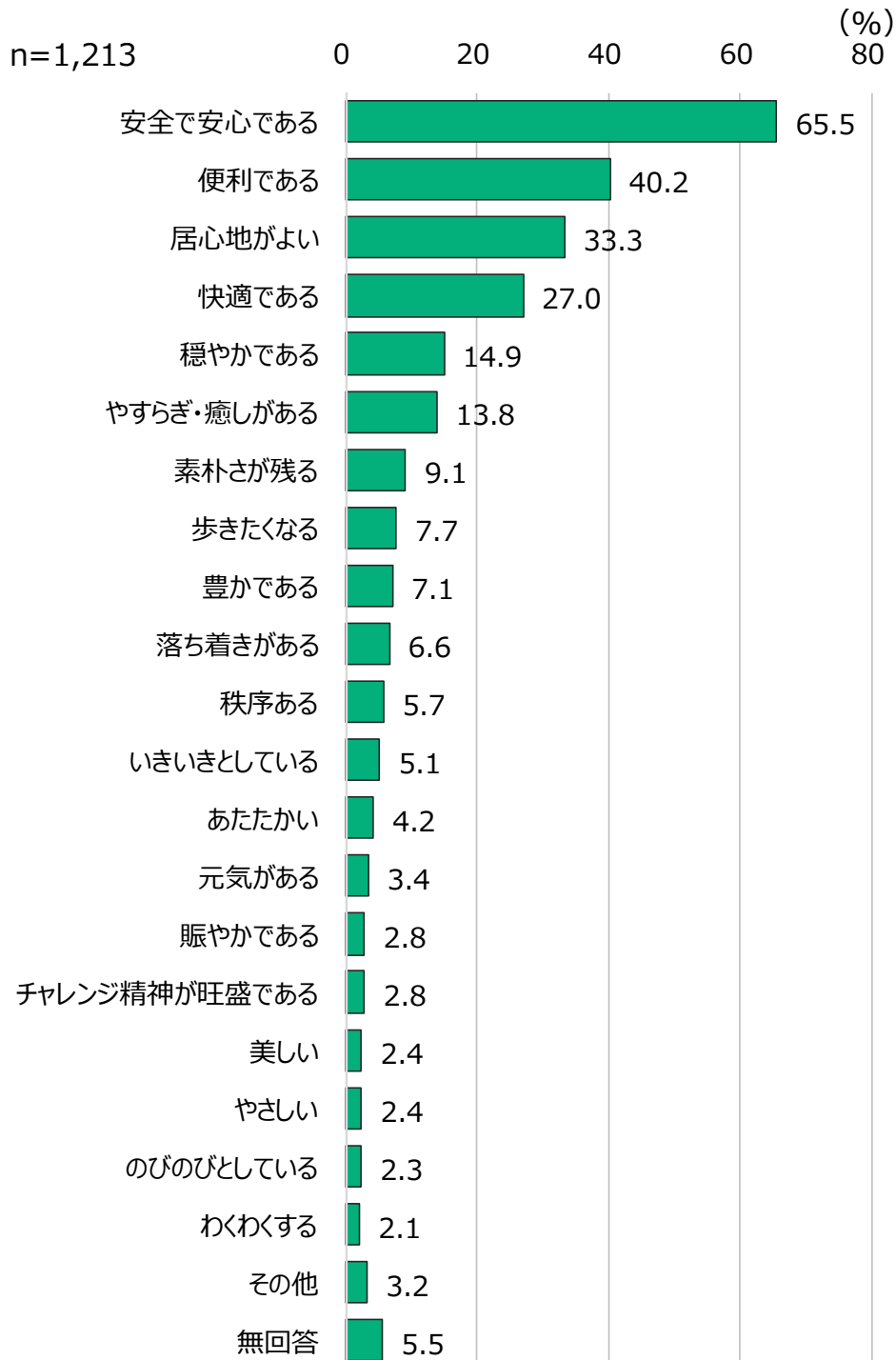
(%)

		便利な交通アクセス 都心に近く	災害の少ない 暮らしやすい土地柄	山ノ神沼、黒浜沼、 元荒川、桜並木などの 豊かな水と緑	緑が多く閑静な住宅地	昔から残る田園風景	梨に代表される特産物	市民まつりなどの まつり・イベント	式三番など古くから 伝わる歴史・文化	教育の充実	地域住民のコミュニ ティの形成	有名な企業・産業	その他	無回答
全体 (n=1,213)		41.6	36.4	27.4	14.4	12.9	5.5	3.0	2.1	1.2	0.7	0.4	5.5	12.5
性別	男性 (n=555)	40.0	34.1	28.1	15.5	17.3	4.0	3.2	2.7	1.1	0.7	0.7	6.1	13.2
	女性 (n=632)	43.4	38.4	27.4	13.9	9.2	6.8	2.8	1.7	1.3	0.6	0.2	5.1	11.1
年齢	16～19歳 (n=45)	44.4	24.4	15.6	15.6	8.9	6.7	15.6	2.2	4.4	0.0	0.0	2.2	13.3
	20～29歳 (n=107)	43.9	23.4	11.2	15.9	10.3	4.7	2.8	0.0	0.9	0.0	0.0	9.3	19.6
	30～39歳 (n=137)	50.4	20.4	21.2	14.6	10.2	4.4	4.4	1.5	2.9	0.7	0.7	5.1	17.5
	40～49歳 (n=183)	41.0	32.2	21.3	19.7	14.2	8.2	5.5	0.0	0.5	0.0	0.5	6.6	12.6
	50～59歳 (n=196)	41.8	35.7	23.0	14.3	14.3	8.2	2.0	2.0	1.5	1.0	0.5	7.1	10.2
	60～69歳 (n=169)	35.5	38.5	34.9	13.6	11.2	4.1	0.6	3.6	0.0	0.0	0.6	4.7	11.2
	70歳以上 (n=366)	41.3	50.3	38.5	12.0	15.0	4.1	1.4	3.6	0.8	1.4	0.3	3.8	8.5
居住地区	蓮田地区 (n=242)	52.1	38.4	19.8	17.8	12.4	4.5	2.1	2.1	1.2	0.8	0.4	4.5	9.9
	蓮田南地区 (n=309)	53.4	30.4	17.2	13.9	13.9	3.9	4.2	1.3	1.0	0.6	0.0	3.9	14.2
	黒浜地区 (n=273)	44.3	34.8	34.1	13.9	11.7	5.9	2.6	0.0	1.5	0.4	0.0	7.7	11.0
	黒浜西地区 (n=190)	33.2	36.3	42.6	17.9	11.1	5.3	4.2	1.6	1.6	0.5	1.1	3.7	10.5
	閩戸地区 (n=76)	14.5	44.7	30.3	7.9	11.8	10.5	2.6	11.8	1.3	1.3	1.3	9.2	14.5
	平野地区 (n=107)	15.0	48.6	29.0	9.3	19.6	9.3	0.9	4.7	0.0	0.9	0.9	7.5	15.0

## 5. これからのまちづくりについて

問15 将来の蓮田市はどのようなまちであればよいと思いますか。あなたのイメージに近いものを選んでください。(あてはまるもの3つまでに○)

「安全で安心である」が65.5%で最も多く、次いで「便利である」(40.2%)、「居心地がよい」(33.3%)、となっています。



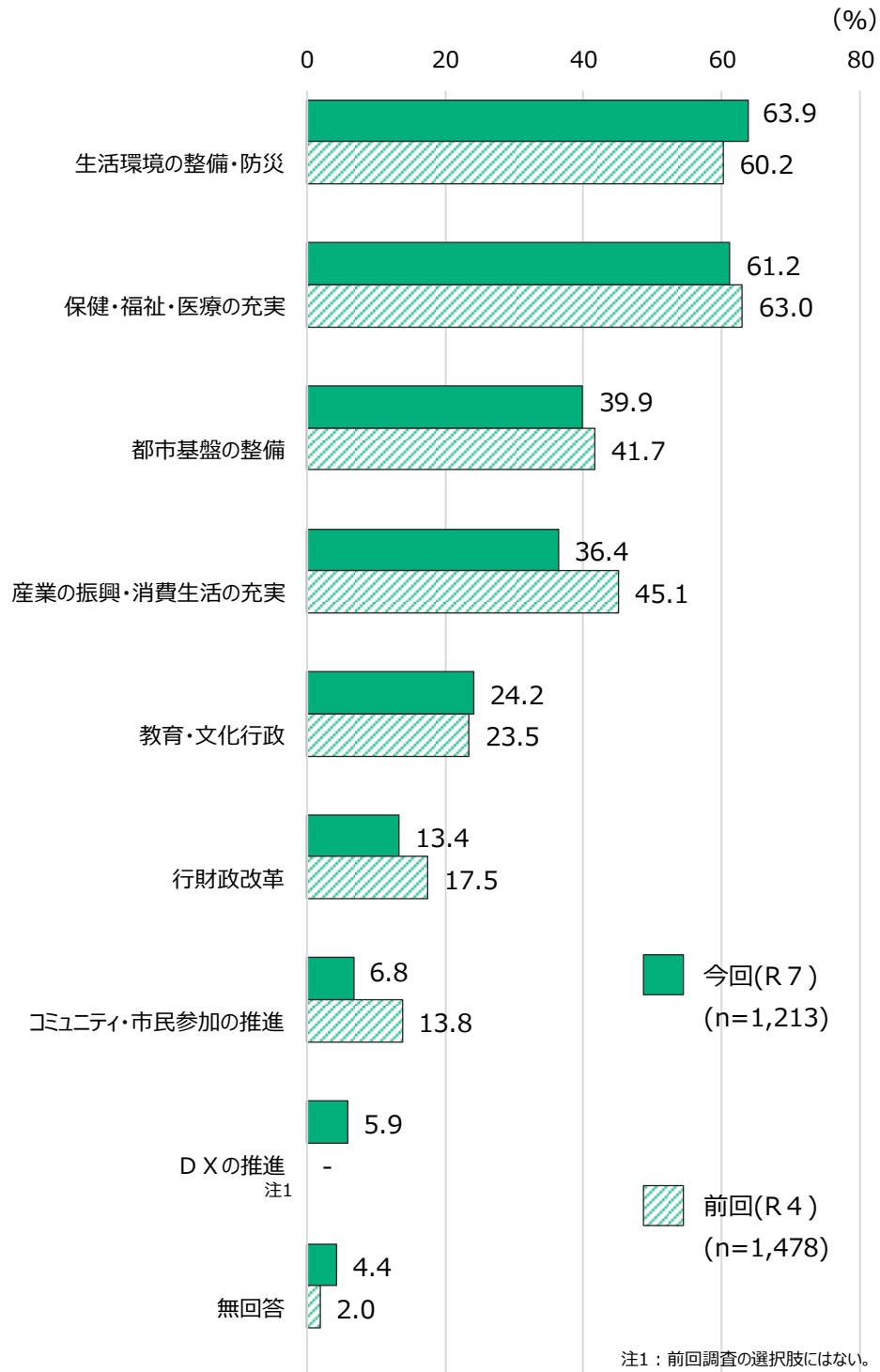
問16 蓮田市が今後、重点的に取り組むべきと思う施策は何ですか。

(あてはまるもの3つまでに○)

「生活環境の整備・防災」が63.9%で最も多く、次いで「保健・福祉・医療の充実」(61.2%)、「都市基盤の整備」(39.9%)となっています。

前回調査と比較すると、「産業の振興・消費生活の充実」が8.7ポイント、「コミュニティ・市民参加の推進」が7.0ポイント減少しています。

【全体・前回比較】



重点的に取り組むべき施策を年齢別で見ると、70歳以上では、「保健・福祉・医療の充実」が75.4%で最も多くなっています。他の年代と比較すると、10歳代と30歳代では「教育・文化行政」が多くなっています。

居住地区別で見ると、閩戸地区の「生活環境の整備・防災」が72.4%で最も多くなっています。他の居住地区と比較すると、黒浜西地区では「産業の振興・消費生活の充実」がやや多くなっています。

【年齢・居住地区別】 ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

(%)

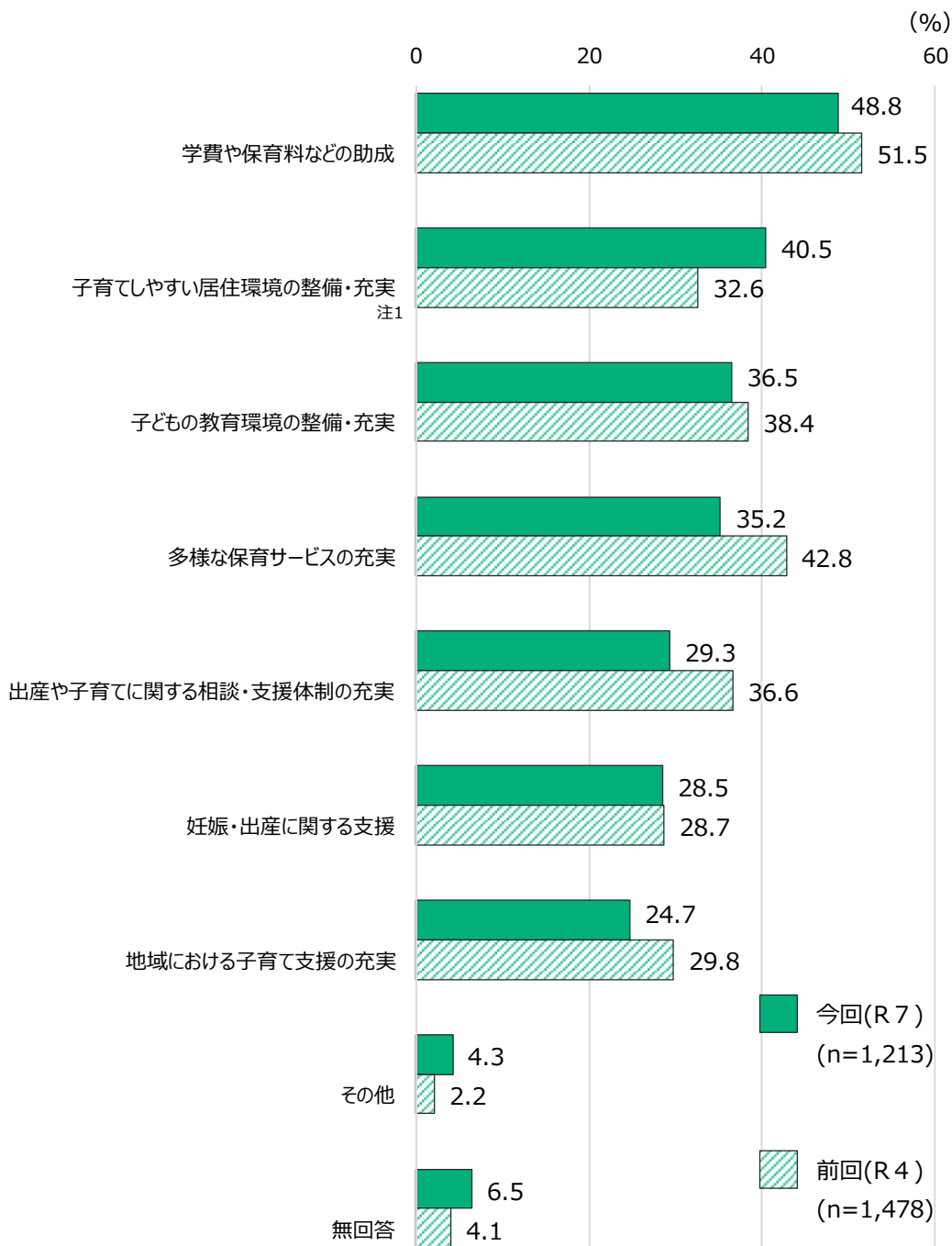
		生活環境の整備・ 防災	保健・福祉・ 医療の充実	都市基盤の整備	産業の振興・ 消費生活の充実	教育・文化行政	行財政改革	市民参加の推進・ コミュニティ	D Xの推進	無回答
全体 (n=1,213)		63.9	61.2	39.9	36.4	24.2	13.4	6.8	5.9	4.4
年齢	16～19歳 (n=45)	60.0	35.6	31.1	24.4	42.2	8.9	8.9	11.1	8.9
	20～29歳 (n=107)	54.2	38.3	43.0	31.8	35.5	15.0	9.3	10.3	6.5
	30～39歳 (n=137)	59.9	45.3	37.2	29.2	54.7	8.8	5.1	10.9	7.3
	40～49歳 (n=183)	63.4	58.5	48.1	35.5	29.5	13.1	6.0	6.6	3.3
	50～59歳 (n=196)	66.3	64.8	40.3	35.2	15.8	14.3	5.1	6.1	3.1
	60～69歳 (n=169)	70.4	65.1	34.9	41.4	18.9	12.4	4.1	3.6	3.6
	70歳以上 (n=366)	65.8	75.4	39.6	41.0	11.7	15.6	9.0	3.0	2.2
居住地区	蓮田地区 (n=242)	65.7	57.0	40.1	33.1	24.4	13.2	9.1	7.4	3.3
	蓮田南地区 (n=309)	57.3	59.9	40.1	38.2	27.8	13.3	7.1	6.8	4.9
	黒浜地区 (n=273)	65.2	63.4	39.6	34.4	26.0	14.3	4.4	5.1	5.5
	黒浜西地区 (n=190)	65.3	68.4	36.8	40.0	21.1	16.8	8.9	7.9	1.6
	閩戸地区 (n=76)	72.4	56.6	51.3	38.2	18.4	9.2	9.2	1.3	2.6
	平野地区 (n=107)	72.0	63.6	39.3	36.4	19.6	10.3	1.9	2.8	2.8

問17 子どもを産み育てる意欲を高め、安心して子育てしやすいまちにするために、あなたが特に効果があると思うものは何ですか。(あてはまるもの3つまでに○)

「学費や保育料などの助成」が48.8%で最も多く、次いで「子育てしやすい居住環境の整備・充実」(40.5%)、「子どもの教育環境の整備・充実」(36.5%)となっています。

前回調査と比較すると、「子育てしやすい居住環境整備・充実」が7.9ポイント増加している一方で、「多様な保育サービスの充実」が7.6ポイント、「出産や子育てに関する相談・支援体制の充実」が7.3ポイント減少しています。

【全体・前回比較】



注1：前回調査の選択肢は、「公園整備等、子育てしやすい居住環境の整備・充実」。

子育てしやすいまちへの効果的な取組を性別で見ると、「女性」では「多様な保育サービスの充実」がやや多くなっています。

年齢別で見ると、50歳代以下の各年代で「学費や保育料などの助成」の割合が5割を超えています。また、他の年代と比較すると、20歳代以下で「妊娠・出産に関する支援」が、30～40歳代で「子どもの教育環境の整備・充実」がやや多くなっています。

居住地区別で見ると、閩戸地区では「妊娠・出産に関する支援」がやや多くなっています。

【性別・年齢・居住地区別】 ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

(%)

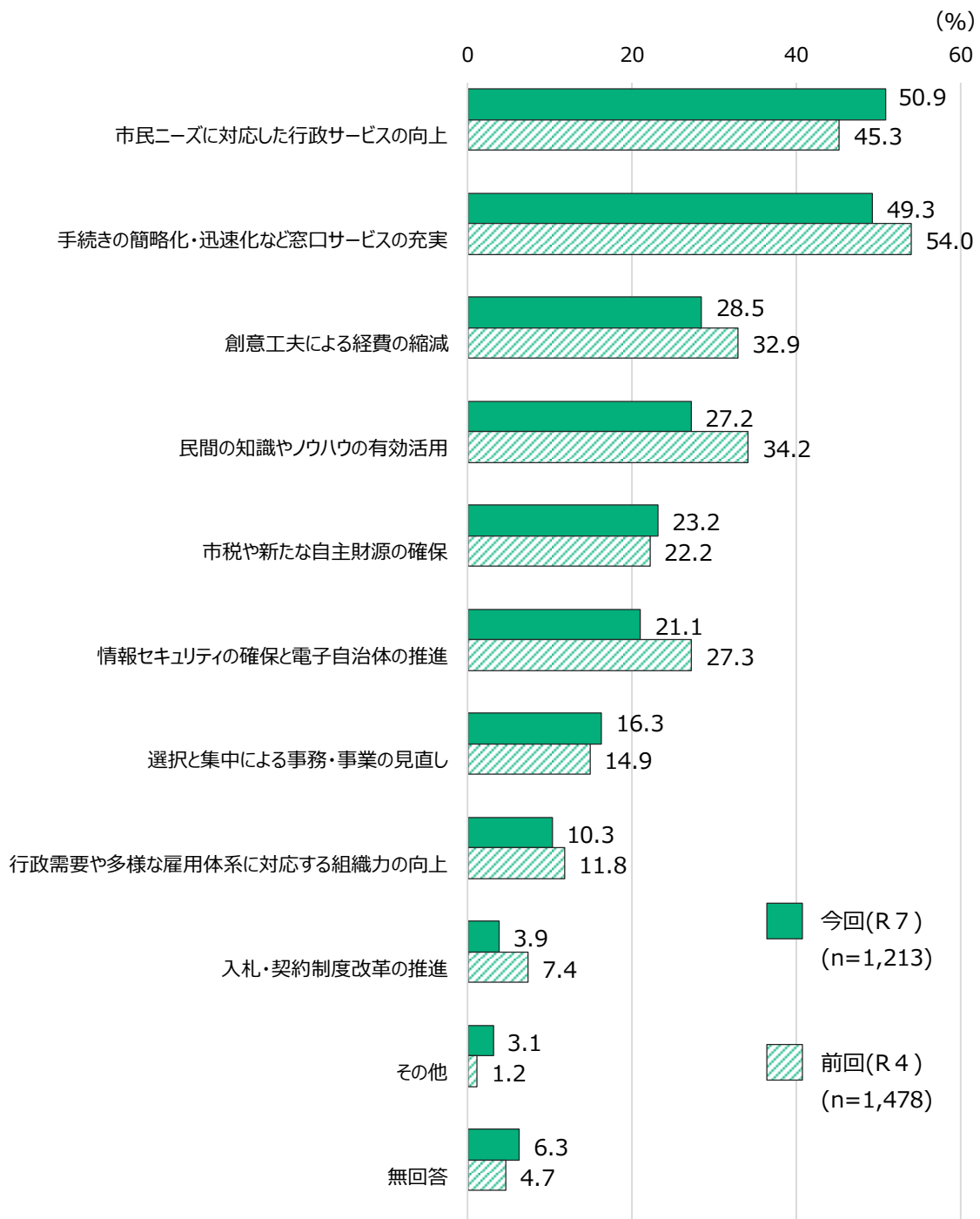
		学費や保育料などの助成	子育てしやすい居住環境の整備・充実	子どもの教育環境の整備・充実	多様な保育サービスの充実	出産や子育てに関する相談・支援体制の充実	妊娠・出産に関する支援	子育て支援の充実	その他	無回答
全体 (n=1,213)		48.8	40.5	36.5	35.2	29.3	28.5	24.7	4.3	6.5
性別	男性 (n=555)	50.3	39.6	37.3	32.4	32.1	29.7	24.7	4.0	5.9
	女性 (n=632)	47.9	41.8	36.4	38.3	26.7	27.5	25.0	4.7	6.2
年齢	16～19歳 (n=45)	62.2	46.7	31.1	17.8	17.8	37.8	26.7	0.0	8.9
	20～29歳 (n=107)	56.1	37.4	33.6	25.2	25.2	40.2	14.0	5.6	9.3
	30～39歳 (n=137)	59.1	40.1	43.1	38.0	20.4	29.2	19.7	4.4	9.5
	40～49歳 (n=183)	51.9	33.9	43.2	37.7	32.2	29.0	20.8	7.7	2.7
	50～59歳 (n=196)	53.1	43.4	32.1	33.7	27.6	26.5	25.0	5.6	4.6
	60～69歳 (n=169)	47.9	39.6	36.1	41.4	29.0	21.9	24.3	4.1	4.7
	70歳以上 (n=366)	38.5	43.4	35.2	36.6	35.5	28.4	31.7	2.2	6.6
居住地区	蓮田地区 (n=242)	46.7	41.7	42.6	34.7	28.9	23.6	23.1	3.7	6.2
	蓮田南地区 (n=309)	48.2	37.2	32.4	36.9	31.1	31.7	25.6	3.9	7.8
	黒浜地区 (n=273)	49.5	41.0	35.2	35.9	31.9	27.1	21.2	5.5	6.6
	黒浜西地区 (n=190)	51.6	40.0	37.9	37.4	25.8	30.0	33.2	5.3	3.7
	閩戸地区 (n=76)	52.6	43.4	38.2	36.8	30.3	38.2	18.4	2.6	3.9
	平野地区 (n=107)	49.5	47.7	36.4	28.0	26.2	28.0	25.2	3.7	3.7

問18 高度情報化の進展に伴い、計画的・効果的な行財政運営を図るために重要だと思うものは何ですか。(あてはまるもの3つまでに○)

「市民ニーズに対応した行政サービスの向上」が50.9%で最も多く、次いで「手続きの簡略化・迅速化など窓口サービスの充実」(49.3%)、「創意工夫による経費の縮減」(28.5%)となっています。

前回調査と比較すると、「民間の知識やノウハウの有効活用」が7.0ポイント、「情報セキュリティの確保と電子自治体の推進」が6.2ポイント減少しています。

【全体・前回比較】



計画的・効率的な行財政運営に重要な取組を性別でみると、大きな差は認められません。年齢別でみると、50歳代以下は「手続きの簡略化・迅速化など窓口サービスの充実」が最も多く、60歳代以上では「市民ニーズに対応した行政サービスの向上」が最も多くなっています。他の年代と比較すると、10歳代で「情報セキュリティの確保と電子自治体の推進」がやや多くなっています。

居住地区別でみると、蓮田地区と蓮田南地区では「手続きの簡略化・迅速化など窓口サービスの充実」が、その他の地区では「市民ニーズに対応した行政サービスの向上」が最も多くなっています。

【性別・年齢・居住地区別】 ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

(%)

		市民ニーズに対応した行政サービスの向上	窓口サービスの充実 ・ 迅速化など	手続きの簡略化・ 迅速化など	創意工夫による 経費の縮減	民間の知識や ノウハウの有効活用	新たな自主財源の確保 ・ 市税や	情報セキュリティの確保と 電子自治体の推進	選択と集中による 事務・事業の見直し	行政需要や多様な 雇用体系に対応する 組織力の向上	入札・契約制度改革の 推進	その他	無回答
全体 (n=1,213)		50.9	49.3	28.5	27.2	23.2	21.1	16.3	10.3	3.9	3.1	6.3	
性別	男性 (n=555)	49.9	46.7	30.3	28.3	25.9	22.0	19.8	10.8	5.4	4.3	5.6	
	女性 (n=632)	52.5	52.1	27.4	26.4	20.6	20.6	13.0	10.3	2.7	2.1	6.2	
年齢	16～19歳 (n=45)	35.6	42.2	24.4	15.6	22.2	35.6	22.2	13.3	0.0	4.4	13.3	
	20～29歳 (n=107)	48.6	56.1	21.5	16.8	15.9	22.4	15.0	3.7	1.9	4.7	9.3	
	30～39歳 (n=137)	50.4	56.9	27.7	19.0	14.6	23.4	16.8	8.8	3.6	3.6	8.8	
	40～49歳 (n=183)	49.7	54.1	24.0	29.5	26.8	24.0	18.0	10.4	1.6	2.7	3.8	
	50～59歳 (n=196)	44.9	50.0	25.0	26.0	23.5	24.0	15.3	12.2	4.1	4.1	4.6	
	60～69歳 (n=169)	58.6	45.6	28.4	29.6	26.0	19.5	14.2	8.9	4.1	3.6	4.1	
	70歳以上 (n=366)	54.4	44.8	36.3	33.9	25.7	16.4	16.9	12.3	6.0	1.9	5.5	
居住地区	蓮田地区 (n=242)	44.2	53.3	27.7	30.2	24.8	22.7	18.2	5.8	4.5	4.1	5.8	
	蓮田南地区 (n=309)	49.5	50.8	27.8	27.8	17.8	23.0	17.8	10.7	5.2	2.6	6.5	
	黒浜地区 (n=273)	52.4	47.6	28.2	27.1	26.7	21.2	18.3	10.3	2.9	2.2	6.2	
	黒浜西地区 (n=190)	57.4	48.4	31.6	26.8	25.3	22.6	13.7	13.7	4.2	4.2	3.7	
	閩戸地区 (n=76)	61.8	51.3	36.8	25.0	25.0	7.9	9.2	14.5	1.3	0.0	3.9	
	平野地区 (n=107)	51.4	43.9	26.2	25.2	21.5	19.6	14.0	11.2	1.9	5.6	7.5	

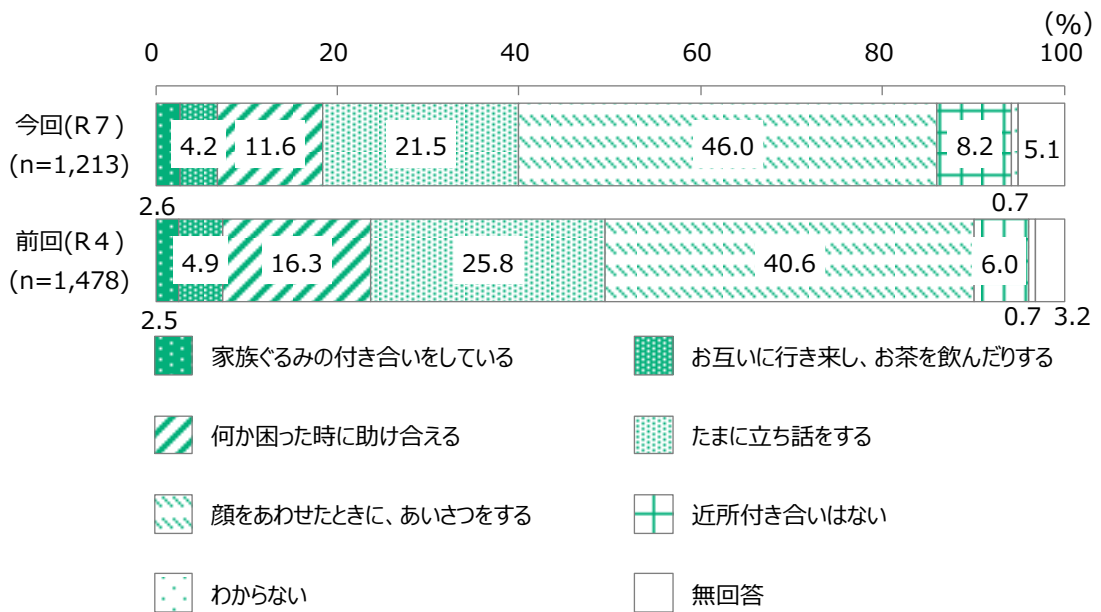
## 6. 市政への市民参加や関わり方について

問19 あなたは日頃、隣近所と、どの程度の付き合いをしていますか。(1つに○)

「顔をあわせたときに、あいさつをする」が46.0%で最も多く、次いで「たまに立ち話をする」(21.5%)、「何か困った時に助け合える」(11.6%)となっています。

前回調査と比較すると、「顔をあわせたときに、あいさつをする」が5.4ポイント増加しています。

【全体・前回比較】



近所付き合いの程度について年齢別でみると、40歳代以下では「近所付き合いはない」が10%以上と多くなっています。

居住地区別でみると、閩戸地区は、他の地区と比較して、「家族ぐるみの付き合いをしている」がやや多く、「何か困った時に助け合える」が20%以上と多くなっています。

【年齢・居住地区別】 ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

(%)

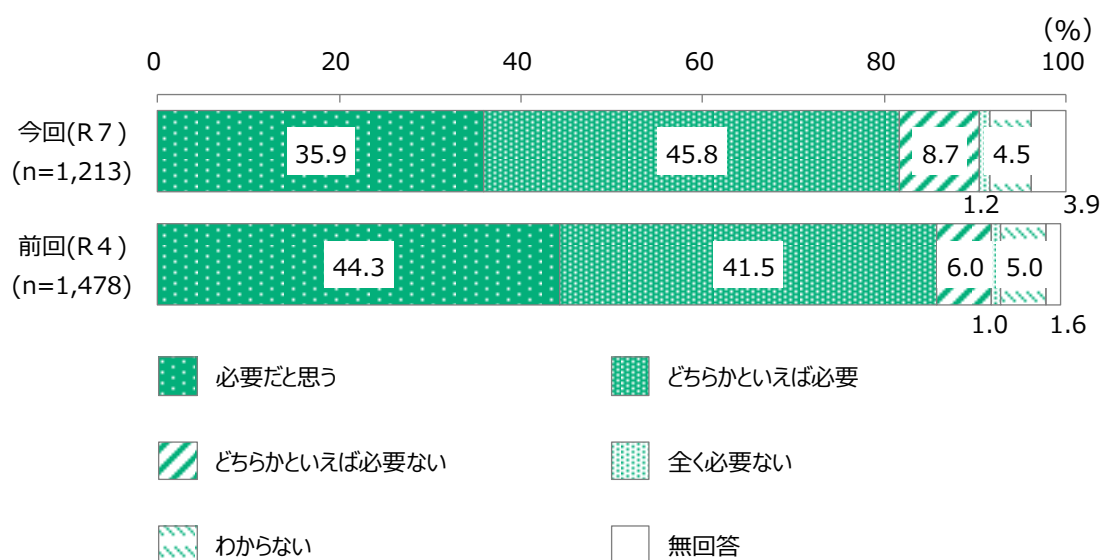
		家族ぐるみの付き合いをしている	お互いに行き来し、お茶を飲んだりする	何か困った時に助け合える	たまに立ち話をする	顔をあわせたときに、あいさつをする	近所付き合いはない	わからない	無回答
全体 (n=1,213)		2.6	4.2	11.6	21.5	46.0	8.2	0.7	5.1
年齢	16～19歳 (n=45)	0.0	4.4	6.7	4.4	55.6	13.3	6.7	8.9
	20～29歳 (n=107)	2.8	1.9	4.7	6.5	57.0	16.8	0.0	10.3
	30～39歳 (n=137)	2.9	0.0	3.6	20.4	53.3	11.7	0.7	7.3
	40～49歳 (n=183)	3.8	1.6	8.7	14.8	51.9	15.8	0.5	2.7
	50～59歳 (n=196)	2.0	1.5	10.2	25.0	52.0	5.1	1.0	3.1
	60～69歳 (n=169)	1.8	3.0	11.2	28.4	48.5	4.7	0.0	2.4
	70歳以上 (n=366)	3.0	9.8	19.7	27.0	32.5	3.0	0.5	4.4
居住地区	蓮田地区 (n=242)	2.5	5.0	9.1	20.2	49.6	7.4	1.7	4.5
	蓮田南地区 (n=309)	1.6	3.2	7.8	18.8	54.7	9.1	0.6	4.2
	黒浜地区 (n=273)	4.0	4.0	12.5	20.5	43.6	8.8	0.4	6.2
	黒浜西地区 (n=190)	1.6	3.2	15.8	23.2	43.2	7.9	1.1	4.2
	閩戸地区 (n=76)	5.3	2.6	22.4	21.1	39.5	5.3	0.0	3.9
	平野地区 (n=107)	2.8	9.3	12.1	31.8	32.7	8.4	0.0	2.8

問20 あなたは近所付き合いや地域のまちづくり活動について、どのようにお考えですか。(1つに○)

「どちらかといえば必要」が45.8%で最も多く、次いで「必要だと思う」(35.9%)、「どちらかといえば必要ない」(8.7%)となっています。

前回調査と比較すると、「必要だと思う」が8.4ポイント減少しています。

【全体・前回比較】



近所付き合いや地域のまちづくり活動の必要さを居住地区別で見ると、他の地区と比較して、閩戸地区は、「必要だと思う」と回答した割合が一番多くなっています。

問 19 近所付き合いの程度の回答別で見ると、近所付き合いの程度が高いほど、近所づきあいや地域のまちづくりの活動が「必要だと思う」と回答した割合が高くなっています。

【居住地区・問 19 近所との付き合いの程度別】

※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

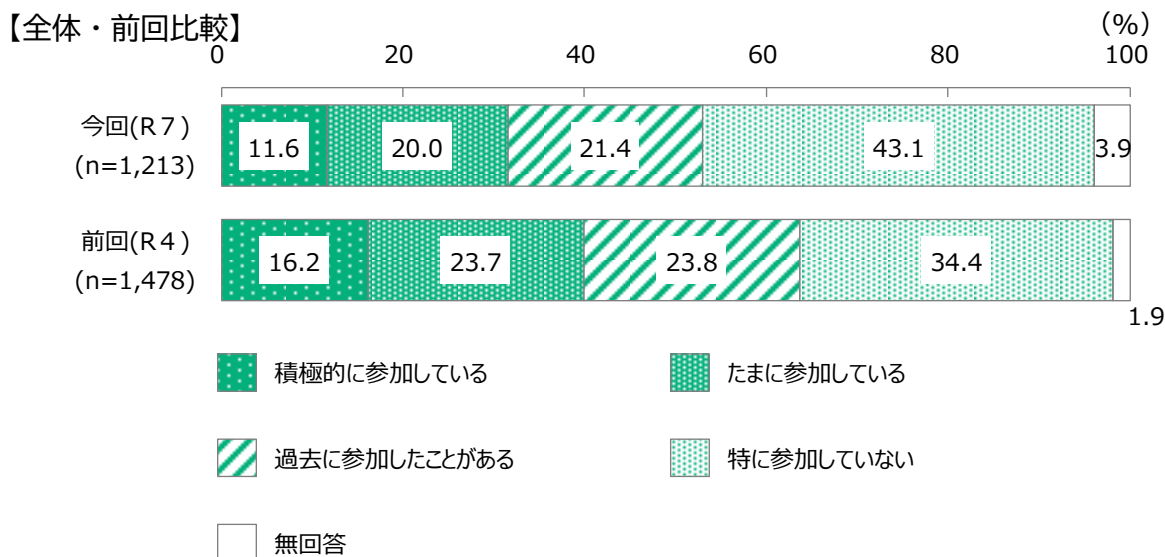
(%)

		必要だと思う	どちらかといえば必要	どちらかといえば不要	全く必要ない	わからない	無回答
全体 (n=1,213)		35.9	45.8	8.7	1.2	4.5	3.9
居住地区	蓮田地区 (n=242)	34.7	46.7	9.9	0.8	4.1	3.7
	蓮田南地区 (n=309)	29.8	48.5	12.6	1.6	4.2	3.2
	黒浜地区 (n=273)	35.5	45.8	7.7	2.2	4.8	4.0
	黒浜西地区 (n=190)	43.2	44.7	5.8	0.5	3.7	2.1
	閩戸地区 (n=76)	44.7	40.8	6.6	0.0	5.3	2.6
	平野地区 (n=107)	43.0	43.9	5.6	0.0	4.7	2.8
問19 付き合いの程度	家族ぐるみの付き合いをしている (n=32)	96.9	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	お互いに行き来し、お茶を飲んだりする (n=51)	78.4	15.7	3.9	2.0	0.0	0.0
	何か困った時に助け合える (n=141)	70.9	24.8	3.5	0.0	0.0	0.7
	たまに立ち話をする (n=261)	42.1	53.6	2.7	0.4	1.1	0.0
	顔をあわせたときに、あいさつをする (n=558)	23.1	58.4	11.5	0.9	5.7	0.4
	近所付き合いはない (n=99)	11.1	38.4	27.3	8.1	15.2	0.0
	わからない (n=9)	44.4	22.2	0.0	0.0	33.3	0.0

問 21 あなたは、地域活動(自治会、子ども会、老人会、市民ボランティア、NPO (非営利組織) などの活動)に参加していますか。(1つに〇)

「特に参加していない」が 43.1%で最も多く、次いで「過去に参加したことがある」(21.4%)、「たまに参加している」(20.0%)となっています。

前回調査と比較すると、「特に参加していない」が 8.7ポイント増加しています。



地域活動への参加の程度を年齢別にみると、年代が上がるにつれて、「積極的に参加している」と回答した割合が高くなり、10歳代の4.4%と70歳以上の20.8%で大きな差がみられます。

【年齢別】 ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

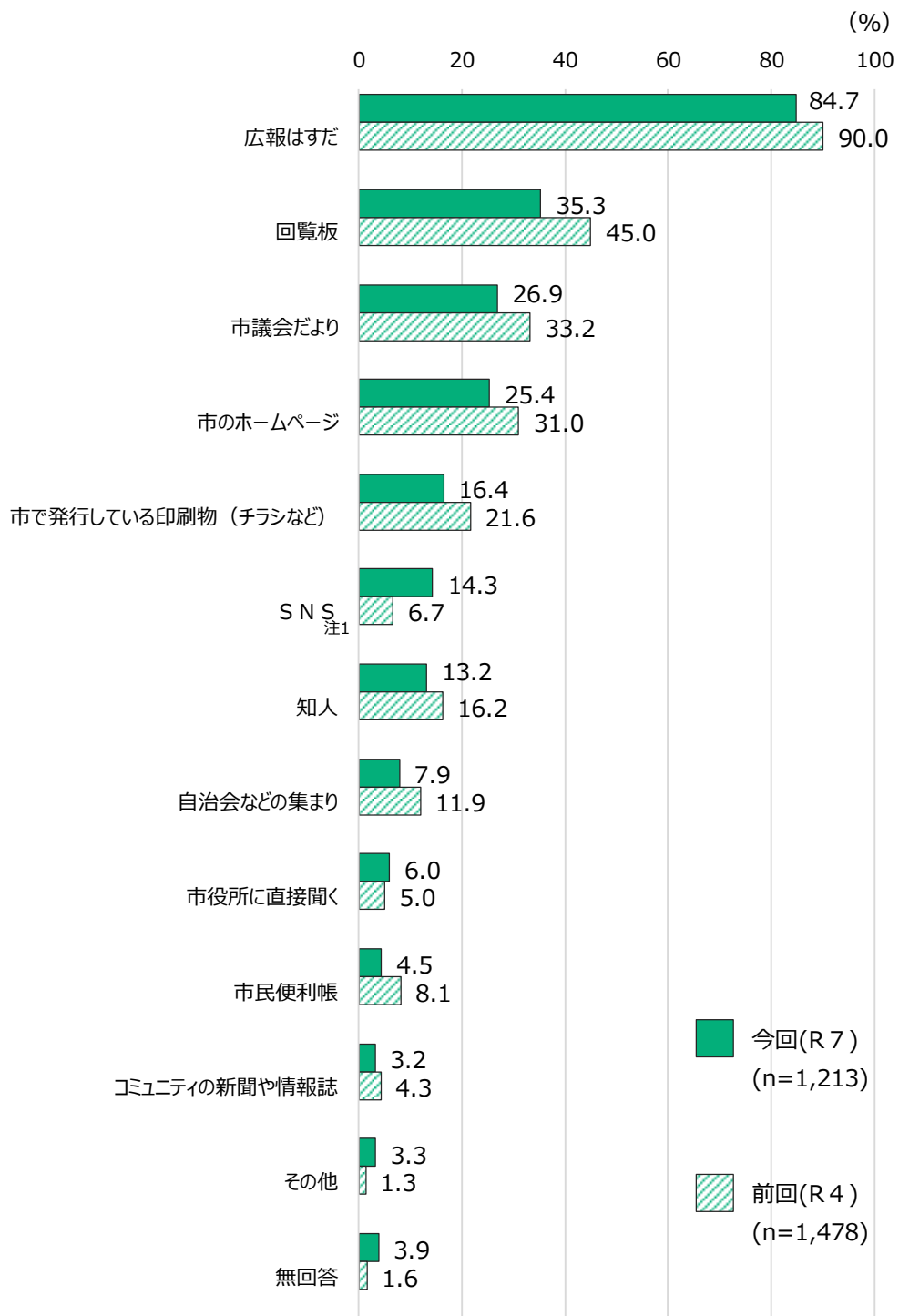
		積極的に参加している	たまに参加している	過去に参加したことがある	特に参加していない	無回答
全体 (n=1,213)		11.6	20.0	21.4	43.1	3.9
年齢	16～19歳 (n=45)	4.4	8.9	26.7	51.1	8.9
	20～29歳 (n=107)	2.8	8.4	18.7	61.7	8.4
	30～39歳 (n=137)	3.6	11.7	11.7	66.4	6.6
	40～49歳 (n=183)	6.6	18.6	15.3	56.8	2.7
	50～59歳 (n=196)	10.2	22.4	25.5	38.8	3.1
	60～69歳 (n=169)	13.6	29.0	23.1	32.0	2.4
	70歳以上 (n=366)	20.8	23.0	25.4	29.8	1.1

問22 あなたは市政に関する情報をどのようなものから得ていますか。  
 (あてはまるものすべてに○)

「広報はすだ」が 84.7%で最も多く、次いで「回覧板」(35.3%)、「市議会だより」(26.9%)となっています。

前回調査と比較すると、「SNS」が 7.6 ポイント増加している一方で、「回覧板」が 9.7 ポイント、「市議会だより」が 6.3 ポイント減少しています。

【全体・前回比較】



注1：前回調査の選択肢は、「ツイッター等のSNS」。

市政情報の入手の手段について年齢別でみると、年代が上がるにつれて、「広報はすだ」、「回覧板」、「市議会だより」の割合が高くなる傾向にあります。一方で、10歳代では「知人」、20歳代では「SNS」の割合が高くなっています。

【年齢別】 ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

(%)

	広報はすだ	回覧板	市議会だより	市のホームページ	市で発行している印刷物 (チラシなど)	SNS	知人	自治会などの集まり	市役所に直接聞く	市民便利帳	コミュニティの新聞や情報誌	その他	無回答	
<b>全体 (n=1,213)</b>	<b>84.7</b>	35.3	26.9	25.4	16.4	14.3	13.2	7.9	6.0	4.5	3.2	3.3	3.9	
年齢	<b>16～19歳 (n=45)</b>	<b>44.4</b>	15.6	2.2	17.8	4.4	22.2	<b>28.9</b>	2.2	0.0	2.2	6.7	6.7	8.9
	<b>20～29歳 (n=107)</b>	<b>72.0</b>	15.9	8.4	13.1	4.7	27.1	13.1	1.9	2.8	1.9	0.9	7.5	8.4
	<b>30～39歳 (n=137)</b>	<b>75.2</b>	17.5	12.4	<b>24.1</b>	11.7	14.6	13.1	2.2	5.8	0.0	1.5	5.8	8.0
	<b>40～49歳 (n=183)</b>	<b>83.6</b>	21.9	18.6	<b>30.6</b>	11.5	21.9	12.0	2.7	4.9	1.1	2.2	2.7	2.2
	<b>50～59歳 (n=196)</b>	<b>87.2</b>	36.7	24.0	29.6	15.8	17.9	11.7	5.1	6.6	5.1	2.0	3.1	3.1
	<b>60～69歳 (n=169)</b>	<b>90.5</b>	47.3	37.9	30.2	19.5	13.6	7.1	14.2	6.5	5.3	2.4	3.0	2.4
	<b>70歳以上 (n=366)</b>	<b>95.1</b>	51.1	41.8	23.8	24.9	4.6	15.8	13.9	7.9	8.2	5.7	1.4	0.8

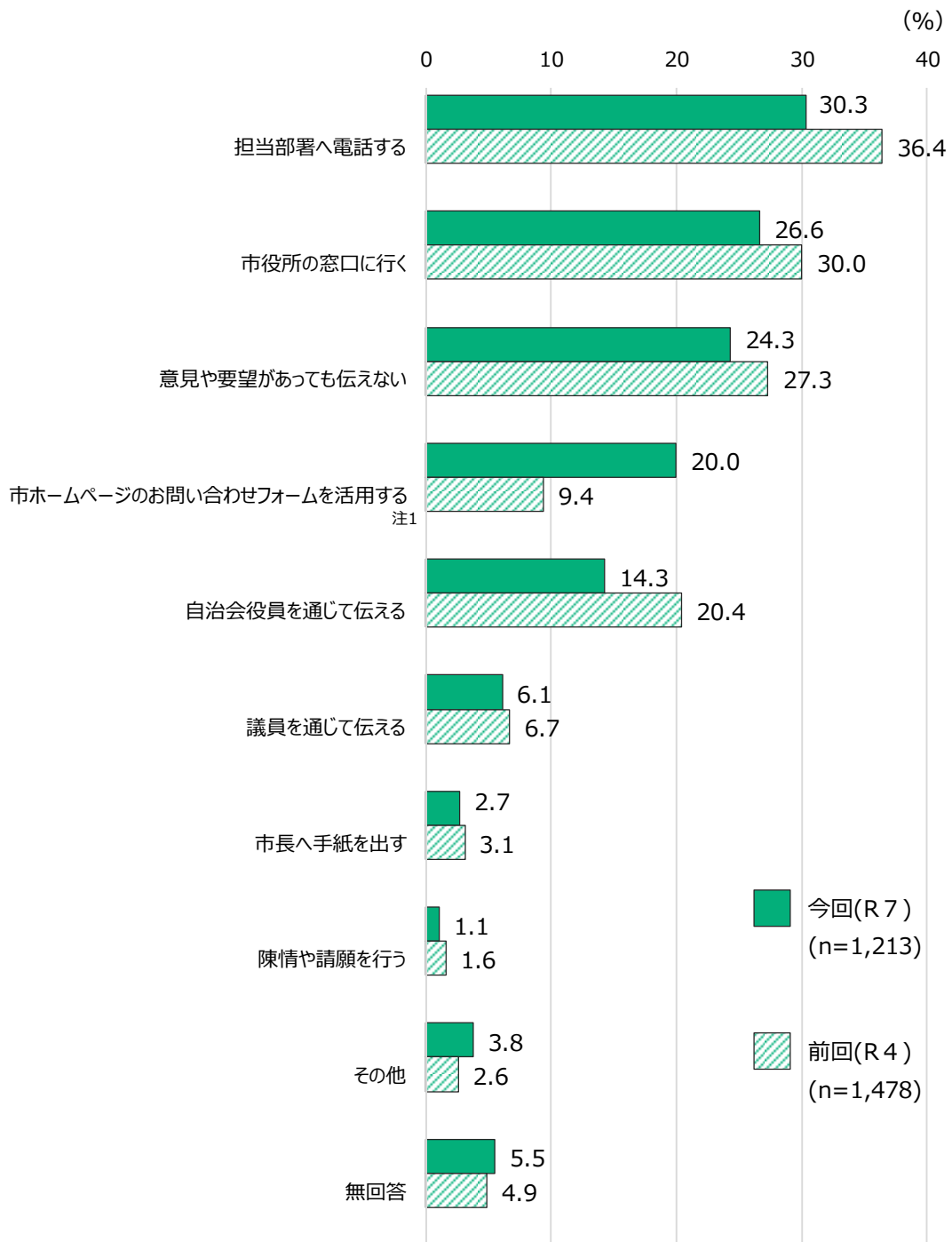
問23 あなたは、市へ意見や要望を伝える場合、どのような方法で伝えますか。

(あてはまるものすべてに○)

「担当部署へ電話する」が30.3%で最も多く、次いで「市役所の窓口に行く(26.6%)」、「意見や要望があっても伝えない」(24.3%)となっています。

前回調査と比較すると、「市ホームページのお問い合わせフォームを活用する」(前回調査の選択肢は、「電子メールを出す」)が10.6ポイント増加している一方で、「担当部署へ電話する」及び「自治会役員を通じて伝える」が6.1ポイント減少しています。

【全体・前回比較】



注1：前回調査の選択肢は、「電子メールを出す」。

市への意見・要望の伝達方法を年齢別でみると、60歳代以上は「担当部署へ電話する」、20歳代以下と40歳代と50歳代は「意見や要望があっても伝えない」、30歳代では「市ホームページのお問い合わせフォームを活用する」が最も多くなっており、年代によってばらつきがあります。

【年齢別】 ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

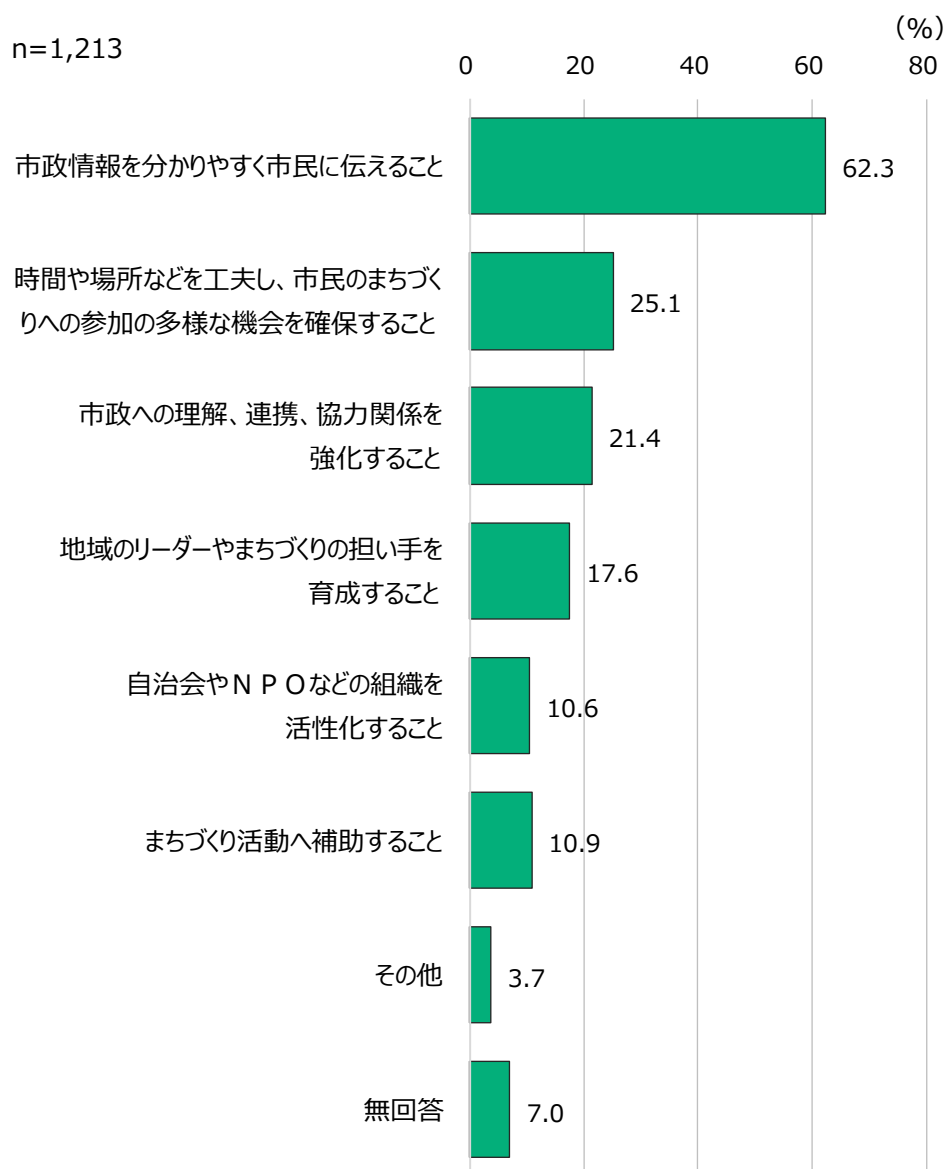
(%)

		担当部署へ電話する	市役所の窓口に行く	意見や要望があっても伝えない	市ホームページのお問い合わせフォームを活用する	自治会役員を通じて伝える	議員を通じて伝える	市長へ手紙を出す	陳情や請願を行う	その他	無回答
<b>全体 (n=1,213)</b>		<b>30.3</b>	26.6	24.3	20.0	14.3	6.1	2.7	1.1	3.8	5.5
<b>年齢</b>	<b>16～19歳 (n=45)</b>	17.8	6.7	<b>46.7</b>	17.8	4.4	2.2	0.0	6.7	6.7	11.1
	<b>20～29歳 (n=107)</b>	12.1	15.9	<b>35.5</b>	26.2	2.8	2.8	2.8	1.9	5.6	11.2
	<b>30～39歳 (n=137)</b>	18.2	19.0	31.4	<b>34.3</b>	0.7	2.2	2.2	0.0	5.1	8.0
	<b>40～49歳 (n=183)</b>	23.5	29.0	<b>31.7</b>	28.4	4.9	3.8	2.7	1.1	3.8	3.3
	<b>50～59歳 (n=196)</b>	24.5	20.9	<b>27.6</b>	26.5	9.2	5.1	2.0	0.5	3.6	4.6
	<b>60～69歳 (n=169)</b>	<b>37.3</b>	21.9	26.0	13.0	18.3	8.3	2.4	0.0	3.6	2.4
	<b>70歳以上 (n=366)</b>	<b>45.4</b>	39.9	9.6	9.0	29.8	9.8	3.8	1.4	2.7	3.8

問24 市民と行政による協働のまちづくりを進めるにはどのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるもの2つまでに○）

「市政情報を分かりやすく市民に伝えること」が62.3%で最も多く、次いで「時間や場所などを工夫し、市民のまちづくりへの参加の多様な機会を確保すること」(25.1%)、「市政への理解、連携、協力関係を強化すること」(21.4%)となっています。

【全体】



協働のまちづくりのために必要なことを年齢別でみると、すべての年代で「市政情報を分かりやすく市民に伝えること」が最も多く、2位、3位も順番は異なっても、概ねほとんどの年代で同じ傾向がみられます。一方で、「まちづくり活動へ補助すること」と回答した割合は、年代が下がるにつれて多くなり、10歳代では20.0%となっており、「地域のリーダーやまちづくりの担い手を育成すること」と回答した割合は、年代が上がるにつれて多くなり、70歳以上では26.0%となっています。

【年齢別】 ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

(%)

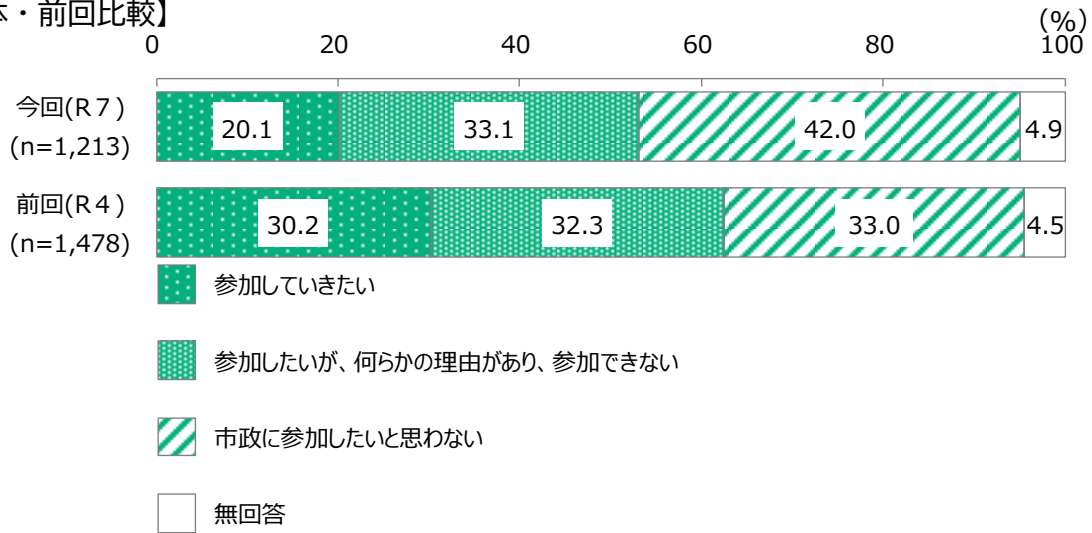
		市政情報を分かりやすく市民に伝えること	時間や場所などを工夫し、市民のまちづくりへの参加の多様な機会を確保すること	市政への理解、連携、協力関係を強化すること	地域のリーダーやまちづくりの担い手を育成すること	まちづくり活動へ補助すること	自治会やNPOなどの組織を活性化すること	その他	無回答
全体 (n=1,213)		62.3	25.1	21.4	17.6	10.9	10.6	3.7	7.0
年齢	16～19歳 (n=45)	51.1	15.6	26.7	6.7	20.0	13.3	8.9	13.3
	20～29歳 (n=107)	53.3	29.0	29.0	7.5	16.8	2.8	0.9	10.3
	30～39歳 (n=137)	66.4	24.1	21.2	11.7	13.1	2.9	4.4	8.8
	40～49歳 (n=183)	63.4	31.1	18.0	14.8	10.4	8.7	6.6	4.9
	50～59歳 (n=196)	67.9	25.5	20.9	17.3	9.7	8.7	1.5	5.1
	60～69歳 (n=169)	56.8	29.0	22.5	17.8	7.7	10.7	6.5	4.7
	70歳以上 (n=366)	64.5	21.3	20.8	26.0	9.8	17.5	2.2	6.3

問25 あなたは、今後、市政に参加（市の計画づくりや市の事業などへの参加）していき  
たいと思いますか。（1つに○）

「市政に参加したいと思わない」が42.0%で最も多く、次いで「参加したいが、何らかの理由があり、参加できない」（33.1%）、「参加していきたい」（20.1%）となっています。

前回調査と比較すると、「市政に参加したいと思わない」が9.0ポイント増加し、「参加していきたい」が10.1ポイント減少しています。

【全体・前回比較】



市政への参加意向を年齢別で見ると、「市政に参加したいと思わない」では60歳代が50.3%で最も多く、70歳以上では「参加したいが何らかの理由があり、参加できない」が最も多くなっています。

【年齢別】 ※網掛けは各属性での最上位を表す

		参加していき たい				何らかの理由があり、 参加できない				参加したいが、 市政に参加したいと 思わない				無回答			
<b>全体 (n=1,213)</b>		20.1				33.1				42.0				4.9			
<b>年齢</b>	<b>16~19歳 (n=45)</b>	20.0				31.1				40.0				8.9			
	<b>20~29歳 (n=107)</b>	18.7				23.4				49.5				8.4			
	<b>30~39歳 (n=137)</b>	21.2				26.3				44.5				8.0			
	<b>40~49歳 (n=183)</b>	20.8				35.0				42.1				2.2			
	<b>50~59歳 (n=196)</b>	13.3				37.2				45.4				4.1			
	<b>60~69歳 (n=169)</b>	21.9				25.4				50.3				2.4			
	<b>70歳以上 (n=366)</b>	23.2				39.9				33.3				3.6			

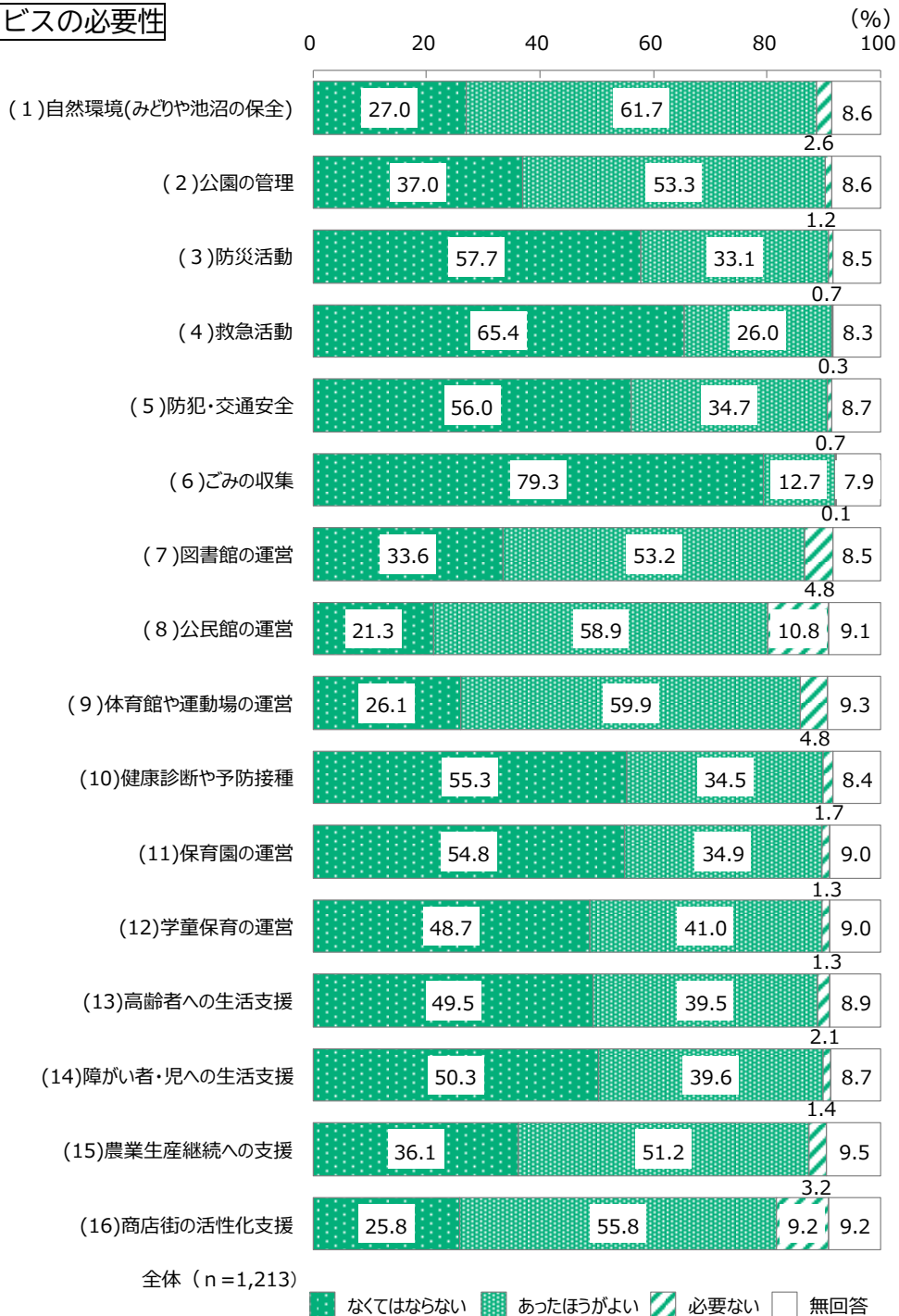
問26 (1)～(16)の市民生活に関わるサービスと費用負担のあり方についての考えをお聞かせください。(A～Cの3つの問に対して、あなたの考えにあてはまるものをそれぞれ1つずつ選んで○) A このサービスは必要だと思いますか B このサービスは誰が行うのが望ましいと思いますか C このサービスに要する費用を誰が負担するべきだと思いますか。

『なくてはならない』サービスは、「ごみの収集」が79.3%で最も多く、次いで「救急活動」(65.4%)、「防災活動」(57.7%)となっています。

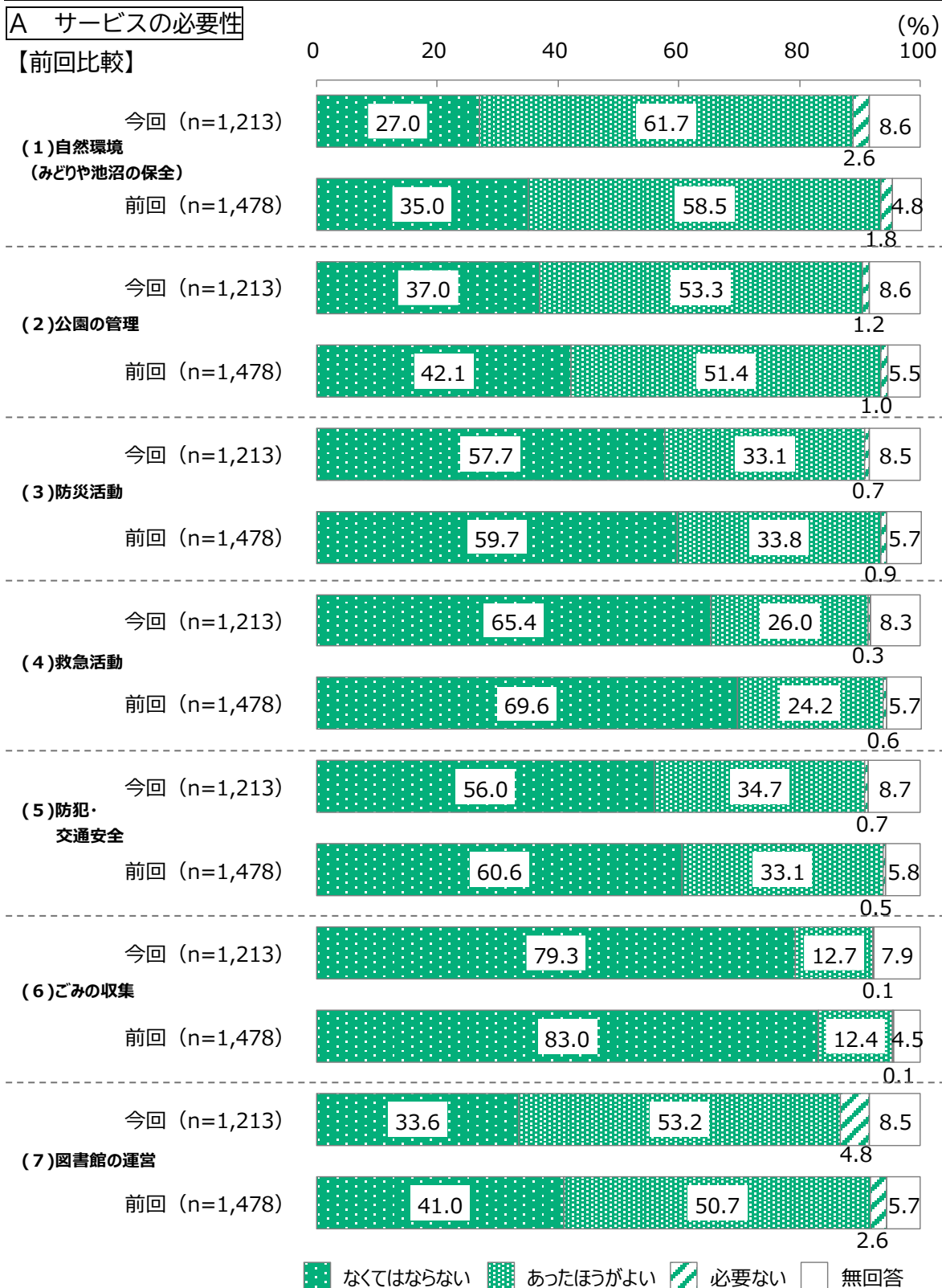
『必要ない』サービスは、「公民館の運営」が10.8%で最も多く、次いで「商店街の活性化支援」(9.2%)、「図書館の運営」、「体育館や運動場の運営」(4.8%)となっています。

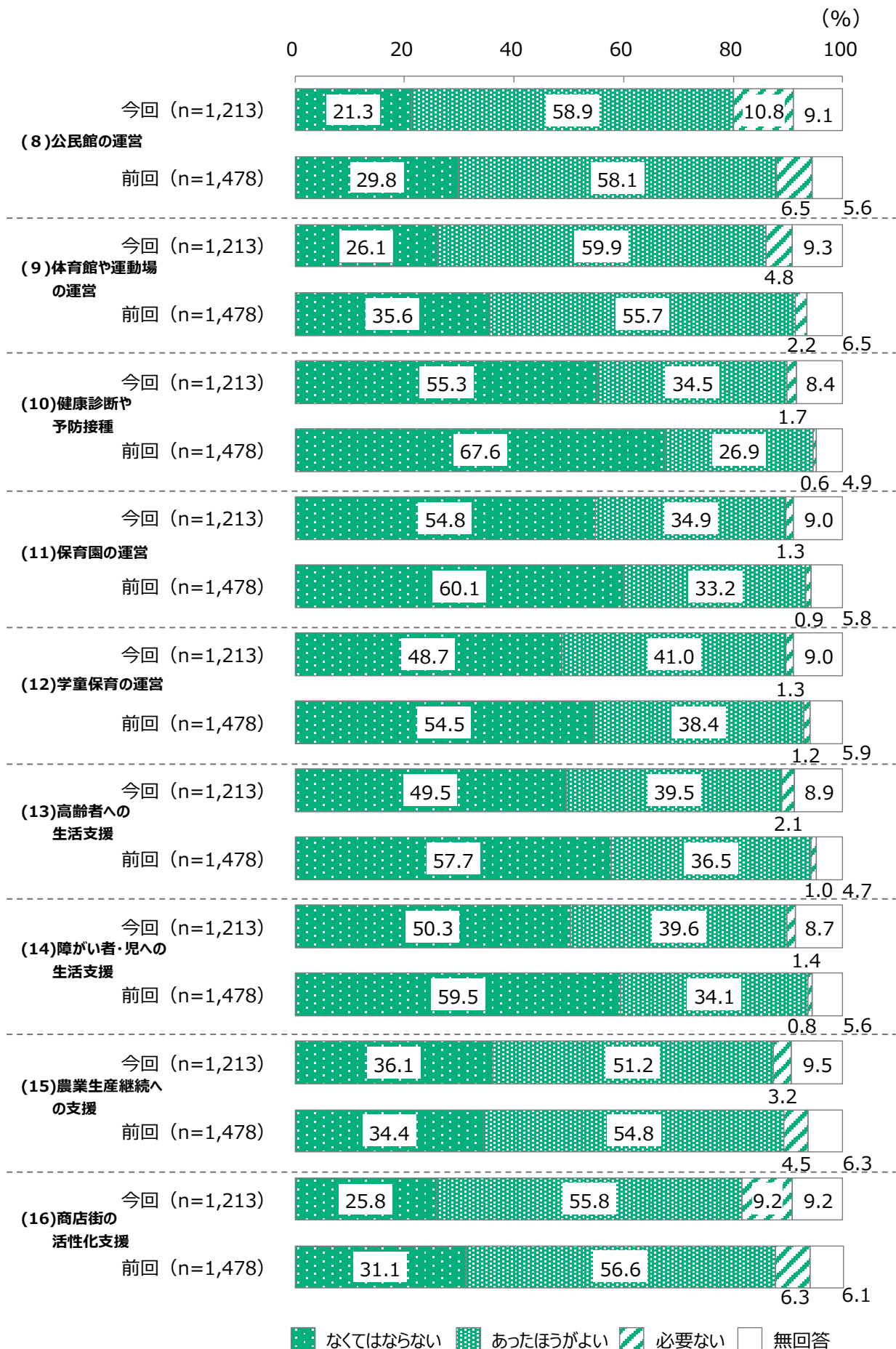
A サービスの必要性

【全体】



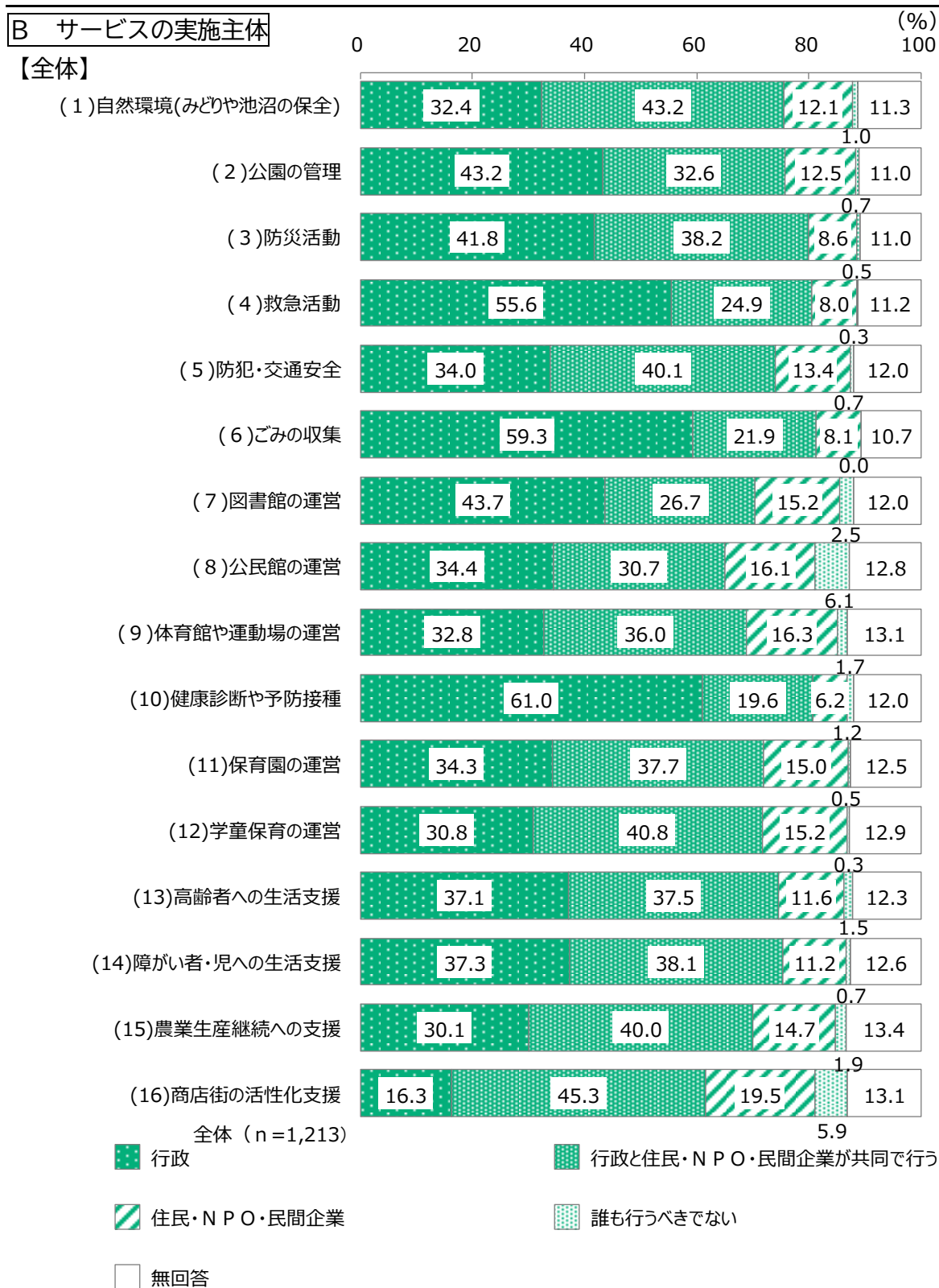
市民生活に関わるサービスの必要性を前回調査と比較すると、『なくてはならない』サービスは、差が多い順に、「健康診断や予防接種」が12.3ポイント、「体育館や運動場の運営」が9.5ポイント、「障がい者・児への生活支援」が9.2ポイント、「公民館の運営」が8.5ポイント、「高齢者への生活支援」が8.2ポイント減少しています。





市民生活に関わるサービスの実施主体について、『行政』が実施主体として望ましいと思うサービスは、「健康診断や予防接種」が61.0%で最も多く、次いで「ごみの収集」(59.3%)、「救急活動」(55.6%)となっています。

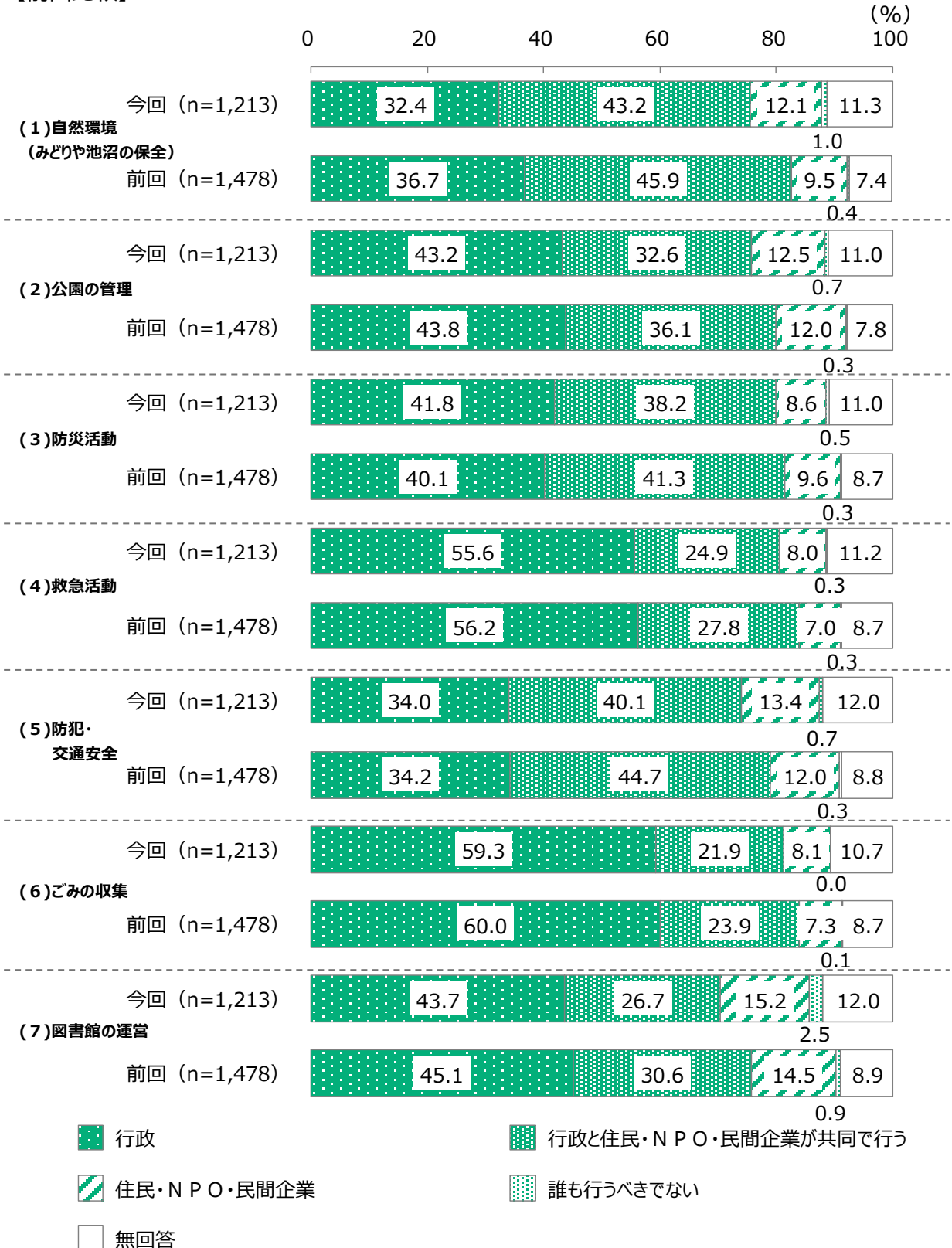
『住民・NPO・民間企業』が実施主体として望ましいと思うサービスは、「商店街の活性化支援」が19.5%で最も多く、次いで「体育館や運動場の運営」(16.3%)、「公民館の運営」(16.1%)となっています。

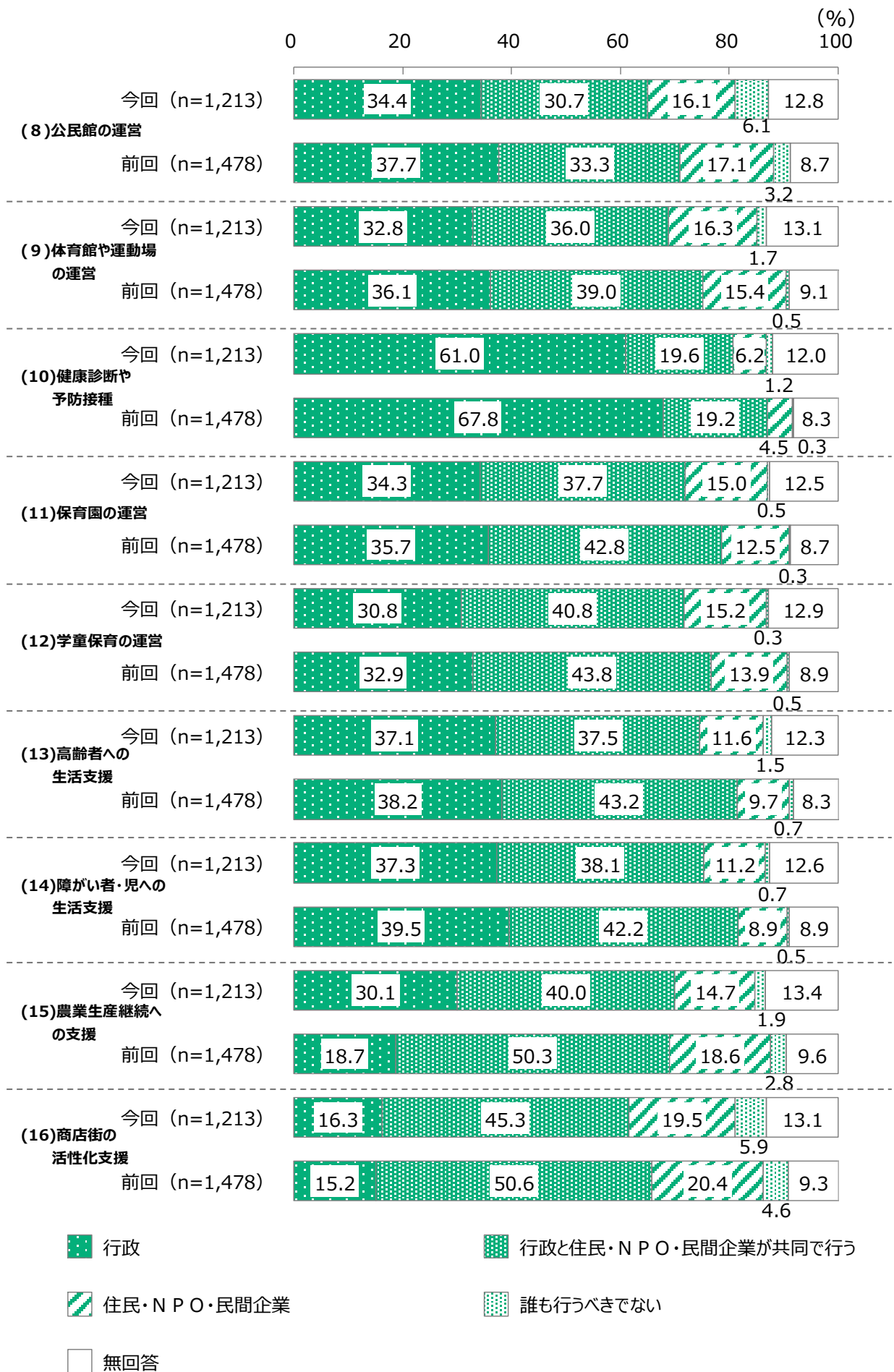


市民生活に関わるサービスの実施主体を前回調査と比較すると、『行政』が実施主体として望ましいと思うサービスは、「農業生産継続への支援」が 11.4 ポイント増加しており、「健康診断や予防接種」が 6.8 ポイント減少しています。

## B サービスの実施主体

### 【前回比較】

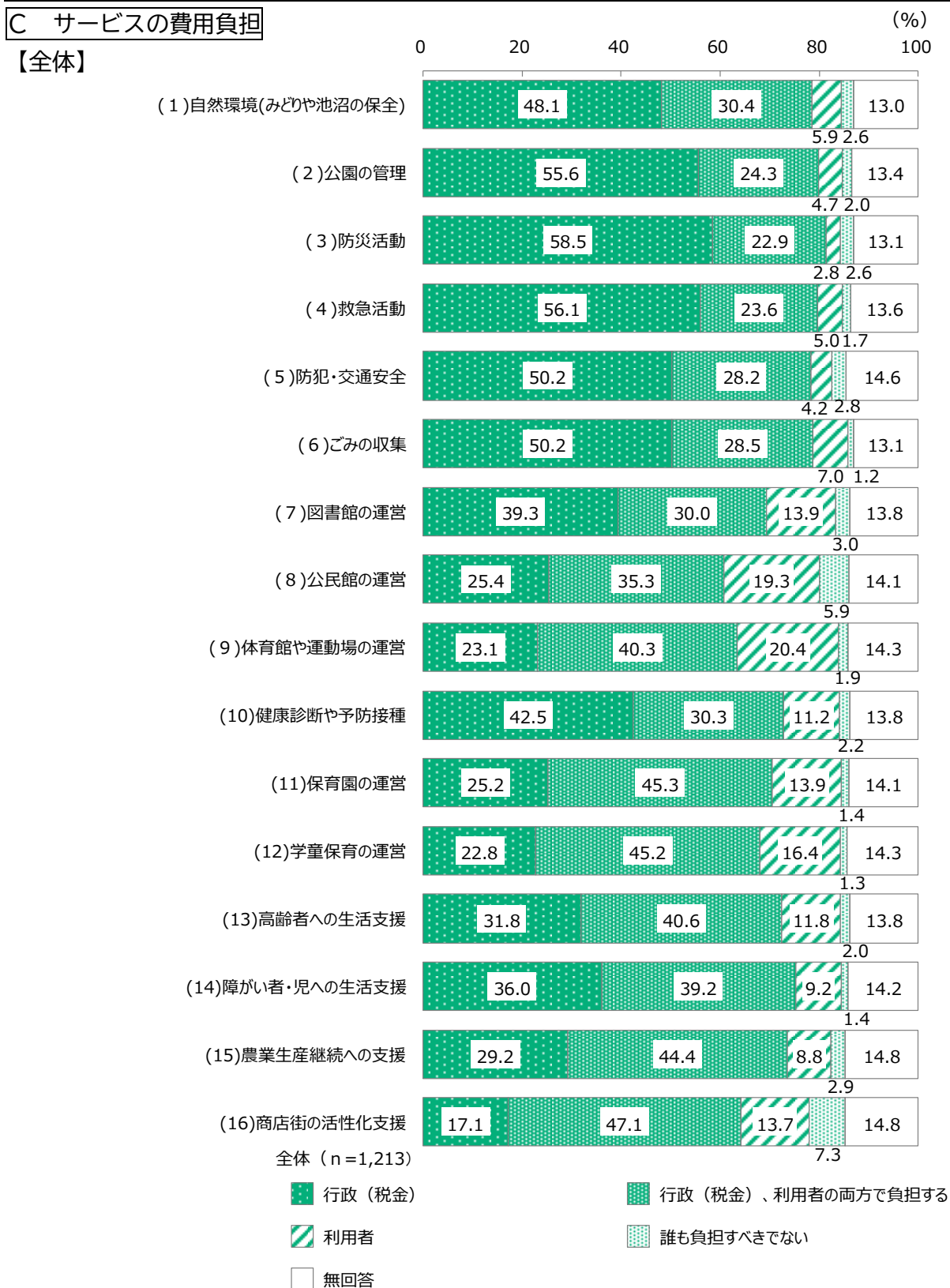




市民生活に関わるサービスの費用負担者として、『行政（税金）』が負担すべきだと思うサービスは、「防災活動」が58.5%で最も多く、次いで「救急活動」（56.1%）となっています。

『利用者』が負担すべきだと思うサービスは、「体育館や運動場の運営」が20.4%で最も多く、次いで「公民館の運営」（19.3%）となっています。

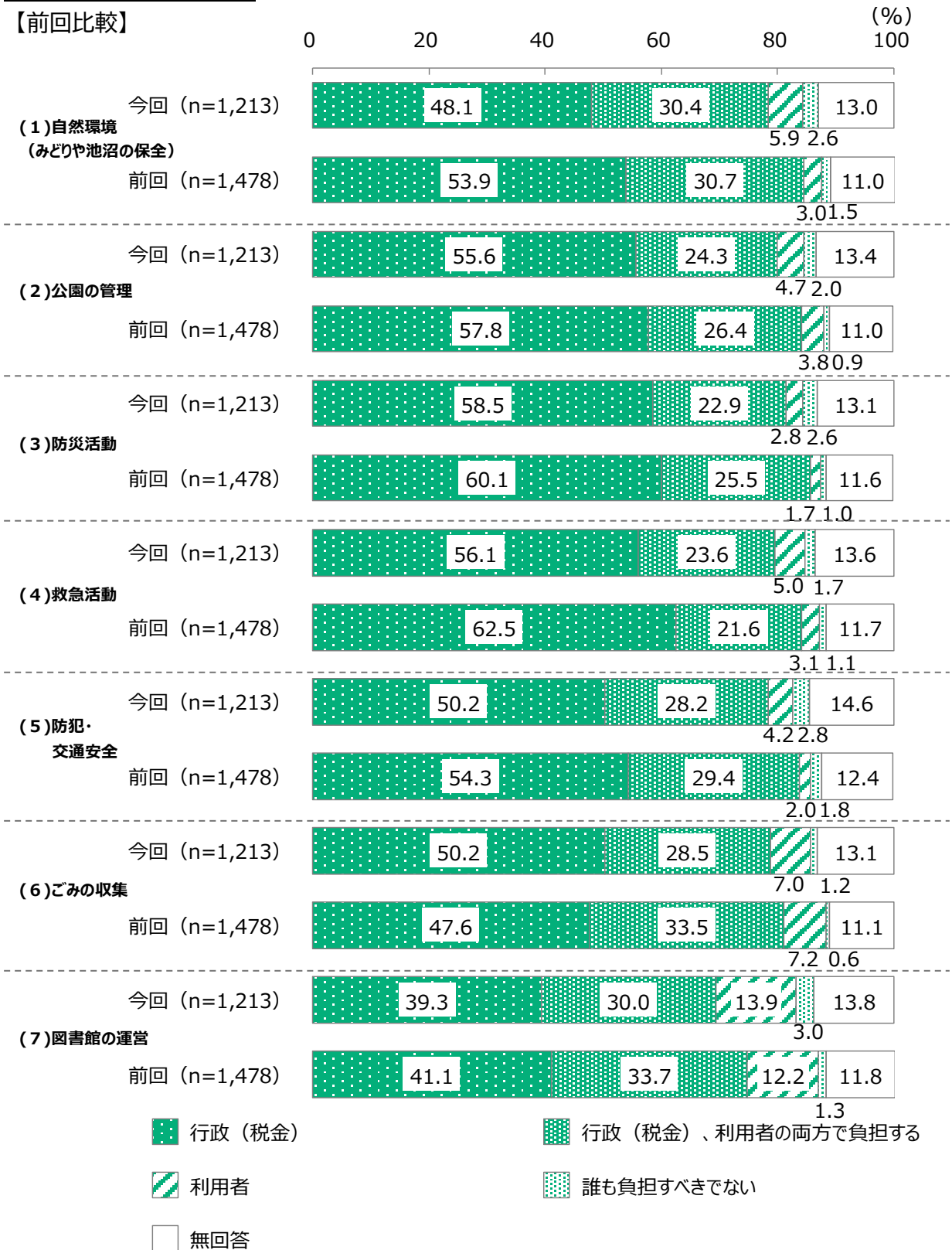
『行政（税金）、利用者の両方で負担する』ものとしては、「商店街の活性化支援」が47.1%で最も多く、次いで「保育園の運営」（45.3%）となっています。

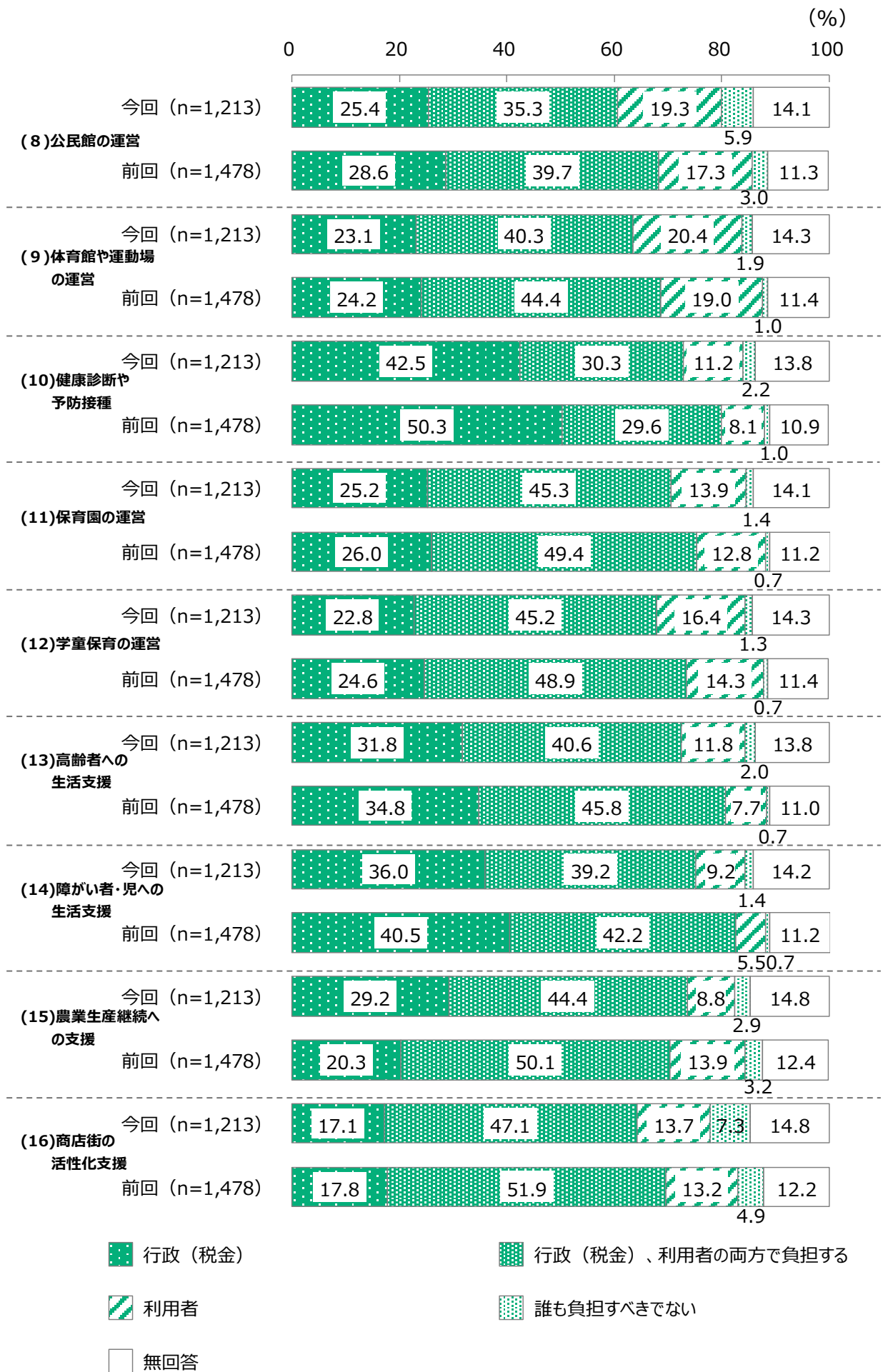


市民生活に関わるサービスの費用負担者について前回調査と比較すると、「農業生産継続への支援」については、『行政（税金）』が負担すべきという回答が 8.9 ポイント増加しています。一方で、「健康診断や予防接種」は 7.8 ポイント、「救急活動」は 6.4 ポイント減少しています。

### C サービスの費用負担

【前回比較】





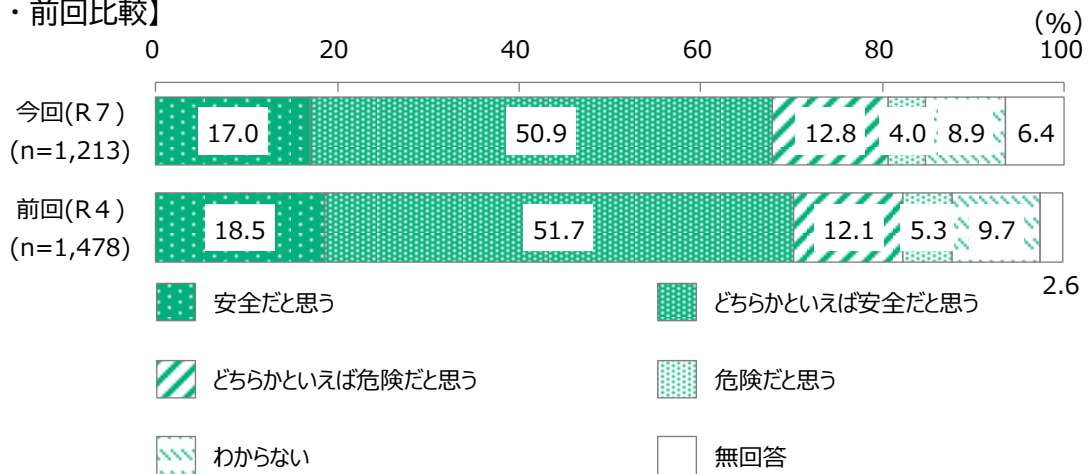
## 7. 防災対策について

問27 あなたのお住まいの地域は、災害に対し安全だと思いますか。(1つに○)

「どちらかといえば安全だと思う」が50.9%で最も多く、次いで「安全だと思う」(17.0%)、「どちらかといえば危険だと思う」(12.8%)となっています。

前回調査と比較すると、5ポイント以上差が認められる項目はなく、前回と概ね同様の傾向がみられます。

【全体・前回比較】



地域の災害に対する安全性を年齢別で見ると、「安全だと思う」と「どちらかといえば安全だと思う」の回答割合の合計が、すべての年代において、6割を超えています。

居住地区別で見ると、黒浜西地区、黒浜地区、閩戸地区では「どちらかといえば危険だと思う」がやや多くなっています。

【年齢・居住地区別】 ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

(%)

		安全 だと思 う	ど ち ら か と い え ば 安 全 だ と 思 う	ど ち ら か と い え ば 危 険 だ と 思 う	危 険 だ と 思 う	わ か ら な い	無 回 答
<b>全体 (n=1,213)</b>		17.0	<b>50.9</b>	12.8	4.0	8.9	6.4
<b>年 齢</b>	<b>16～19歳 (n=45)</b>	15.6	<b>48.9</b>	8.9	6.7	4.4	15.6
	<b>20～29歳 (n=107)</b>	20.6	<b>48.6</b>	10.3	0.9	10.3	9.3
	<b>30～39歳 (n=137)</b>	17.5	<b>50.4</b>	8.8	2.2	13.9	7.3
	<b>40～49歳 (n=183)</b>	18.0	<b>52.5</b>	14.2	3.3	8.7	3.3
	<b>50～59歳 (n=196)</b>	15.3	<b>49.5</b>	15.3	4.6	11.7	3.6
	<b>60～69歳 (n=169)</b>	14.2	<b>53.8</b>	13.6	4.1	10.7	3.6
	<b>70歳以上 (n=366)</b>	18.0	<b>51.4</b>	13.4	4.9	5.2	7.1
<b>居 住 地 区</b>	<b>蓮田地区 (n=242)</b>	23.1	<b>50.8</b>	7.4	3.7	7.9	7.0
	<b>蓮田南地区 (n=309)</b>	20.7	<b>55.3</b>	6.8	1.3	10.7	5.2
	<b>黒浜地区 (n=273)</b>	13.6	<b>46.2</b>	17.6	5.9	9.5	7.3
	<b>黒浜西地区 (n=190)</b>	13.2	<b>43.2</b>	23.7	8.4	6.3	5.3
	<b>閩戸地区 (n=76)</b>	10.5	<b>63.2</b>	15.8	1.3	5.3	3.9
	<b>平野地区 (n=107)</b>	13.1	<b>60.7</b>	9.3	1.9	10.3	4.7

問27-1 問27の選択肢を選んだ理由は何ですか。以下に自由にお書きください。

《主な意見》769人からいただいたご意見を、以下のとおり選択肢ごとに整理しました。

【安全だと思う】を選んだ理由（142件）

---

- ・地盤もしっかりしているし、過去にも大きな災害がない。
- ・高台に位置する。
- ・自治会がしっかりしているので、防災訓練等年に1回は会員で行っているの。
- ・ハザードマップで安全を確認しました。
- ・長い間、自然災害等にあつたことがない。安心して住むことができる。

【どちらかといえば安全だと思う】を選んだ理由（402件）

---

- ・現在のところ危険を感じたことはないが、災害規模によっては危険になりうる可能性があると思う。
- ・避難場所もあるから。
- ・ハザードマップの状況を見て安全だと思う。ただ閩戸地区は元荒川と見沼代用水や綾瀬川が近くにあるので少し不安。
- ・ハザードマップで危険性がそれほど高くないためです。
- ・住んでいる地区がどちらかといえば、水害のない高台で、地盤の良好な地区と思われるから。

【どちらかといえば危険だと思う】を選んだ理由（136件）

---

- ・元荒川が近くにあり、洪水があつた場合、浸水する可能性がある。
- ・避難場所になっている学校が安全とは思えない。老朽化や衛生面が気になる。
- ・道路がたびたび冠水。
- ・ハザードマップで水害可能性地域に指定されている。
- ・古い家なので地震の時に心配になる。
- ・災害時のマニュアルがよくわからない。

【危険だと思う】を選んだ理由（42件）

---

- ・避難できない人たち（寝たきりや障害ある人が安全に避難できる方法がない）。
- ・梅雨の時など土地が低いので周りからの住宅、土地から流れてくる水量が多い。
- ・近年の異常気象で元荒川が氾濫したら大変だと思います。
- ・元荒川に近く、ハザードマップ上で浸水地区にあたるため。

【わからない】を選んだ理由（47件）

---

- ・災害が発生してみないとわからない。
- ・実際に災害が起きていないから。
- ・今のところ感じない。
- ・情報不足。

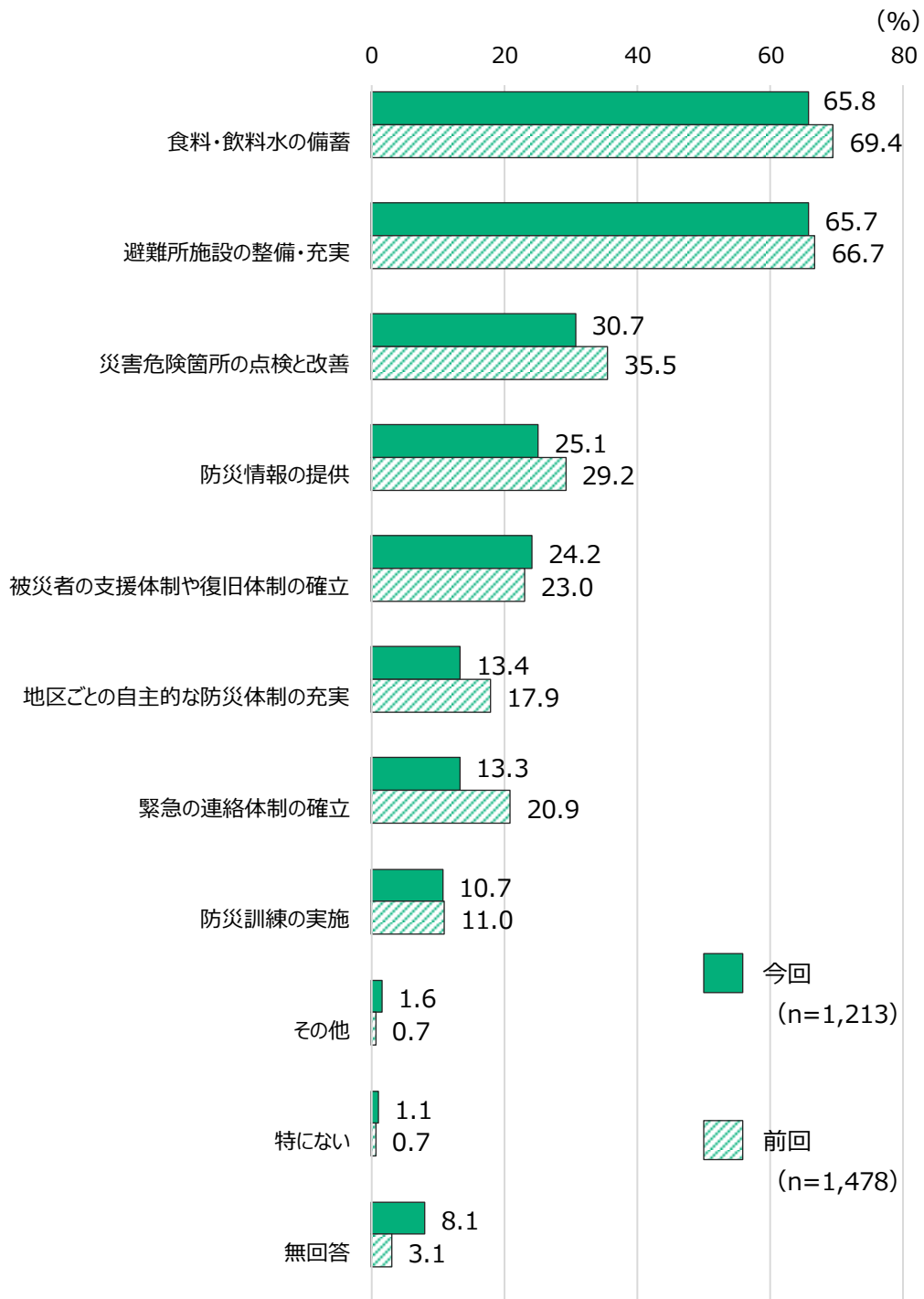
問28 あなたは、災害への備えにはどんなことが必要だと思いますか。

(あてはまるもの3つまでに○)

「食料・飲料水の備蓄」が65.8%で最も多く、次いで「避難所施設の整備・充実」(65.7%)、「災害危険箇所の点検と改善」(30.7%)となっています。

前回調査と比較すると、「緊急の連絡体制の確立」が7.6ポイント減少しています。

【全体・前回比較】



災害への備えに必要なことを年齢別でみると、すべての年代において、「食料・飲料水の備蓄」又は「避難所施設の整備・充実」が最も多い、又は次に多い回答となっています。10歳代では、「緊急の連絡体制の確立」と回答した割合も28.9%と多くなっています。

居住地区別でみると、年齢別と同様に、「食料・飲料水の備蓄」又は「避難所施設の整備・充実」が最も多い、又は次に多い回答となっています。特に、閩戸地区では、「避難所施設の整備・充実」が73.7%で全地区の中で最も多くなっています。

【年齢・居住地区別】 ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

(%)

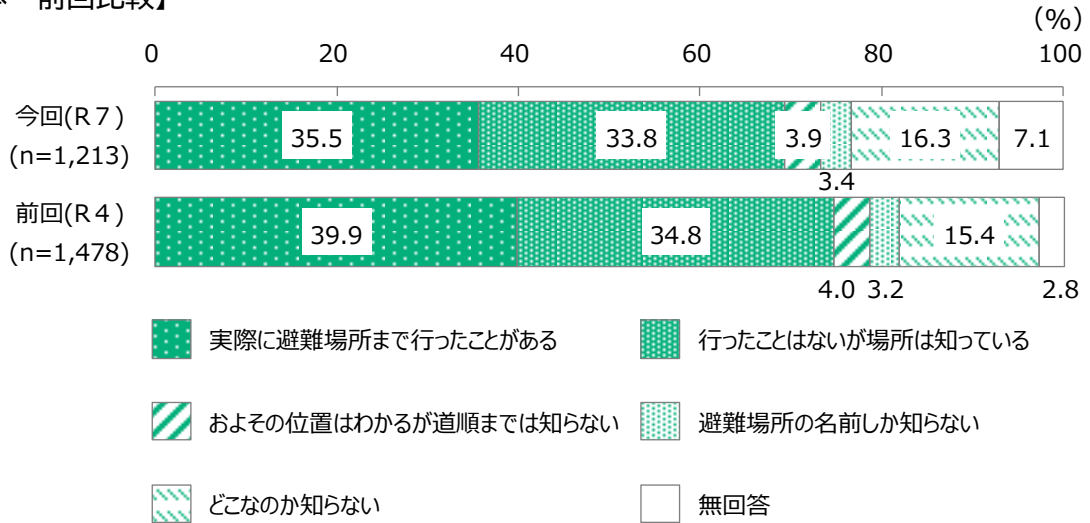
		食料・飲料水の備蓄	避難所施設の整備・充実	災害危険箇所の点検と改善	防災情報の提供	被災者の支援体制の確立	地区ごとの自主的な防災体制の充実	緊急の連絡体制の確立	防災訓練の実施	その他	特になし	無回答
全体 (n=1,213)		65.8	65.7	30.7	25.1	24.2	13.4	13.3	10.7	1.6	1.1	8.1
年齢	16～19歳 (n=45)	64.4	66.7	20.0	11.1	17.8	8.9	28.9	13.3	2.2	2.2	15.6
	20～29歳 (n=107)	72.0	65.4	28.0	28.0	23.4	5.6	15.0	11.2	0.9	0.0	11.2
	30～39歳 (n=137)	71.5	67.9	27.7	22.6	20.4	6.6	8.8	11.7	1.5	2.9	11.7
	40～49歳 (n=183)	74.3	71.6	34.4	25.7	25.7	10.9	6.6	10.9	2.7	0.5	3.8
	50～59歳 (n=196)	67.9	69.4	35.2	29.1	26.5	9.7	10.2	7.7	1.5	0.5	5.1
	60～69歳 (n=169)	65.1	63.3	32.5	23.1	27.8	16.0	8.3	11.2	1.2	2.4	5.3
	70歳以上 (n=366)	57.7	62.3	28.7	26.0	23.0	21.0	20.2	11.5	1.6	0.5	8.5
居住地区	蓮田地区 (n=242)	66.9	64.9	31.8	26.9	23.6	11.6	12.4	9.5	1.7	1.2	9.1
	蓮田南地区 (n=309)	67.6	69.9	29.8	25.6	25.2	14.6	11.7	10.7	1.3	1.3	6.8
	黒浜地区 (n=273)	65.6	66.7	31.5	24.5	24.2	10.3	12.8	9.9	2.2	0.0	8.8
	黒浜西地区 (n=190)	65.3	63.7	30.5	26.8	24.7	16.3	12.6	11.6	2.1	1.1	6.8
	閩戸地区 (n=76)	60.5	73.7	25.0	25.0	23.7	15.8	19.7	10.5	1.3	1.3	5.3
	平野地区 (n=107)	65.4	56.1	33.6	21.5	23.4	16.8	17.8	15.9	0.9	1.9	6.5

問29 あなたは、地震などが起こった場合の避難場所を知っていますか。(1つに○)

「実際に避難場所まで行ったことがある」が35.5%で最も多く、次いで「行ったことはないが場所は知っている」(33.8%)、「どこなのか知らない」(16.3%)となっています。

前回調査と比較すると、5ポイント以上差が認められる項目はなく、前回と概ね同様の傾向がみられます。

【全体・前回比較】



避難場所の認知度を年齢別で見ると、概ねすべての年代で、「実際に避難場所まで行ったことがある」又は「行ったことはないが場所は知っている」が最も多い、又は次に多い回答となっています。一方で、20歳代では、「どこなのか知らない」と回答した割合が26.2%、10歳代では、「およその位置はわかるが道順などは知らない」と回答した割合が8.9%となっています。

居住地区別で見ると、年齢別同様、概ねすべての地区で、「実際に避難場所まで行ったことがある」又は「行ったことはないが場所は知っている」が最も多い、又は次に多い回答となっています。一方で、蓮田地区、蓮田南地区では、2割近い人が「どこなのか知らない」と回答しています。

【年齢・居住地区別】 ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

(%)

		実際に避難場所まで 行ったことがある	行ったことはないが 場所は知っている	およその位置はわかるが 道順までは知らない	避難場所の名前しか 知らない	どこなのか知らない	無回答
全体 (n=1,213)		35.5	33.8	3.9	3.4	16.3	7.1
年齢	16～19歳 (n=45)	35.6	31.1	8.9	0.0	8.9	15.6
	20～29歳 (n=107)	23.4	29.9	5.6	4.7	26.2	10.3
	30～39歳 (n=137)	29.2	32.1	6.6	5.1	19.7	7.3
	40～49歳 (n=183)	40.4	31.7	4.4	2.2	18.0	3.3
	50～59歳 (n=196)	42.9	31.6	2.6	1.0	17.9	4.1
	60～69歳 (n=169)	40.2	33.7	2.4	2.4	16.6	4.7
	70歳以上 (n=366)	33.6	38.8	3.0	5.2	11.2	8.2
居住地区	蓮田地区 (n=242)	36.8	28.5	5.0	3.3	19.0	7.4
	蓮田南地区 (n=309)	35.3	31.4	6.5	2.3	19.4	5.2
	黒浜地区 (n=273)	37.4	35.9	1.1	2.2	15.4	8.1
	黒浜西地区 (n=190)	36.8	39.5	3.7	3.7	10.0	6.3
	閩戸地区 (n=76)	31.6	32.9	6.6	7.9	15.8	5.3
	平野地区 (n=107)	30.8	40.2	0.0	6.5	15.9	6.5

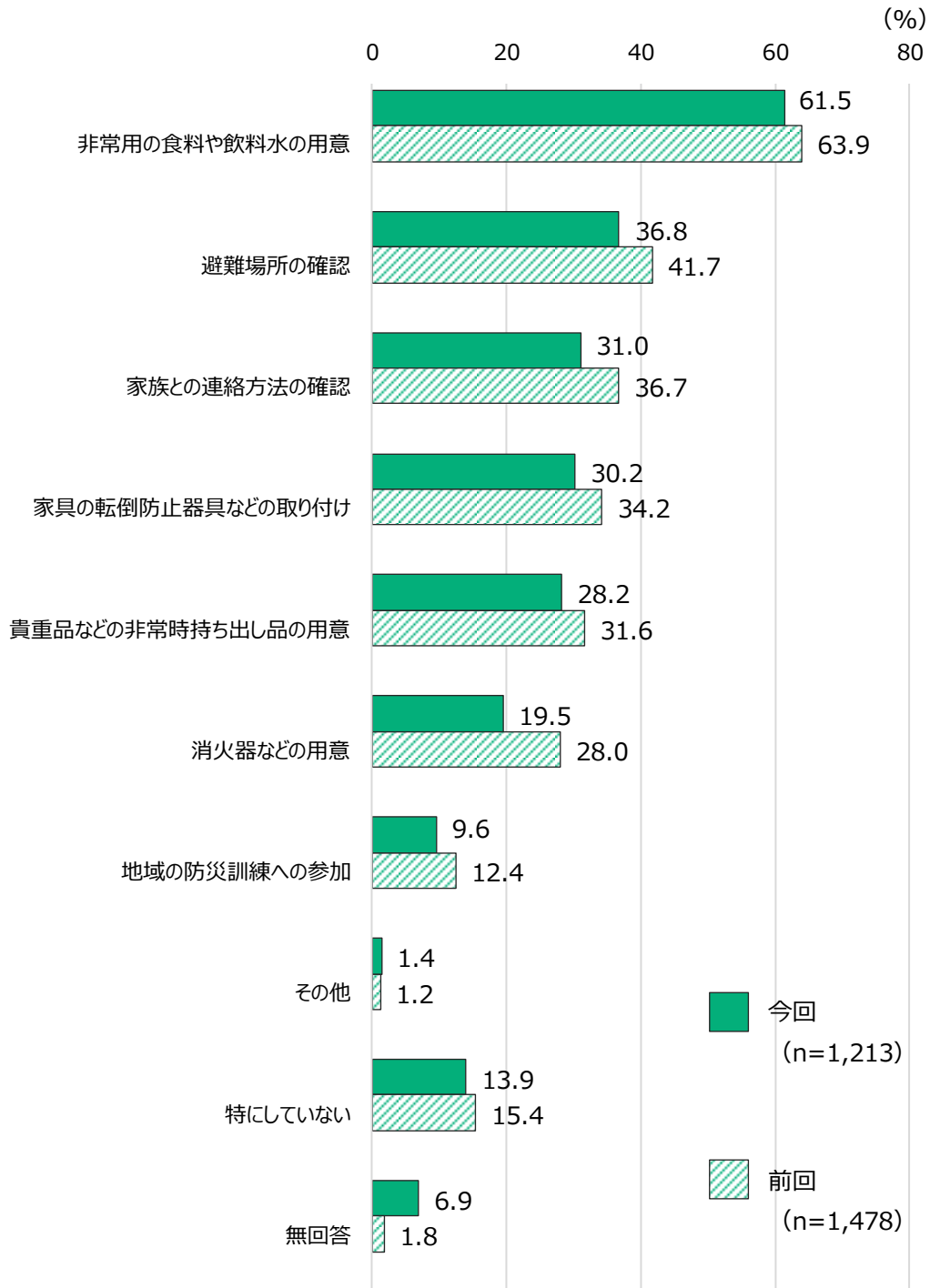
問30 あなたは、地震などの災害に備えてどのような準備をしていますか。

(あてはまるものすべてに○)

「非常用の食料や飲料水の用意」が61.5%で最も多く、次いで「避難場所の確認」(36.8%)、「家族との連絡方法の確認」(31.0%)となっています。

前回調査と比較すると、「消火器などの用意」が8.5ポイント、「家族との連絡方法の確認」が5.7ポイント減少しています。

【全体・前回比較】



災害に備え行っている準備を年齢別で見ると、すべての年代で「非常用の食料や飲料水の用意」が最も多い回答で、特に40歳代は64.5%で全年代の中で最も多くなっています。また、70歳以上では「貴重品などの避難時持ち出し品の用意」が38.0%と他の年代よりも多くなっています。

居住地区別で見ると、年齢別同様、すべての地区で「非常用の食料や飲料水の用意」が最も多い回答で、特に蓮田南地区は68.3%で全地区の中で最も多くなっています。

【年齢・居住地区別】 ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

(%)

		非常用の食料や飲料水の用意	避難場所の確認	家族との連絡方法の確認	家具の転倒防止器具などの取り付け	貴重品などの非常時持ち出し品の用意	消火器などの用意	特にしていない	地域の防災訓練への参加	その他	無回答
<b>全体 (n=1,213)</b>		<b>61.5</b>	36.8	31.0	30.2	28.2	19.5	13.9	9.6	1.4	6.9
<b>年齢</b>	16～19歳 (n=45)	<b>55.6</b>	48.9	37.8	22.2	20.0	4.4	11.1	8.9	0.0	15.6
	20～29歳 (n=107)	<b>60.7</b>	28.0	29.9	25.2	28.0	12.1	12.1	6.5	0.9	11.2
	30～39歳 (n=137)	<b>59.9</b>	36.5	26.3	24.8	21.2	10.9	14.6	3.6	0.7	9.5
	40～49歳 (n=183)	<b>64.5</b>	43.2	31.7	28.4	25.7	17.5	17.5	4.9	1.6	3.8
	50～59歳 (n=196)	<b>62.2</b>	40.8	31.1	32.1	24.5	18.4	14.3	7.1	1.5	3.6
	60～69歳 (n=169)	<b>62.1</b>	37.9	26.6	32.5	23.7	19.5	14.2	8.9	0.6	3.6
	70歳以上 (n=366)	<b>62.0</b>	33.1	34.4	33.9	<b>38.0</b>	28.7	12.3	16.9	2.2	7.1
<b>居住地区</b>	蓮田地区 (n=242)	<b>58.3</b>	36.4	32.6	27.7	27.3	18.6	13.6	5.4	1.2	8.3
	蓮田南地区 (n=309)	<b>68.3</b>	36.9	32.4	33.0	29.4	18.8	11.3	8.1	0.6	5.8
	黒浜地区 (n=273)	<b>60.1</b>	36.6	28.6	31.1	26.0	16.5	15.4	11.4	2.2	7.3
	黒浜西地区 (n=190)	<b>64.2</b>	41.6	37.9	30.0	31.6	28.4	14.2	17.4	2.6	5.8
	閩戸地区 (n=76)	<b>56.6</b>	36.8	22.4	23.7	28.9	23.7	13.2	5.3	1.3	3.9
	平野地区 (n=107)	<b>57.0</b>	32.7	27.1	30.8	28.0	15.0	16.8	9.3	0.0	4.7

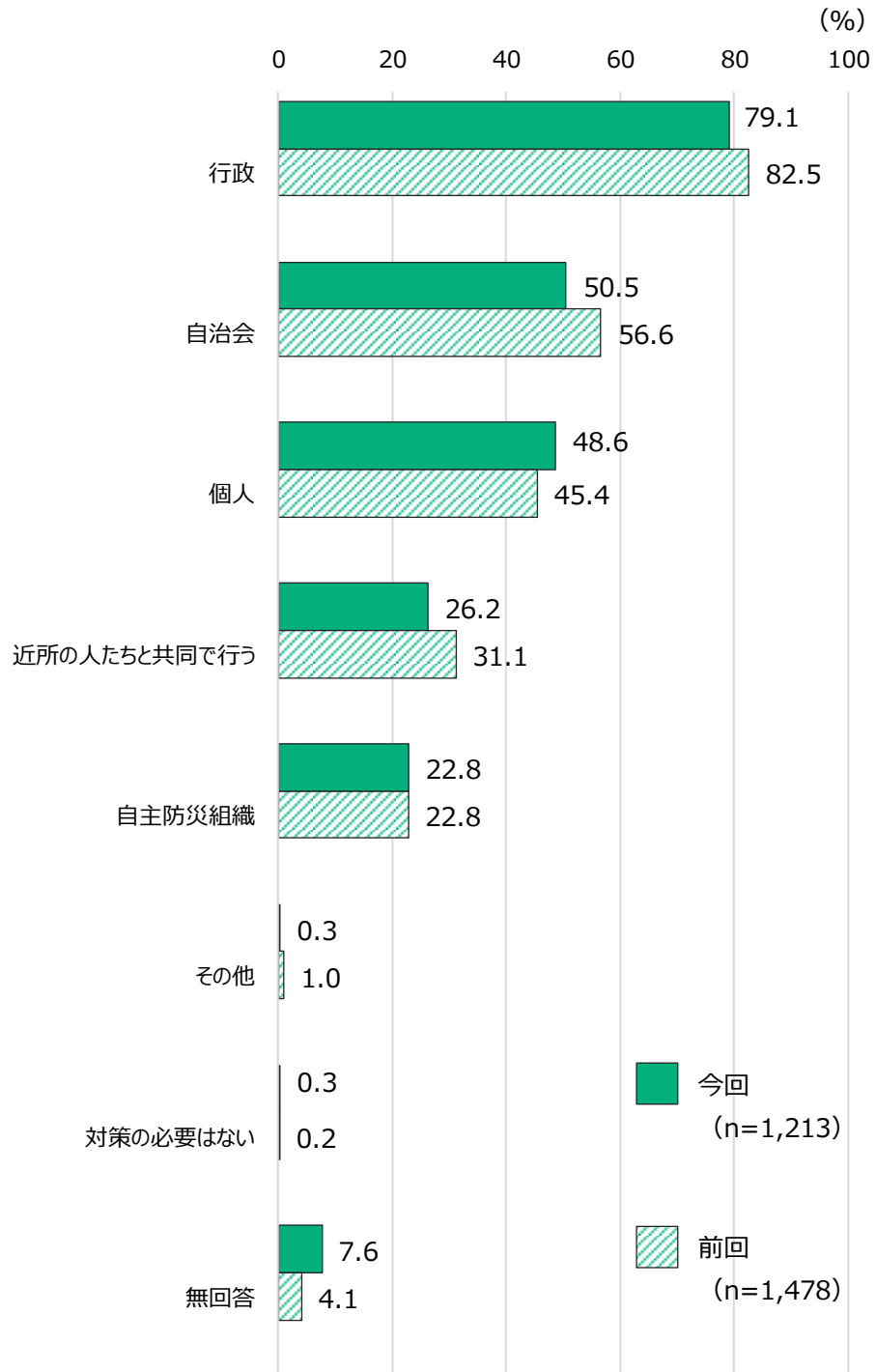
問31 地域の防災対策は誰が、もしくはどの組織が担うべきだと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

「行政」が79.1%で最も多く、次いで「自治会」(50.5%)、「個人」(48.6%)となっています。

前回調査と比較すると、「自治会」が6.1ポイント減少しています。

【全体・前回比較】



防災対策の担い先を年齢別で見ると、すべての年代で「行政」が最も多く、「自治会」又は「個人」が次に多い回答となっています。

居住地区別で見ると、年齢別同様、すべての地区で、「行政」が最も多く、「自治会」又は「個人」が次に多い回答となっています。

【年齢・居住地区別】 ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

(%)

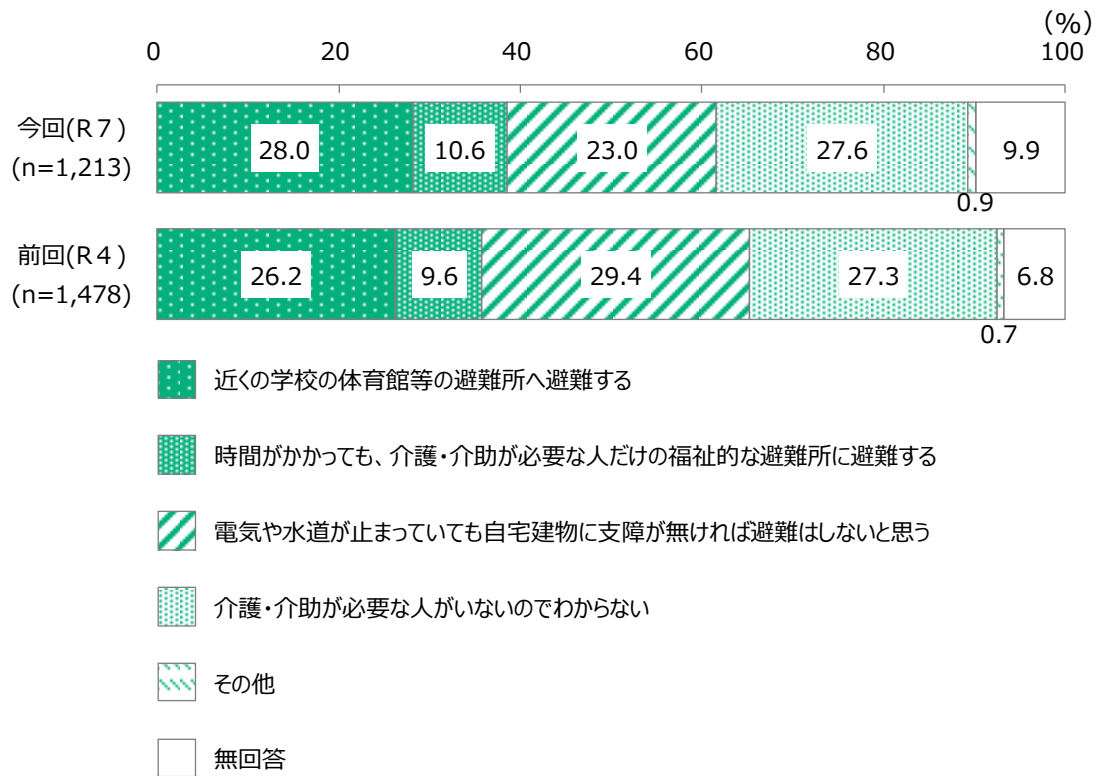
		行政	自治会	個人	近所の人たちと 共同で行う	自主防災組織	対策の必要はない	その他	無回答
全体 (n=1,213)		79.1	50.5	48.6	26.2	22.8	0.3	0.3	7.6
年齢	16～19歳 (n=45)	68.9	48.9	53.3	24.4	35.6	0.0	0.0	13.3
	20～29歳 (n=107)	72.9	54.2	46.7	19.6	25.2	0.0	0.0	10.3
	30～39歳 (n=137)	78.1	44.5	58.4	19.0	10.2	2.2	0.0	8.8
	40～49歳 (n=183)	82.5	46.4	58.5	24.0	20.8	0.0	0.0	4.9
	50～59歳 (n=196)	84.2	51.0	52.0	21.4	19.4	0.0	0.5	5.6
	60～69歳 (n=169)	82.8	49.1	45.0	25.4	15.4	0.6	0.6	7.1
	70歳以上 (n=366)	77.6	55.5	41.0	35.8	32.0	0.0	0.5	6.8
居住地区	蓮田地区 (n=242)	78.1	49.6	46.3	25.2	21.1	0.4	0.0	7.9
	蓮田南地区 (n=309)	82.2	49.2	50.2	23.0	19.4	0.3	0.3	6.1
	黒浜地区 (n=273)	79.5	44.3	54.6	27.1	23.1	0.4	0.0	6.6
	黒浜西地区 (n=190)	80.5	58.4	54.2	28.9	33.2	0.0	1.1	6.8
	閩戸地区 (n=76)	81.6	57.9	42.1	27.6	22.4	0.0	0.0	6.6
	平野地区 (n=107)	72.9	57.0	34.6	31.8	19.6	0.0	0.9	9.3

問32 災害発生直後の避難が必要な時、あなた自身や同居している家族に介護・介助が必要な人、障がいのある人がいる場合、避難所についてどのようにお考えですか。（1つに○）

「近くの学校の体育館等の避難所へ避難する」が28.0%で最も多く、次いで「介護・介助が必要な人がいないのでわからない」（27.6%）、「電気や水道が止まっても自宅建物に支障が無ければ避難はしないと思う」（23.0%）となっています。

前回調査と比較すると、「電気や水道が止まっても自宅建物に支障が無ければ避難はしないと思う」が6.4ポイント減少しています。

【全体・前回比較】



家族に手助けが必要な人がいる場合の避難所について年齢別でみると、「介護・介助が必要な人がいないのでわからない」を除いて、すべての年代において、「近くの学校の体育館等の避難所へ避難する」が最も多くなっています。

居住地区別も同様に、「介護・介助が必要な人がいないのでわからない」を除くと、「近くの学校の体育館等の避難所へ避難する」が概ね全地区において最も多くなっています。

【年齢・居住地区別】 ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

(%)

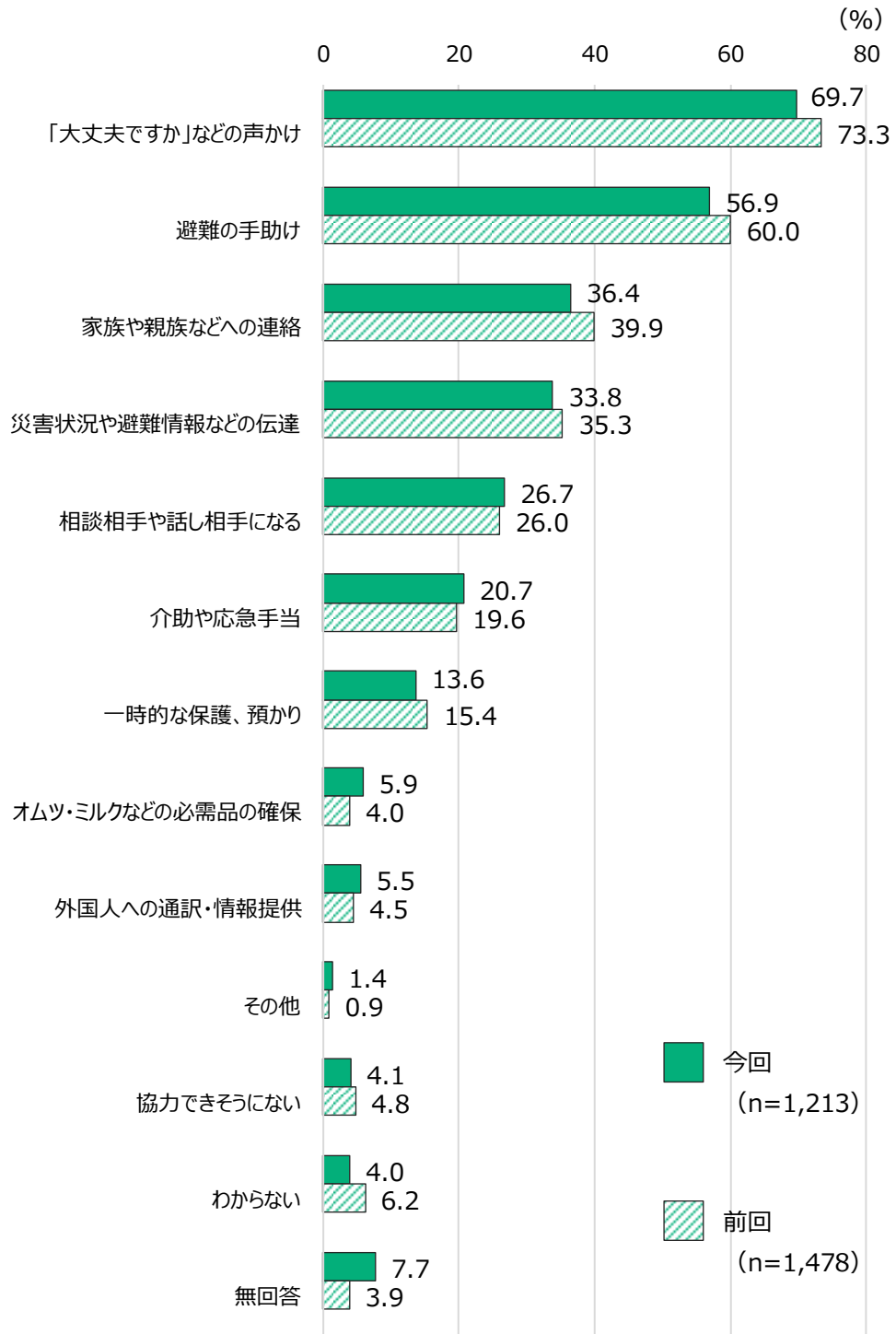
		近くの学校の体育館等の 避難所へ避難する	介護・介助が必要な人が いないのでわからない	電気や水道が止まってい ても自宅建物に支障が なければ避難はしな いと思	の福祉的な避難所に 避難する	時間がかかっても、 介護・介助が必要な 人だけ	その他	無回答
全体 (n=1,213)		28.0	27.6	23.0	10.6	0.9	9.9	
年齢	16～19歳 (n=45)	28.9	40.0	15.6	2.2	0.0	13.3	
	20～29歳 (n=107)	36.4	33.6	11.2	5.6	0.0	13.1	
	30～39歳 (n=137)	24.8	31.4	21.2	10.2	2.2	10.2	
	40～49歳 (n=183)	26.8	29.5	25.1	12.0	0.5	6.0	
	50～59歳 (n=196)	27.0	26.0	24.0	15.8	0.5	6.6	
	60～69歳 (n=169)	25.4	30.8	23.1	9.5	1.2	10.1	
	70歳以上 (n=366)	29.2	22.1	26.8	10.1	1.1	10.7	
居住地区	蓮田地区 (n=242)	29.3	27.3	24.4	8.3	1.2	9.5	
	蓮田南地区 (n=309)	29.8	30.1	19.7	11.0	0.0	9.4	
	黒浜地区 (n=273)	23.4	29.7	25.3	11.4	0.4	9.9	
	黒浜西地区 (n=190)	31.6	26.3	23.2	10.0	1.6	7.4	
	閩戸地区 (n=76)	28.9	26.3	22.4	11.8	1.3	9.2	
	平野地区 (n=107)	26.2	21.5	24.3	13.1	2.8	12.1	

問33 避難時に家族以外の手助けが必要な人に対して、どのような協力ができそうだと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

「大丈夫ですか」などの声かけ」が 69.7%で最も多く、次いで「避難の手助け」(56.9%)、「家族や親族などへの連絡」(36.4%)となっています。

前回調査と比較すると、5ポイント以上差が認められる項目はなく、前回と概ね同様の傾向がみられます。

【全体・前回比較】



家族以外の手助けが必要な人への避難時の協力について年齢別でみると、すべての年代で「大丈夫ですか」などの声かけ」又は「避難の手助け」が最も多くなっています。特に、「大丈夫ですか」などの声かけ」は、50歳代の80.1%が最も多くなっています。

居住地区別でみると、すべての地区で、「大丈夫ですか」などの声かけ」が最も多く、次に「避難の手助け」が多くなっています。特に、「大丈夫ですか」などの声かけ」は、閩戸地区の77.6%が最も多くなっています。

【年齢・居住地区別】 ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

(%)

		「大丈夫ですか」などの声かけ	避難の手助け	家族や親族などへの連絡	避難情報状況や伝達	話し相手になる	介助や応急手当	一時的な保護、預かり	オムツ・ミルクなどの必需品の確保	外国人への通訳・情報提供	その他	協力できそうにない	わからない	無回答
全体 (n=1,213)		69.7	56.9	36.4	33.8	26.7	20.7	13.6	5.9	5.5	1.4	4.1	4.0	7.7
年齢	16～19歳 (n=45)	48.9	51.1	37.8	31.1	24.4	24.4	15.6	11.1	8.9	0.0	2.2	11.1	13.3
	20～29歳 (n=107)	62.6	47.7	30.8	29.9	26.2	18.7	7.5	10.3	10.3	1.9	7.5	1.9	10.3
	30～39歳 (n=137)	64.2	56.2	32.1	29.9	29.9	21.9	14.6	10.2	7.3	0.7	9.5	1.5	9.5
	40～49歳 (n=183)	68.9	61.7	32.2	38.3	33.9	29.0	18.0	7.1	7.7	1.1	7.7	3.8	4.9
	50～59歳 (n=196)	80.1	61.2	38.3	34.2	21.4	20.9	14.8	4.1	4.1	2.0	1.0	4.6	4.6
	60～69歳 (n=169)	74.6	63.3	30.8	34.9	26.6	15.4	10.7	3.0	4.1	1.2	1.2	6.5	6.5
	70歳以上 (n=366)	69.9	53.8	44.0	34.4	26.0	18.9	13.7	4.4	3.6	1.6	2.7	3.3	7.9
居住地区	蓮田地区 (n=242)	66.5	55.0	31.4	36.8	26.9	18.6	12.4	6.2	4.5	1.7	5.4	4.1	7.9
	蓮田南地区 (n=309)	71.5	58.3	40.1	34.0	29.8	23.0	17.5	6.8	5.8	1.3	3.9	3.9	6.5
	黒浜地区 (n=273)	71.4	59.0	38.8	36.6	24.9	23.4	12.5	6.6	8.1	1.8	3.3	3.7	7.3
	黒浜西地区 (n=190)	68.9	58.9	35.3	33.7	29.5	23.2	15.3	3.2	5.8	0.5	4.7	3.7	7.4
	閩戸地区 (n=76)	77.6	63.2	38.2	25.0	23.7	18.4	13.2	2.6	2.6	1.3	0.0	1.3	7.9
	平野地区 (n=107)	67.3	48.6	33.6	27.1	20.6	11.2	6.5	9.3	1.9	1.9	6.5	6.5	7.5

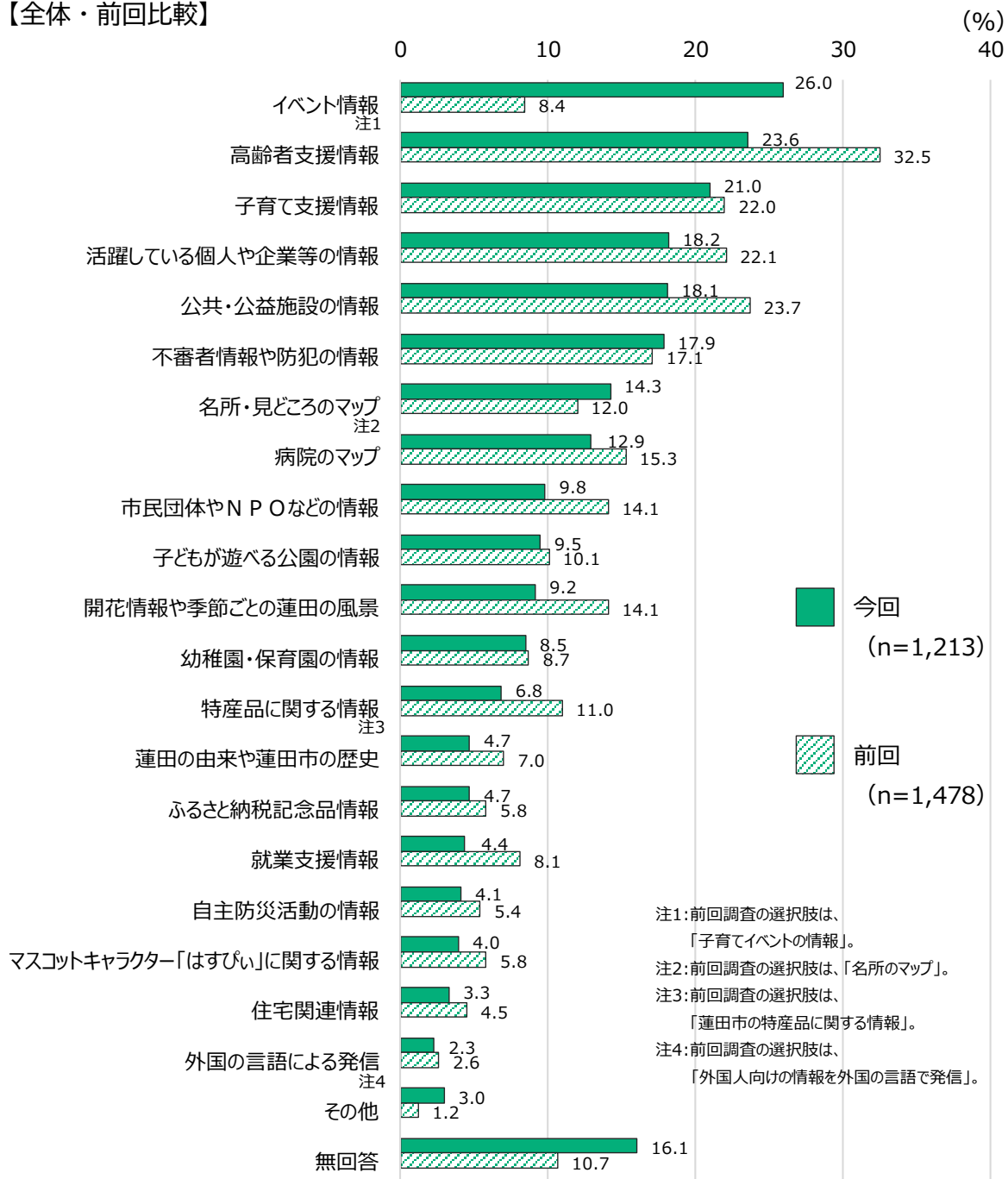
## 8. 市の広報（シティセールス）について

問34 あなたは、市をPRするために、広報はすだや市のホームページ、SNSなどでどのような情報を充実させたらよいと思いますか。（あてはまるもの3つまでに○）

「イベント情報」が26.0%で最も多く、次いで「高齢者支援情報」(23.6%)、「子育て支援情報」(21.0%)となっています。

前回調査と比較すると、「イベント情報」(前回調査の選択肢は「子育てイベントの情報」)が17.6ポイント増加している一方で、「高齢者支援情報」が8.9ポイント、「公共・公益施設の情報」が5.6ポイント減少しています。

【全体・前回比較】



市のPRのために充実させたらよい情報を年齢別でみると、30歳代では、「子育て支援情報」が42.3%で最も多く、70歳以上では、「高齢者支援情報」が41.8%で最も多くなっています。その他の年代では、「イベント情報」が最も回答割合が多く、年代によってばらつきがあります。

【年齢別】 ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

(%)

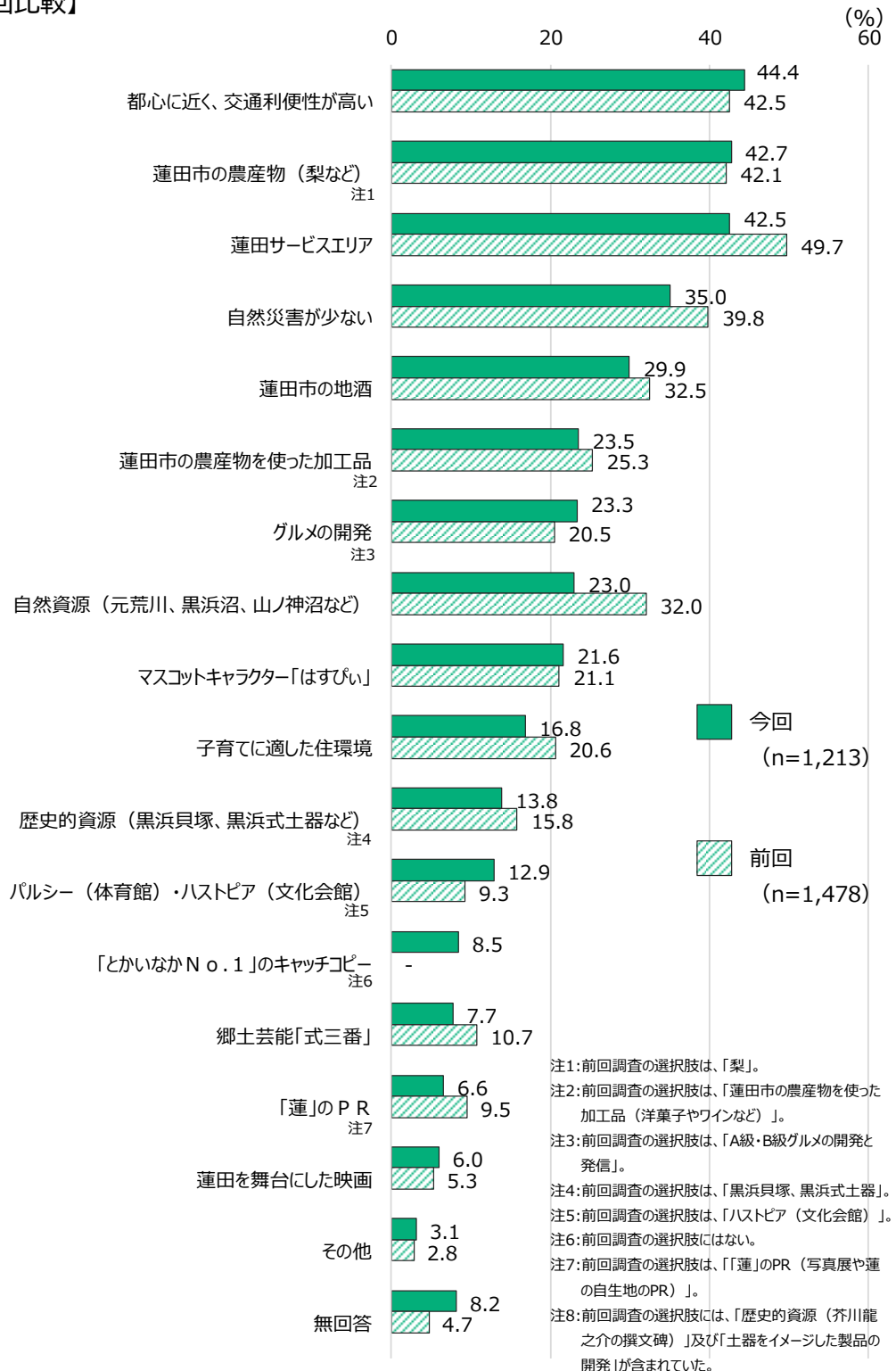
		イベント情報	高齢者支援情報	子育て支援情報	活躍している個人や企業等の情報	公共・公益施設の情報	不審者情報や防犯の情報	名所・見どころのマップ	病院のマップ	NPOなどの情報 市民団体や	子どもが遊べる公園の情報	開花情報や季節ごとの蓮田の風景
全体 (n=1,213)		26.0	23.6	21.0	18.2	18.1	17.9	14.3	12.9	9.8	9.5	9.2
年齢	16～19歳 (n=45)	33.3	6.7	11.1	20.0	13.3	11.1	15.6	11.1	2.2	17.8	6.7
	20～29歳 (n=107)	29.9	10.3	28.0	12.1	10.3	9.3	13.1	12.1	5.6	16.8	5.6
	30～39歳 (n=137)	28.5	3.6	42.3	19.7	9.5	8.8	13.1	5.1	5.1	25.5	9.5
	40～49歳 (n=183)	32.8	13.1	22.4	14.8	19.7	13.7	18.0	11.5	4.9	13.7	9.3
	50～59歳 (n=196)	28.1	24.0	20.4	12.8	15.8	21.4	22.4	15.8	11.7	4.1	10.7
	60～69歳 (n=169)	26.0	24.3	17.2	22.5	21.9	17.8	12.4	12.4	14.2	3.0	11.8
	70歳以上 (n=366)	19.1	41.8	14.2	22.4	23.2	25.1	9.8	15.8	13.4	4.4	8.5
		幼稚園・保育園の情報	特産品に関する情報	蓮田市の由来や蓮田の歴史	ふるさと納税記念品情報	就業支援情報	自主防災活動の情報	「はすびい」に関する情報	住宅関連情報	外国の言語による発信	その他	無回答
全体 (n=1,213)		8.5	6.8	4.7	4.7	4.4	4.1	4.0	3.3	2.3	3.0	16.1
年齢	16～19歳 (n=45)	15.6	2.2	11.1	0.0	4.4	4.4	6.7	0.0	4.4	8.9	20.0
	20～29歳 (n=107)	15.9	7.5	3.7	7.5	5.6	2.8	1.9	4.7	3.7	1.9	21.5
	30～39歳 (n=137)	19.7	5.1	3.6	4.4	8.0	1.5	7.3	2.9	1.5	2.2	19.0
	40～49歳 (n=183)	8.2	8.2	2.2	6.6	3.3	2.2	8.2	4.9	2.7	4.4	15.8
	50～59歳 (n=196)	7.7	5.6	3.6	5.1	6.6	5.1	5.6	4.1	2.0	3.6	11.7
	60～69歳 (n=169)	2.4	7.7	2.4	4.7	4.1	4.7	2.4	3.0	3.6	4.7	14.2
	70歳以上 (n=366)	4.9	7.4	7.7	3.6	2.2	5.7	0.8	2.5	1.4	1.1	14.8

問35 あなたは、市をPRするための蓮田ブランドや地域資源として、どのようなものが  
ふさわしいと考えますか。(あてはまるものすべてに○)

「都心に近く、交通利便性が高い」が44.4%で最も多く、次いで「蓮田市の農産物（梨など）」(42.7%)、「蓮田サービスエリア」(42.5%)となっています。

前回調査と比較すると、「自然資源（元荒川、黒浜沼、山ノ神沼など）」が9ポイント、「蓮田サービスエリア」が7.2ポイント減少しています。

【全体・前回比較】



市をPRするためにふさわしい地域資源を年齢別にみると、各年代によって最上位の項目は異なりますが、概ねすべての年代において、「都心に近く、交通利便性が高い」、「蓮田市の農産物（梨など）」、「蓮田サービスエリア」が上位の項目となっています。

一方で、10歳代では、「マスコットキャラクター「はすぴい」」が40.0%、70歳以上では「自然災害が少ない」が49.7%と他の年代と比較して多くなっています。

【年齢別】 ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

		都心に近く、 交通利便性が高い	蓮田市の農産物 (梨など)	蓮田サービスエリア	自然災害が少ない	蓮田市の地酒	蓮田市の農産物を 使った加工品を	グルメの開発	自然資源(元荒川、黒浜 沼、山ノ神沼など)	マスコットキャラクター 「はすぴい」	(%)
全体 (n=1,213)		44.4	42.7	42.5	35.0	29.9	23.5	23.3	23.0	21.6	
年齢	16～19歳 (n=45)	28.9	28.9	48.9	26.7	15.6	20.0	24.4	13.3	40.0	
	20～29歳 (n=107)	34.6	49.5	43.9	21.5	32.7	26.2	27.1	7.5	27.1	
	30～39歳 (n=137)	46.0	46.0	42.3	25.5	30.7	24.8	24.8	13.9	29.2	
	40～49歳 (n=183)	49.2	42.1	53.0	34.4	36.6	27.9	32.2	14.8	32.2	
	50～59歳 (n=196)	39.8	45.9	44.4	30.1	32.1	17.9	27.6	18.4	25.0	
	60～69歳 (n=169)	40.2	39.1	39.6	29.6	33.7	21.3	21.3	26.0	22.5	
	70歳以上 (n=366)	51.4	42.1	37.2	49.7	24.9	24.6	16.1	38.0	7.7	
		子育てに適した住環境	歴史的資源(黒浜貝塚、 黒浜式土器など)	パルシー(体育館)・ハ ストピア(文化会館)	「どかいなかNo.1」 のキャッチコピー	郷土芸能「式三番」	「蓮」のPR	蓮田を舞台にした映画	その他	無回答	
全体 (n=1,213)		16.8	13.8	12.9	8.5	7.7	6.6	6.0	3.1	8.2	
年齢	16～19歳 (n=45)	6.7	8.9	17.8	13.3	8.9	4.4	13.3	0.0	15.6	
	20～29歳 (n=107)	19.6	10.3	9.3	10.3	6.5	6.5	5.6	2.8	9.3	
	30～39歳 (n=137)	32.8	10.2	8.0	9.5	5.8	2.2	3.6	3.6	8.0	
	40～49歳 (n=183)	16.9	12.0	10.9	10.4	7.1	4.9	6.6	5.5	6.0	
	50～59歳 (n=196)	14.3	13.8	15.3	7.7	4.1	5.6	5.6	3.1	5.1	
	60～69歳 (n=169)	11.2	14.2	8.9	9.5	7.7	4.1	8.3	5.3	8.3	
	70歳以上 (n=366)	15.3	18.0	16.4	6.3	11.2	10.9	4.9	1.4	8.2	

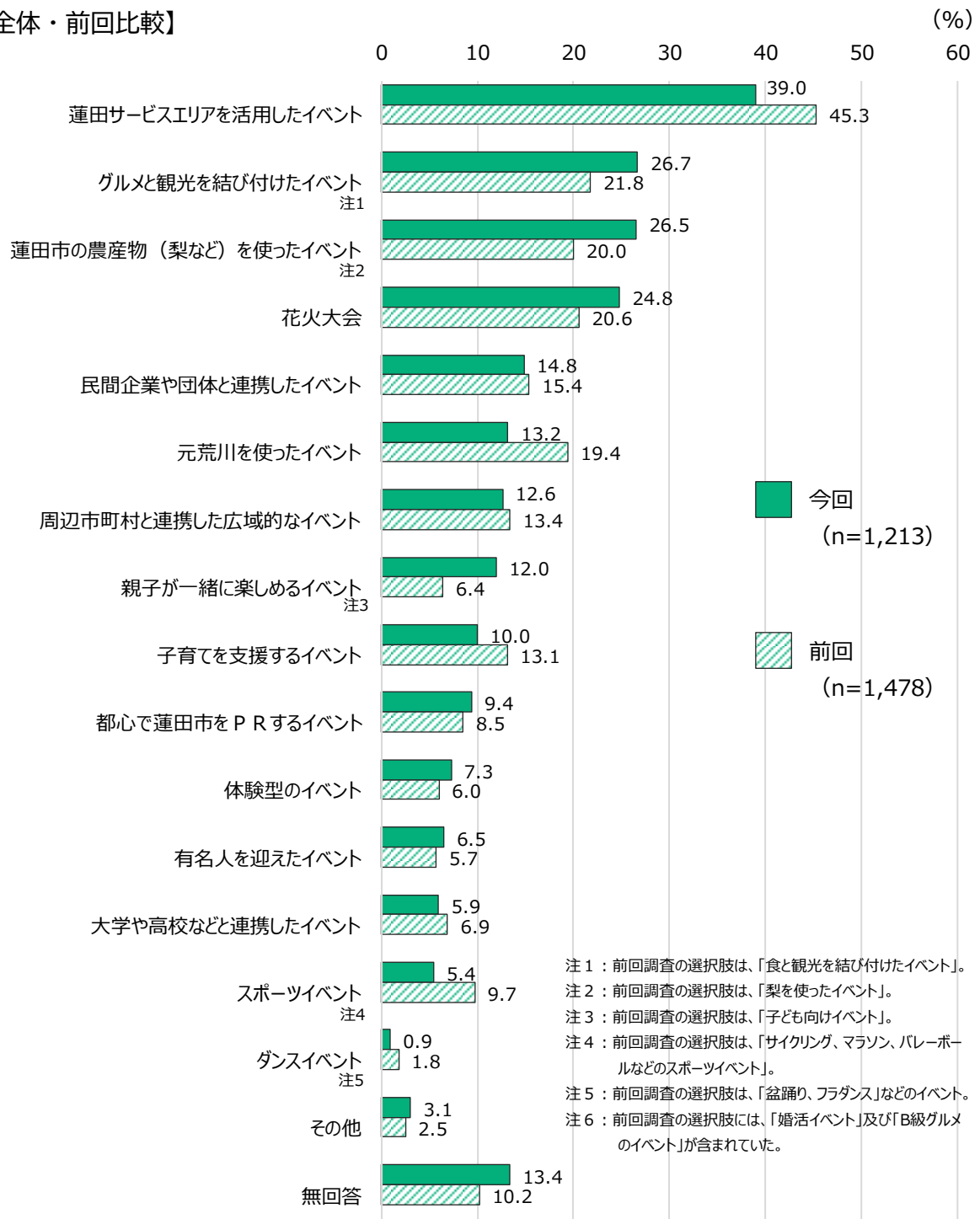
問36 あなたは、市をPRするためにどのようなイベントが必要と考えますか。

(あてはまるもの3つまでに○)

「蓮田サービスエリアを活用したイベント」が39.0%で最も多く、次いで「グルメと観光を結び付けたイベント」(26.7%)、「蓮田市の農産物(梨など)を使ったイベント」(26.5%)となっています。

前回調査と比較すると、「蓮田市の農産物(梨など)を使ったイベント」(前回調査の選択肢は「梨を使ったイベント」)が6.5ポイント増加している一方、「蓮田サービスエリアを活用したイベント」が6.3ポイント、「元荒川を使ったイベント」が6.2ポイント減少しています。

【全体・前回比較】



市のPRのために必要なイベントを年齢別でみると、40歳以上は「蓮田サービスエリアを活用したイベント」が、10歳代から30歳代では、「花火大会」が最も多くなっています。

【年齢別】 ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

(%)

		蓮田サービスエリアを活用したイベント	結びグルメと観光を付けたイベント	蓮田市の農産物（梨など）を使ったイベント	花火大会	民間企業や団体と連携したイベント	元荒川を使ったイベント	周辺市町村と連携した広域的なイベント	親子が一緒に楽しめるイベント	子育てを支援するイベント
全体 (n=1,213)		39.0	26.7	26.5	24.8	14.8	13.2	12.6	12.0	10.0
年齢	16～19歳 (n=45)	37.8	26.7	17.8	51.1	11.1	8.9	6.7	8.9	2.2
	20～29歳 (n=107)	25.2	27.1	27.1	28.0	10.3	6.5	8.4	12.1	13.1
	30～39歳 (n=137)	27.0	27.7	23.4	32.1	12.4	6.6	6.6	21.2	20.4
	40～49歳 (n=183)	40.4	23.5	26.2	32.8	10.4	9.3	9.8	12.0	9.8
	50～59歳 (n=196)	47.4	37.8	22.4	23.5	14.3	10.7	8.7	12.2	7.1
	60～69歳 (n=169)	47.9	26.6	25.4	21.3	17.2	8.3	16.0	8.3	7.1
	70歳以上 (n=366)	38.5	22.4	32.2	16.7	19.1	24.0	19.1	10.7	9.3

		都心で蓮田市をPRするイベント	体験型のイベント	有名人を迎えたイベント	大学や高校などと連携したイベント	スポーツイベント	ダンスイベント	その他	無回答
全体 (n=1,213)		9.4	7.3	6.5	5.9	5.4	0.9	3.1	13.4
年齢	16～19歳 (n=45)	0.0	6.7	17.8	15.6	6.7	2.2	0.0	17.8
	20～29歳 (n=107)	8.4	6.5	9.3	7.5	4.7	0.9	1.9	21.5
	30～39歳 (n=137)	8.8	6.6	5.1	3.6	0.7	0.7	5.1	21.9
	40～49歳 (n=183)	8.2	9.8	4.4	8.2	7.1	1.6	2.7	13.1
	50～59歳 (n=196)	8.2	6.6	7.1	4.6	6.1	1.0	4.6	9.2
	60～69歳 (n=169)	9.5	8.9	7.7	6.5	8.9	0.6	4.7	7.1
	70歳以上 (n=366)	12.3	6.3	4.9	4.6	4.4	0.5	1.6	10.9

## 自由意見

### ■ 蓮田市のまちづくりに対するご意見等ございましたら、ご自由にお書きください。

462人から以下のご意見をいただきました。（概ね原文のとおり）

#### 【都市基盤の整備】（168件）

- ・ 駅前の整備と噴水塔の設置とかしてほしいです。駅前にもっと華やかさがほしい。
- ・ 駅前に有名な店舗、本屋などで活性化。市内に大型商業施設。駅前は蓮田市の顔のようなもの、便利にもなるし住んでみたいと思える要素になると思います。
- ・ 駅に飲食店がもっとほしい。
- ・ コミュニティバスを走らせてほしいです。車に乗れる今は良いけれど、病院へ行くのも買物に行くのも免許を返納したら生活できません。
- ・ 公園の遊具が古いです。公園は沢山あるのは魅力を感じるけど、すべり台やブランコ、今の時代、他の公園を見たら古いです。税金で新しくしていくことは難しいかも知れないけど、新しく戸建てができていく中で子育てしていく中で、公園は大切なポイントになると思う。大きな公園だけでなく小さな公園の整備にも目を向けてほしいです。
- ・ 市の郊外でも公共交通の移動で高齢者が安全に生活できる場所にしてほしいです（運転免許証の返納ができない）。
- ・ 公共施設へのアクセスを充実してほしい。
- ・ 駅前の活性化…整備…若い世代にも魅力を感じてもらえるよう蓮田の玄関口である駅前の再整備が必要。市内循環バスの拡充…車がなくても生活しやすいまちづくりのために、アクセス困難な地域をカバーするバス網の整備。
- ・ 道路整備について、駅周辺は整備されつつありますが、少し駅から離れると、歩道がない道が多々あります。また、旧122号で線路を通る踏切は車上下1台ずつ通るのがやっとです。人や自転車が通る時はかなりの注意が必要です。バイパスが通りましたが、関山交差点の渋滞は相変わらずです。子育てや高齢者に優しいまちづくりは道路の整備が不可欠に思います。
- ・ 道幅を広くし、歩行者が歩きやすい歩道を作ってほしい。車も通りやすい道路を増やしてほしい。
- ・ 道路が狭いところが多いので、歩道や自転車道の整備が必要かと思います。道路があちこち穴が開いていたり、へこみがあるので整備していただきたいと思います。高齢者の病院や買い物などの足として小回りの巡回バスなど検討していただけるとありがたいです。
- ・ 基本的に都心へのアクセス、高速道路に不満はありません。駅付近に大型のショッピングモールなどの賑わいができるとう他県からも注目されると思います。「都心に近いけど戸建てが持てる市」をもっとアピールしてほしいです。
- ・ バスや乗合タクシーなど駅までの交通システムを早急に整えていただきたいです。

## 【生活環境の状況】(93件)

---

- ・夜、歩道が暗く、歩いているときに怖い。街灯を増やしてほしい。また、歩道が狭く、デコボコしてる箇所が多く歩きづらい。自転車専用レーンを作してほしい。歩道内にある樹木が伸びすぎていて歩行の邪魔になる。また信号等が見えなくなるし、それが車道にもはみ出ているので自転車の時、頭に当たる。適切に管理してほしい。
- ・外国人への地域活動などを通してルールを守ってもらいたい。
- ・防犯カメラ、防犯ライト、街灯などを増やしてほしいです。地域によって夜、真っ暗な道があります。
- ・町の発展に合わせ、警察署(独自の)があると地域の治安や交通環境により安心して生活ができる。「蓮田警察署」を要望します。
- ・住宅街の防犯カメラの積極的な設置を希望。排水溝の清掃を年2回位行ってほしい。落ち葉等で詰まっているので大雨の際溢れる危険がある。
- ・浄化槽は臭いが発生するので下水に切り替えてほしい。
- ・防災無線は何を話しているのか分からないので無線内容を SNS 等で流してほしい。
- ・ごみ袋の無料化。ゴミ置き場の整備(カラス除けの防護網設置)。
- ・ゴミ袋が高く家計の負担になっているので、安くしてほしい。
- ・野焼きの取り締まりをしてほしい。

## 【教育・文化行政】(74件)

---

- ・子供たちが成長した後も住み続けたい、戻りたいと思える街づくり。まちと関われる教育環境が整うと良いですね。
- ・市に大学を誘致し学園都市にする。
- ・市内小中学校の体育館にエアコンを設置して下さい。災害時の避難所となることももちろんですが、この酷暑の中、子どもたちがかわいそうです。
- ・保育士や学校教諭の離職を止めるための待遇改善など、子どもの教育を司る方々への支援をすべきだと思います。
- ・自習室や勉強ができる環境を増やしてほしい。
- ・ハストピアの利用をもっと考えるべき。企画力が弱い。ハストピアのカラオケ大会は盛大だったが、色々企画すればもっと利用者が増えると思われる。企画を募るべき。
- ・子どもやシニアが活動できる運動場が整備されていない。
- ・コンスタント且つ多人数参加可能な教室(歴史、自然、趣味(書道や陶芸))などの開催を望みます。それらを通じて、蓮田への帰属意識を育みたい。
- ・パルシーやハストピアの施設が遠いため利用しにくい。特にハストピアは駅前にあると利用者が増えると思います。

## 【保健・福祉・医療サービス】(67件)

---

- ・もっと子育て支援の充実した市にしてほしい。
- ・都心へは比較的行きやすいように思うから、出産や子育て、教育関係の支援が充実していれば勝手に活気づいてくれるのではないかと思った。
- ・高齢者が病院に行くための足の確保がほしい・市内の病院に行くためのバスが、病院前まで行くバスが1日に1便で、それも午前1回のみだと足の具合が良くない人たちはタクシーで費用も大変。伊奈町のようにシャトルバスがほしいと常に思っています。
- ・高齢になっても住みやすい場所であること。現在30~40代でも20~30年後には高齢者となる。その時に住みやすい場所であるかどうかを考えてのまちづくりが望ましいと思う。
- ・高齢化がこれからさらに進むので、高齢者が家に引き込まれないようにする事業を進める事が大切である。
- ・病院をもっと充実させてほしい。

## 【産業振興】(90件)

---

- ・大型のショッピングモールを建設してほしい。他市から蓮田に来る人も多くなり、蓮田市はパート等の求人数が少ないので、働き先も見つけやすくなりメリットがあると思う。
- ・ショッピングモールや温泉施設がほしい。
- ・目玉になるものがないので何かあると良い。
- ・先端企業を誘致し、若い人の就業機会を確保し活気あるまちづくりを進めてほしい。
- ・企業や工業の誘致にも力を入れて、税を増やしたり、働く場があることで、若い人たちが地元に住みついてイキイキとして賑やかな町になるのでは。このままでは若い人がいない高齢者の多い町になるような気がします。
- ・産業としての農業に関心を寄せて、振興を遅らせないでほしい。
- ・蓮田市は、農産物、特産物がない。あった梨も米も、農家さんが、高年齢化して、跡継ぎも少なく、耕作放棄された土地の活用を考えてほしい。
- ・特産品や地元の農家さんの野菜や果物が食べられる施設が欲しい。SAにそのような場所があれば行きたい。
- ・蓮田駅前には新しいお店等何もなく、むしろ数年前の方がお店が沢山あり、楽しみがあったが、今は心わくわくするような店等もなく、若者を呼び込むような街並みもない。商店街もなく、これでは明るく生き生きした街とはほど遠い。蓮田市にしかない物を作るべき。サービスエリア近辺に、日帰り場を作る等、新しい事を考えて下さい。可もなく不可もなくではPRできません。
- ・蓮田市民のお金(買物等)は蓮田市に落ちるように(使う)、もっと商店を増やす。駅近辺は商業地に。

## 【コミュニティづくりや広報・広聴活動】（65件）

---

- ・市外へ向けてのPRを増し、人の流入が増える何かがほしい。さくらの季節は元荒川だけでなく見沼用水沿いなど長い並木があるのも市外に向けてPRしてほしい。ウォーキングのイベントなどを加え集客ができないだろうか。ドローンを使い桜を空から撮り、桜の市（街）としても良いのでは。
- ・蓮田のLINEは便利です。もっと広めたら良いと思います。
- ・蓮田市を知らない人たちが多く、蓮田の名前を知ってもらうためにはもっとPRするべきと思う。大きなショッピングセンター等、誘致する等の働きかけが必要と思う。
- ・「はすぴい」という、とてもかわいらしいキャラクターがいるので、蓮田サービスエリア等で、はすぴいに時々出動してもらってイベントをやるなどしてみると、蓮田市の印象が変わってくるかもしれません。
- ・蓮田マラソンの復活を期待しています。市内外の人を巻き込む、という意味ではマラソンのイベントはまちづくりに非常に効果的だと考えています。
- ・あえて周りにはないような設備などを作ると他の市町村からも利用が増えると思う。



## 第2部

# 蓮田市 小中学生アンケート結果



# I 調査概要

## 1. 目的

この調査は、令和9年度から10年間のまちづくりの指針となる「蓮田市第6次総合振興計画」の策定に当たり、未来の蓮田市を担う子どもたちの声を聴き、計画策定の基礎資料とすることを目的に実施しました。

## 2. 調査方法

- |          |   |
|----------|---|
| (1) 調査期間 | 令和7年6月16日～令和7年7月16日                       |
| (2) 調査対象 | 蓮田市内の小中学校全校に在籍する小学6年生と中学2、3年生             |
| (3) 調査方法 | 児童・生徒一人ひとりが所有しているタブレットを使用し、WEBより回答 ※無記名回答 |

## 3. 有効回答数

- |           |               |
|-----------|---------------|
| (1) 有効回答数 | 1,159票／1,298票 |
| (2) 有効回収率 | 89.3%         |

## 4. 集計上の注意事項

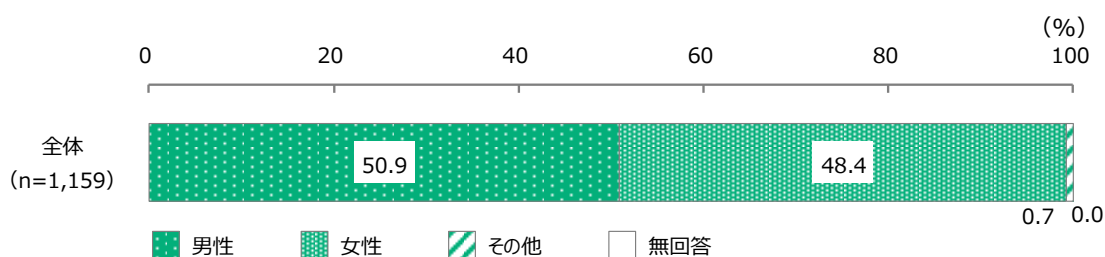
- ・ 図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表しています。
- ・ 図表中の（n＝＊）の数値は、集計母数を表しています。
- ・ 回答の比率（％）は、小数点以下第2位を四捨五入しています。そのため、属性ごとの回答比率の合計が100%にならないことがあります。
- ・ 図表中の「0.0」は四捨五入の結果、又は回答者が皆無であることを表しています。
- ・ 居住地区別では、30の地区を6つの地区に分けて集計しています。（詳細は、86ページを参照してください。）
- ・ Q3以降の自由記述意見は、意見全体の傾向を把握するため、テキストマイニングを用いて回答結果を分析し、ワードクラウドを作成しました。  
※ユーザーローカルAI テキストマイニングによる分析 (<https://textmining.userlocal.jp/>)  
※ワードクラウドとは、文章における単語の特性を視覚的に表現した図のこと。文字のサイズが大きいほど、その単語の文章における重要度や出現頻度が高いことを示す。単語の色は品詞の種類で異なっており、青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞・形容動詞、灰色が感動詞を表している。

## II 調査結果

### 1. あなたのことについて

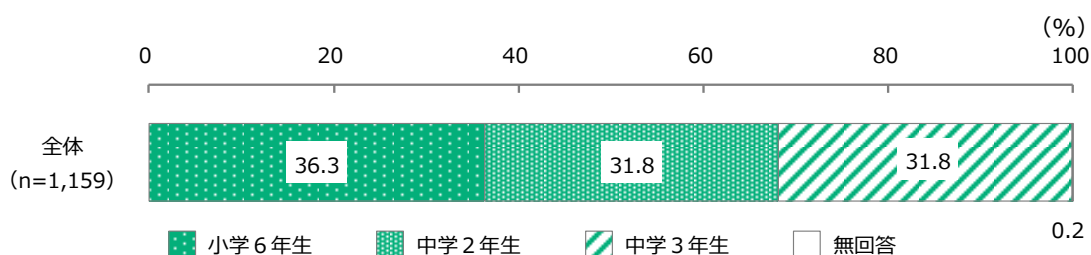
#### ア 性別

「男性」が50.9%で、「女性」(48.4%)よりも2.5%多くなっています。



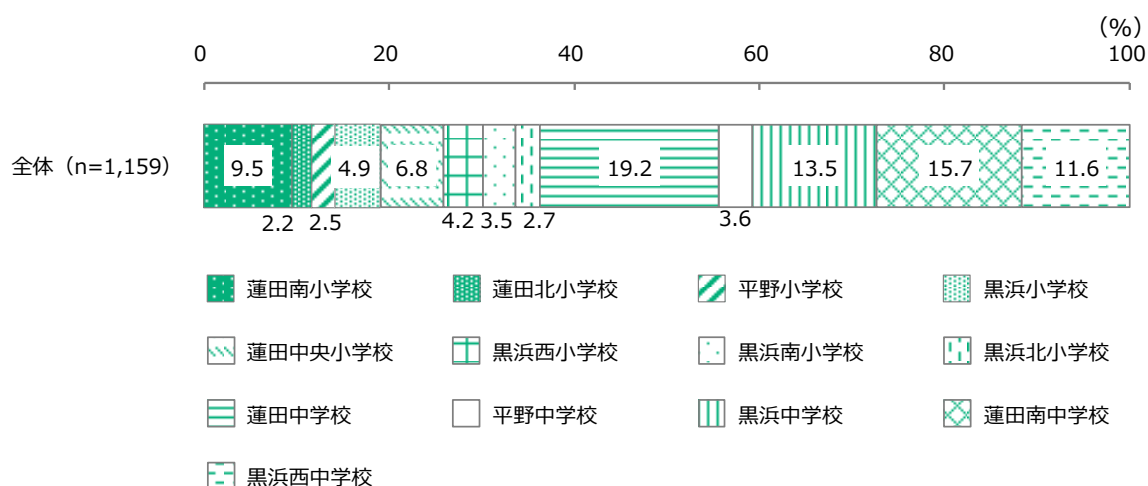
#### イ 学年

「小学6年生」が36.3%で最も多く、次いで「中学2年生」と「中学3年生」が31.8%となっています。



#### ウ 通っている学校

「蓮田中学校」が19.2%で最も多く、次いで「蓮田南中学校」(15.7%)、「黒浜中学校」(13.5%)となっています。



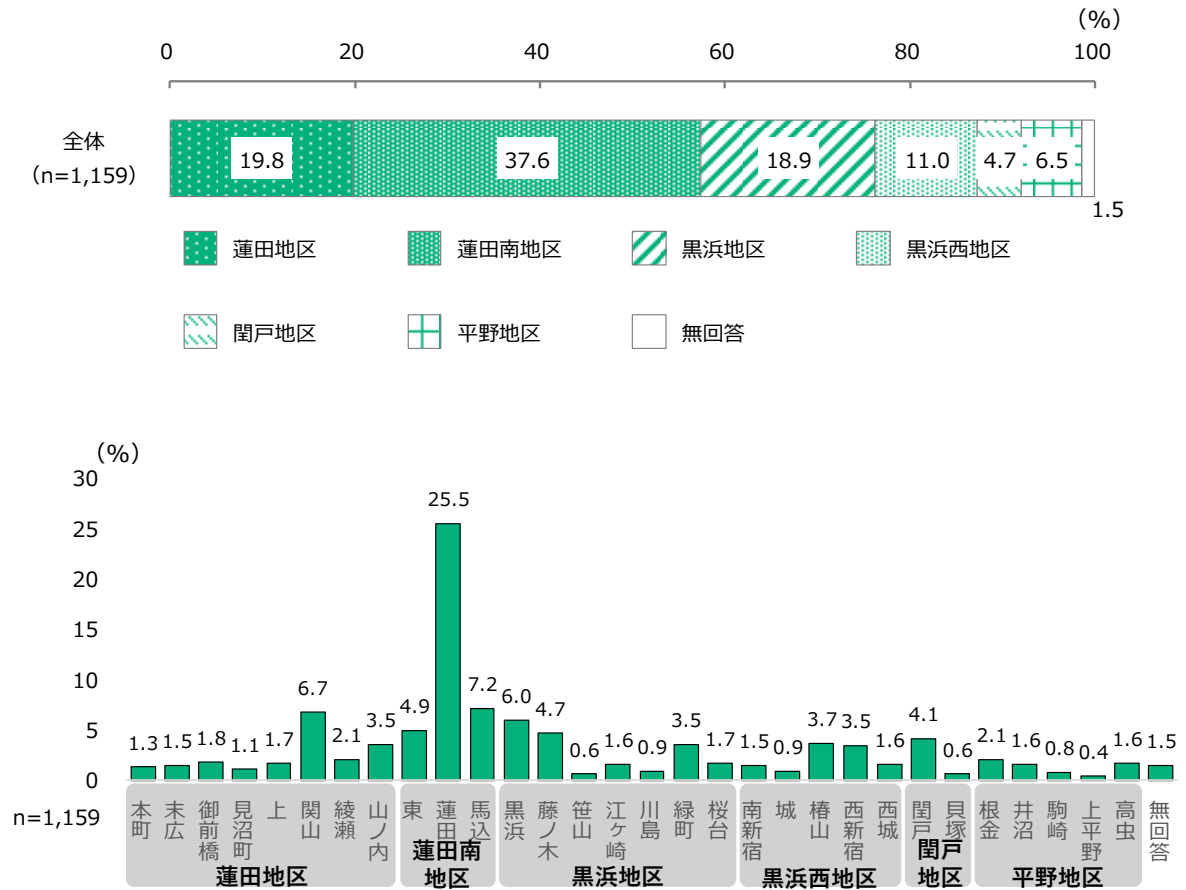
## 【学年別】

(人)

	小学6年生	中学2年生	中学3年生	無回答	総計
蓮田南小学校	110				110
蓮田北小学校	25				25
平野小学校	29				29
黒浜小学校	57				57
蓮田中央小学校	79				79
黒浜西小学校	49				49
黒浜南小学校	41				41
黒浜北小学校	31				31
蓮田中学校		119	103	1	223
平野中学校		17	25		42
黒浜中学校		71	85		156
蓮田南中学校		93	88	1	182
黒浜西中学校		68	67		135
総計	421	368	368	2	1,159

## エ 今住んでいるところ

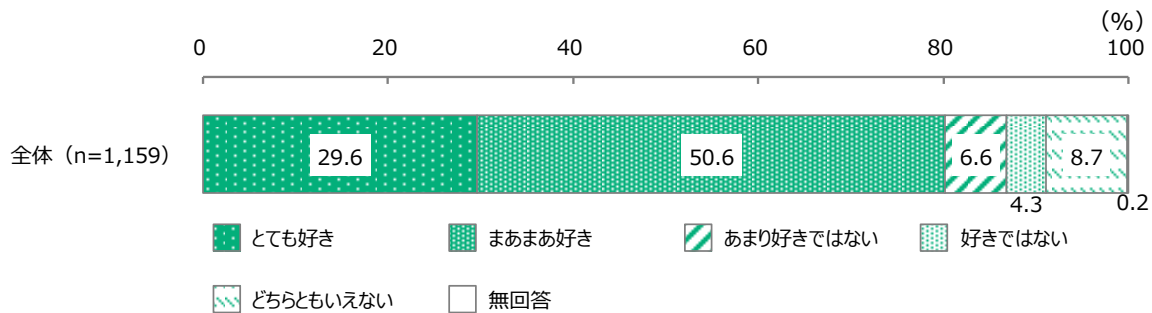
「蓮田南地区」が37.6%で最も多く、次いで「蓮田地区」(19.8%)、「黒浜地区」(18.9%)となっています。



## 2. 蓮田市について

### Q1. あなたは、蓮田市が好きですか。（1つ選ぶ）

「まあまあ好き」が50.6%で最も多く、次いで「とても好き」(29.6%)、「どちらともいえない」(8.7%)となっています。



蓮田市への愛着を学年別でみると、いずれの学年でも「まあまあ好き」が最も多く、次いで「とても好き」となっています。また、学年が低いほど、「とても好き」の割合が多くなっています。

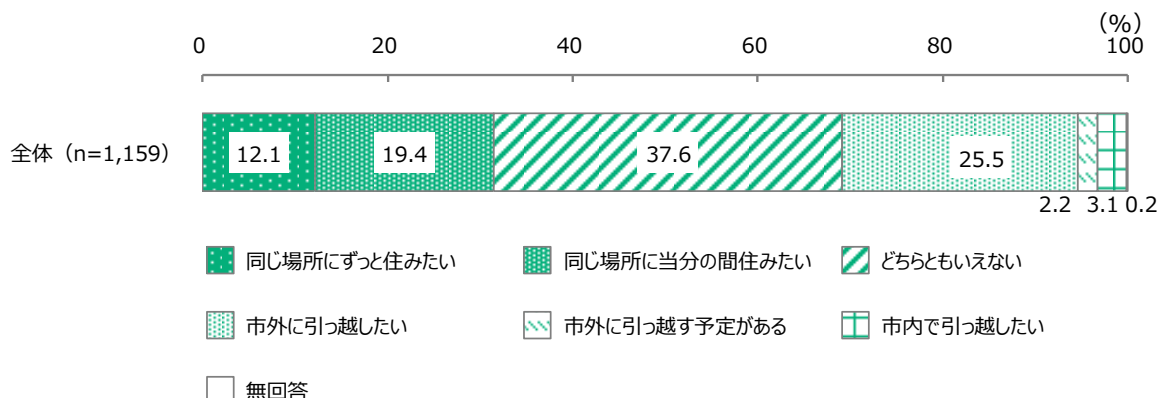
居住地区別でみると、いずれの地区でも「まあまあ好き」が最も多くなっています。閩戸地区では、「とても好き」が9.1%で、他の地区と比較すると、概ね20ポイント以上低くなっています。

#### 【学年・居住地区別】

		(% )					
		とても好き	まあまあ好き	あまり好きではない	好きではない	どちらともいえない	無回答
全体 (n=1,159)		29.6	50.6	6.6	4.3	8.7	0.2
学年	小学6年生 (n=421)	37.1	46.8	5.9	4.8	5.2	0.2
	中学2年生 (n=368)	28.0	52.2	7.6	4.3	7.6	0.3
	中学3年生 (n=368)	22.8	53.3	6.3	3.8	13.9	0.0
居住地区	蓮田地区 (n=229)	29.3	50.2	9.6	6.6	3.9	0.4
	蓮田南地区 (n=436)	30.7	50.9	5.7	3.9	8.7	0.0
	黒浜地区 (n=219)	31.5	47.9	4.1	4.6	11.4	0.5
	黒浜西地区 (n=128)	33.6	45.3	7.0	3.1	10.9	0.0
	閩戸地区 (n=55)	9.1	63.6	9.1	3.6	14.5	0.0
	平野地区 (n=75)	28.0	60.0	6.7	2.7	2.7	0.0

Q2. あなたは、大人になっても蓮田市に住み続けたいと思いますか。（1つ選ぶ）

「どちらともいえない」が37.6%で最も多く、次いで「市外に引っ越したい」（25.5%）、「同じ場所に当分の間住みたい」（19.4%）となっています。



蓮田市への定住意向を学年別で見ると、学年が低いほど、「同じ場所にずっと住みたい」及び「同じ場所に当分の間住みたい」が多くなっています。

居住地区別で見ると、閩戸地区では「同じ場所にずっと住みたい」及び「同じ場所に当分の間住みたい」が他の地区と比較して、それぞれ10ポイント程度低くなっています。

【学年・居住地区別】

		(%)						
		ずっと同じ場所に住みたい	同じ場所に当分の間住みたい	どちらともいえない	市外に引っ越したい	市外に引っ越す予定がある	市内で引っ越したい	無回答
<b>全体 (n=1,159)</b>		12.1	19.4	37.6	25.5	2.2	3.1	0.2
学年	小学6年生 (n=421)	17.1	21.6	32.1	22.1	2.6	4.3	0.2
	中学2年生 (n=368)	10.1	18.5	36.4	29.3	1.6	3.8	0.3
	中学3年生 (n=368)	8.4	17.9	45.1	25.5	1.9	1.1	0.0
居住地区	蓮田地区 (n=229)	11.4	20.1	35.8	27.5	2.6	2.6	0.0
	蓮田南地区 (n=436)	14.4	19.7	36.9	22.7	2.8	3.2	0.2
	黒浜地区 (n=219)	12.3	21.0	39.3	21.9	1.4	4.1	0.0
	黒浜西地区 (n=128)	10.2	18.8	37.5	28.9	1.6	3.1	0.0
	閩戸地区 (n=55)	1.8	10.9	49.1	32.7	1.8	3.6	0.0
	平野地区 (n=75)	13.3	21.3	29.3	32.0	1.3	1.3	1.3











蓮田市 市民意識調査・小中学生アンケート  
報告書

---

発行年月：令和7年12月

発行：蓮田市

編集：蓮田市役所 総合政策部政策調整課

住所：埼玉県蓮田市大字黒浜 2799 番地 1

電話：048-768-3111

F A X：048-765-1700